

取扱説明書

(保証書別添)

CASIO

カシオ電子レジスタ

TE-5000/TK-5000



TE-5000



TK-5000

このたびは、カシオ電子レジスタをご採用いただきまして、誠にありがとうございます。
ございます。

ご使用前に、本書をひととおりお読みいただき、正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」は必ずお読みください。

取扱説明書は、お読みになった後も、わかりやすいところに大切に保管して
ください。

初めてお使いになる場合は、

まず、**設置手順** (16 ページ) と

用語集 (119 ページ) をご覧ください。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

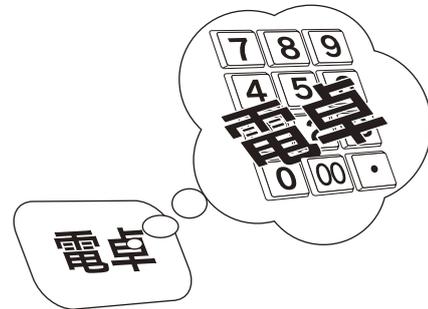
こんなときは

特長

- 一度、日付・時刻をセットすると、日付は自動更新されます。



- 電卓キーを押すことによって、レジを電卓として使用することができます。



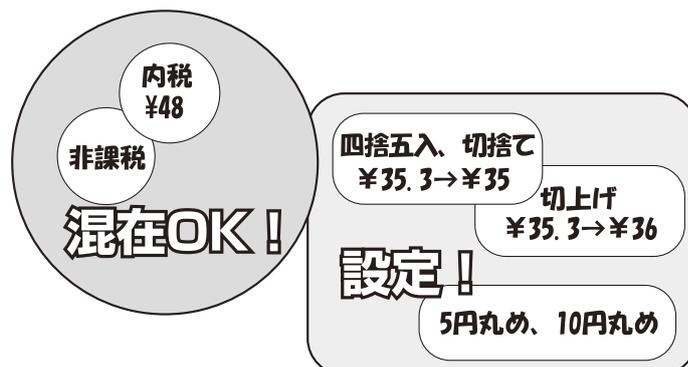
- お客様にも見やすい「客用回転表示器」が付いているため、お客様と同時に金額を確認することができます。



- 別売の電子店名スタンプを作成していただくと、レシート上の店名ロゴスタンプだけでなく、領収書上の社名ロゴや住所などがワンタッチで印字できます。



- 消費税の計算は、「内税方式」「非課税方式」に対応しています。内税と非課税が混在した運用も可能です。また、消費税額の円未満の端数処理（四捨五入、切上げ、切捨て）を設定することができます。さらに請求額の端数を切り捨てて請求（5円丸め、10円丸め）するといった、さまざまな設定が可能です。



もくじ

ページ

○安全上のご注意	4	ご使用前に
○やりたいことは？	6	
○各部のなまえと働き	8	
○お使いになる前の準備.....	16	
○基本的な操作	20	使い方
○操作をまちがえたとき.....	26	
○閉店後の操作	30	
○各キーの便利な使い方.....	32	便利な使い方
○売上の点検／精算	52	
○電卓機能の使い方	62	
○時刻および日付のセット	66	設定の仕方
○単価・割引率・丸めの設定	67	
○消費税の設定	70	
○商品名やメッセージの設定	76	
○その他の設定	84	
○レジの設定内容の確認.....	105	
○故障かなと思ったら	111	こんなときは
○ロールペーパーのセットと交換.....	112	
○部門キーなどに商品名を記入するには	117	
○仕様	118	
○用語集.....	119	
○ドローアを分離して設置するには	123	

安全上のご注意

- ご使用前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものですので、必ず守ってください。
- ⚠ 警告と ⚠ 注意の意味は以下のとおりです。

 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、 <u>人が死亡または重傷を負うおそれがある</u> 内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、 <u>人が傷害を負ったり、物的損害が発生するおそれがある</u> 内容を示しています。

- 本書中の「絵表示」の意味は以下のとおりです。

	△ 記号は「気をつけるべきこと＝注意」を意味しています。 左の例は「手挟み注意」です。△ は「指ケガ注意」です。
	⊘ 記号は「してはいけないこと＝禁止」を意味しています。 左の例は「分解禁止」です。⊘ は「接触禁止」です。 なお、「絵に表わしにくい禁止」は ⊘ で表わします。
	● 記号は「しなければならないこと＝指示」を意味しています。 左の例は「差し込みプラグをコンセントから抜くこと」です。 なお、「絵に表わしにくい指示」は ● で表わします。

警告

電源コードや差し込みプラグについて <ul style="list-style-type: none"> ◆ 電源コードを傷つけたり、無理に曲げたりしないでください。 ◆ 電源コードは、ねじったり、引っばったり、加熱したり、加工したり、上に重い物を乗せたりしないでください。また、電源コードが本機の引き出し(ドロア)の下を通るような配線はしないでください。 ◆ 濡れた手で差し込みプラグに触れないでください。感電のおそれがあります。 	内部に異物や水などを入れないでください <ul style="list-style-type: none"> ◆ 本機の開口部から内部に、金属類や燃えやすい物などの異物を差し込んだり、落としたりしないでください。また、花瓶の水やコーヒー・ジュースなどの液体を本機の内部にこぼさないでください。火災や感電の原因となることがあります。 ◆ 万一、異物や水などが本機の内部に入った場合は、<u>差し込みプラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはカシオサービスセンターにご連絡ください。</u>そのまま使用すると、火災や感電の原因となることがあります。
キャビネットは開けないでください <ul style="list-style-type: none"> ◆ 本機のキャビネットを開けないでください。内部には電圧の高い部分や鋭くとがった部分がありますので、感電をしたり、ケガをするおそれがあります。 ◆ 本機を改造しないでください。火災や感電の原因となることがあります。 	電源・電圧について <ul style="list-style-type: none"> ◆ 表示された電源電圧（交流 100 V）以外の電圧で使用しないでください。また、タコ足配線をしないでください。火災や感電の原因となることがあります。
本機を落としたり、破損したときは <ul style="list-style-type: none"> ◆ 万一、本機を落としたり、キャビネットを破損した場合は、<u>差し込みプラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはカシオサービスセンターにご連絡ください。</u>そのまま使用すると、火災や感電の原因となることがあります。 	異臭や煙などの異常状態には <ul style="list-style-type: none"> ◆ 万一、発熱していたり、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、<u>火災や感電のおそれがあります。すぐに差し込みプラグをコンセントから抜いてください。</u>そして、お買い上げの販売店またはカシオサービスセンターにご連絡ください。

⚠ 注意

設置場所について



- ◆ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、ケガの原因となることがあります。
- ◆湿気やホコリの多い場所に置かないでください。火災や感電の原因となることがあります。
- ◆調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気があたるような場所に置かないでください。火災や感電の原因となることがあります。

本機の上には物を置かないでください



- ◆本機の上に、花瓶や植木鉢、コップや液体の入った容器、または、金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災や感電の原因となることがあります。
- ◆本機の上に重い物を置かないでください。置いた物のバランスが崩れて倒れたり、落下して、ケガの原因となることがあります。

差し込みプラグを抜くときは



- ◆差し込みプラグを抜くときは、電源コードを引っぱらないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

移動する場合は



- ◆本機の移動は、必ず差し込みプラグをコンセントから抜いて行なってください。電源コードを引っぱると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

長期間ご使用にならないときは



- ◆連休等で、長期間本機をご使用にならないときは、安全のために差し込みプラグをコンセントから抜いてください。

ドロア（引き出し）の注意



- ◆ドロア（引き出し）が開く際、お子様の顔等に当たらないよう、ご注意ください。ケガの原因となることがあります。
- ◆ドロア（引き出し）が開いているときに、ドロアに寄りかからないでください。落ちたり、倒れたりして、ケガの原因となることがあります。

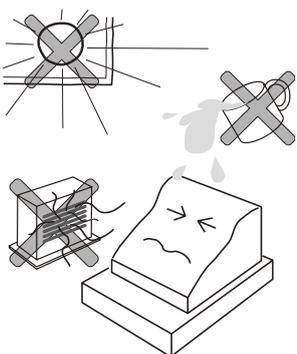
消耗品交換時の注意



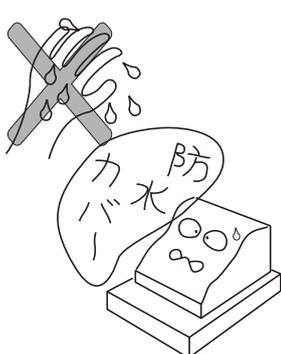
- ◆記録紙交換等の際に、プリンタのギアに髪の毛やスカーフ等が巻き込まれないよう、ご注意ください。ケガの原因となることがあります。
- ◆プリンタのヘッド部分には触れないでください。ケガやヤケドの原因になることがあります。

お願い（必ず守ってください）

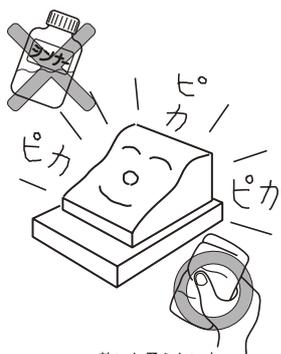
- 温度が高くなる所や、水がかかるところには置かないでください。



- ぬれた手で操作するお店では、防水カバーをお買い求めください。



- 揮発性の液体でレジスタを拭かないでください。



- 1日の終わりには、精算をしてドロア（引き出し）内をカラにし、開けたままでお帰りください。ドロアは金庫ではありません。



ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

やりたいことは？

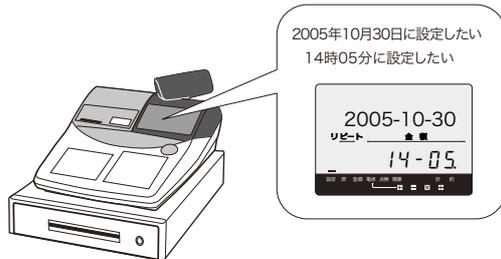
本機でできることを操作の単位で分類しています。

ここから、お客様が行ないたい操作の記載ページを参照することができます。

必要に応じてご利用ください。

●日付や時刻を設定したい。

参照  66 ページ



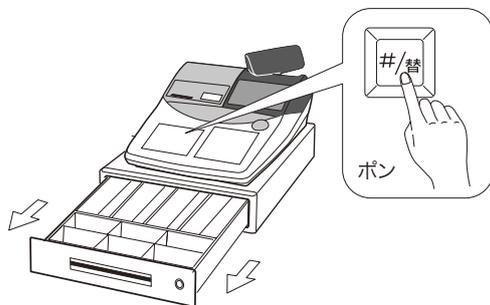
●基本的な操作について知りたい。

参照  20 ページ



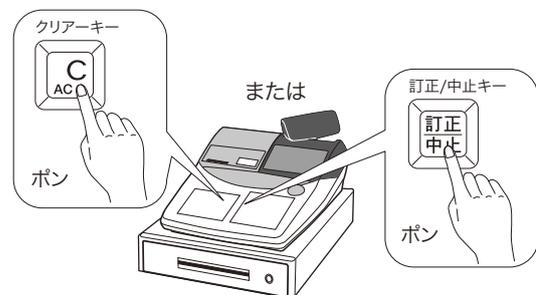
●ドローアを開けたい。

参照  22 ページ



●キー操作をまちがえたので、訂正したい。

参照  26 ページ



●商品の返品処理をしたい。

参照  28 ページ



●消費税に関する設定をしたい。

参照  70 ページ



●現時点の売上内容を確認したい。

参照  54 ページ

- ・現時点での売上は？
- ・現時点での現金在高は？



モードスイッチの位置
点検



●閉店後に行なう操作について知りたい。

参照  30 ページ

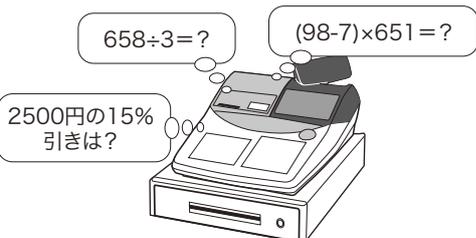


モードスイッチの位置



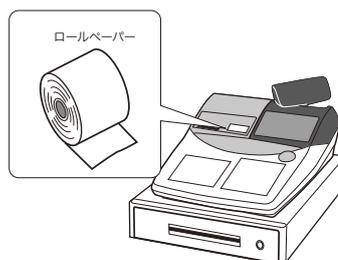
●電卓として使いたい。

参照  62 ページ



●ロールペーパーをセットしたり、交換したい。

参照  112 ページ



●電子店名スタンプ（別売）の装着方法を知りたい。

参照  116 ページ



●トラブルを解決したい。

参照  111 ページ



- レシート・ジャーナルの見方を知りたい。
- 値引き・割引をしたい。
- 現在のレジの設定内容を確認したい。
- 商品の売上を掛け売りで処理したい。
- 単価・割引率・丸めの設定をしたい。
- レシートにメッセージを印字したい。
- 部門に分類名や商品名を印字したい。

参照  19 ページ

参照  42～43 ページ

参照  105 ページ

参照  46 ページ

参照  67～68 ページ

参照  82 ページ

参照  78 ページ

各部のなまえと働き (1/4)

各部のなまえ

① ジャーナル巻き取りホルダ

② ジャーナル

売上記録としてお店で保管します。

③ 紙押さえ (プラテンアーム)

カチッとロックされるまで、きちんと閉じてお使いください。完全に閉じていないとレジスタが動作しません。

④ プリンタカバー

⑤ ジャーナル印字確認窓

印字内容の確認と用紙への書き込みができます。この窓に用紙の赤い線が見えてきたらペーパーの交換をしてください。

⑥ レシート発行窓

⑦ 札押さえ

⑧ ドロア (引き出し)

⑨ 客用表示窓

お客様用の表示です。
見やすい角度に回転してください。
(下図参照)

⑩ 本体表示窓

⑪ レシートスイッチ

⑫ モードスイッチ

⑬ 担当者スイッチ

⑭ 電卓スイッチ

⑮ キーボード

⑯ タッチキーボード

⑰ 差し込みプラグ / 電源コード

⑱ カセットカバー

この中に電子店名スタンプを取り付けます。

⑲ 紙幣入れ

⑳ 硬貨入れ (6ヶ所)

㉑ コイントレー

仕切り板は、取り外したり、位置を移動することができます。

㉒ ドロアロック錠

㉓ ドロアスリット部

小切手や商品券を、ドロアを開けずに入れることができます



TE-5000



TK-5000



本書では、ページの右上にモードスイッチの位置を、絵表示で掲載しています。
この絵表示は、そのページで説明している操作をするときの、モードスイッチの位置を示しています。
右上の例では、モードスイッチの位置を「登録」に合わせてから操作する必要があることを意味しています。

本書での
記載例 →

モードスイッチの位置

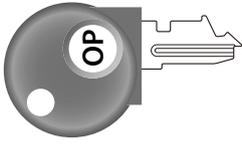


モードスイッチの切り替え

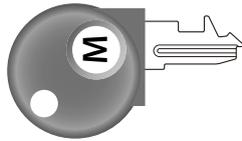
付属の「モード鍵」で、モードスイッチ（レジスタの働き）を切り替えます。
モード鍵は鍵により回せる範囲が異なりますが、抜き差しできる位置は「登録」と「OFF」の2箇所だけです。

モード鍵

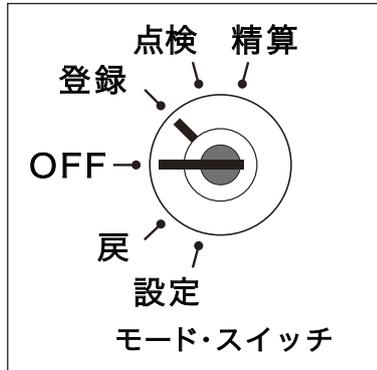
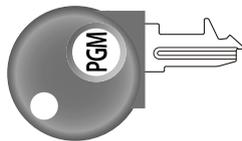
- ① オペレーター用鍵 (OP)



- ② 店長 (マスタ) 用鍵 (M)



- ③ 精算・設定 (オーナー) 用鍵 (PGM)



「精算」……売上の精算を行なうとき
「点検」……売上の点検を行なうとき
「登録」……売上の登録を行なうとき
「OFF」……レジを使用しないとき
「戻」……返品 (戻し) を行なうとき
「設定」……お店に合わせていろいろな設定を行なうとき

モード鍵の回せる範囲

モード鍵	設定	戻	OFF	登録	点検	精算
① オペレータ用鍵	×	×	○—○	×	×	×
② 店長 (マスタ) 用鍵	×	○—○—○—○	○—○—○—○	○—○—○—○	×	×
③ 精算・設定 (オーナー) 用鍵	○—○—○—○	○—○—○—○	○—○—○—○	○—○—○—○	○—○—○—○	○—○—○—○

付属品

- モード鍵 (3種類 各2本)
形状、用途は前節を参照してください

- ジャーナル巻き取りホルダ

- ロールペーパー 2個

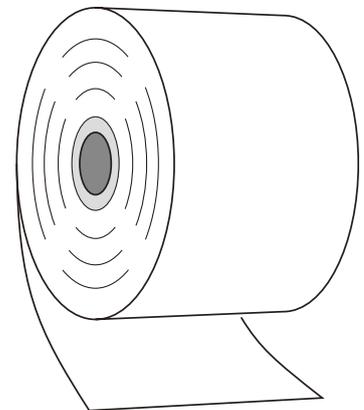
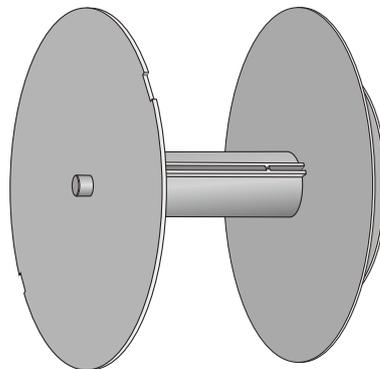
- ドア鍵 2本

(ドアを開かない鍵です)

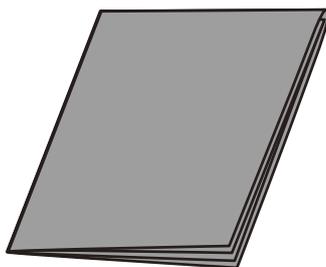


- 検銭板

●接着面の汚れをよく拭き取り、ケガさないように注意して貼付けてください。



- ダストカバー



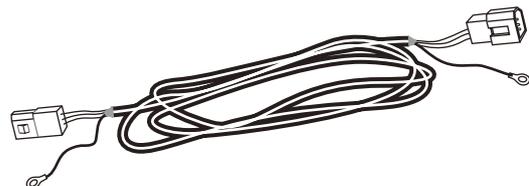
- レジスタ固定用
ゴム足 4本

●レジスタをドアから外して設置するときにレジスタ底面にはめ込みます。
●ドアを本体から外さない場合は使用しません。



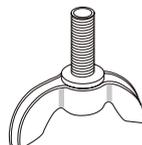
- ドア延長用ケーブル

●レジスタをドアから外して設置するときに使用します。
●ドアを本体から外さない場合は使用しません。

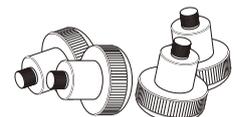


以下の2種は、すでに本体に装着されています。

- レジスタ固定用
蝶ねじ 1本
(ドアの上のレジスタを固定するねじです)



- レジスタ位置
決めねじ 4本
(ドアの上のレジスタの位置を決めるねじです)



ご使用前に

使い方

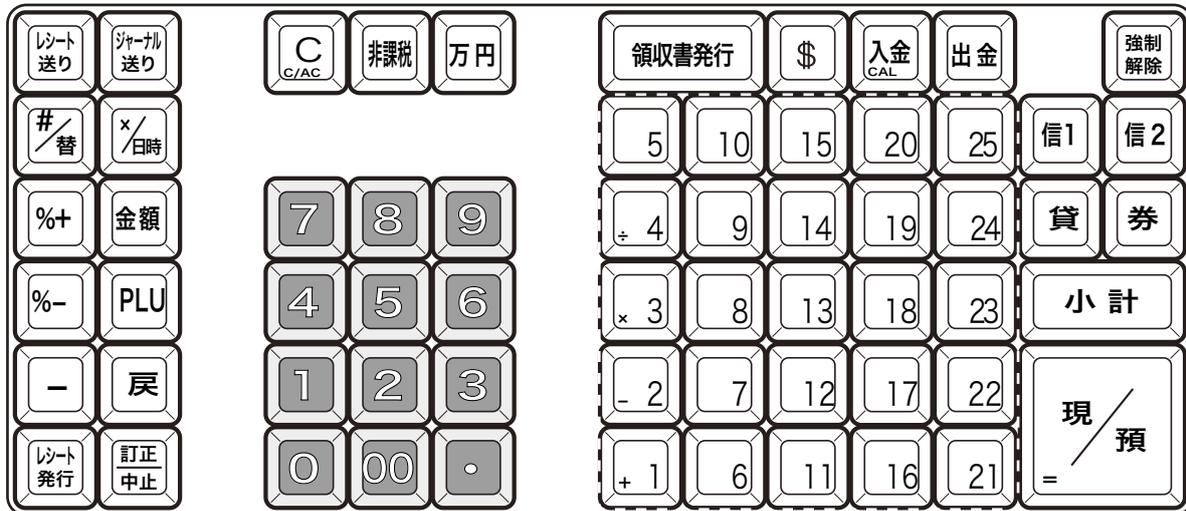
便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

各部のなまえと働き (2/4)

キーボード (TE-5000)



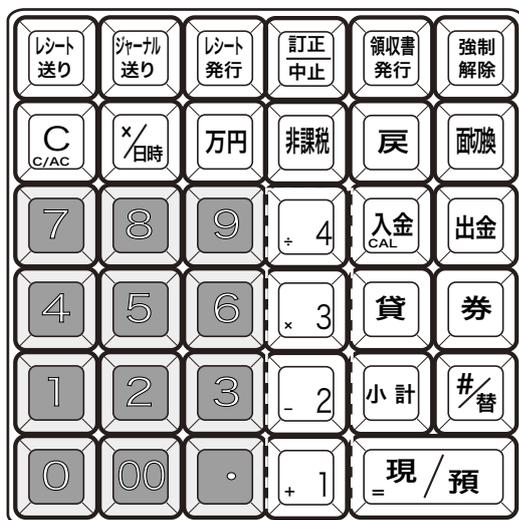
部門キー

- レシート
送り レシート送りキー----- レシートを空送りします。
- ジャーナル
送り ジャーナル送りキー----- ジャーナルを空送りします。
- #/替 ノンアド / 両替キー----- ノンアド印字、または、両替をするときに押します。
- ×/日時 乗算 / 日時キー----- 乗算登録、または、時刻・日付を表示するときに押します。
- %+ 割増しキー----- 割増しのときに押します。
- %- 割引きキー----- 割引きのときに押します。
- マイナスキー----- 値引きのときに押します。
- レシート
発行 レシート発行キー----- 後レシートを発行します。
- 金額 金額キー----- 品番 PLU 機能のときに単価を入れてから押します。
- PLU PLU キー----- PLU 機能を使用するときに PLU 番号を入れてから押します。
- 戻 戻しキー----- 返品戻しのときに押します。
- 訂正
中止 訂正 / 中止キー----- 直前訂正、または、取引中止のときに押します。
- C/CAC クリアキー----- 数字を入れまちがえたときに押します。
電卓機能のときは、2 回続けて押すと「オールクリア」(ゴハサン) の働きになります。
- 非課税 非課税キー----- 非課税商品を登録するときに押します。

- 万円** 万円キー ----- 万円札を預かったときに押します。
- \$** 通貨変換キー ----- 米ドルを預かったときに日本円に換算するために押します。
換算レートをあらかじめ設定した後でご使用ください。
- 1 ~ 9**、
0、**00**、**●** } 置数キー 数値を入れるときに押します。
- 領収書発行** 領収書発行キー ----- 領収書を発行します。
- + 1** ~ **25** 部門キー ----- 個々の商品を登録するときに押します。
+ 1 ~ **÷ 4** の部門キーは、電卓機能のときは「+」「-」「×」「÷」の計算命令キー になります。
- 入金**
CAL 入金キー ----- 入金のために押します。
電卓機能とレジ機能の間で、「答」などのやり取りにも使います。
- 出金** 出金キー ----- 出金のために押します。
- 強制解除** 強制解除キー ----- 2回続けて押すとエラーを強制的に解除します。
- 信1** } 信用売りキー ----- 信用売り（クレジットカード）での売上のときに押します。
信2 } **信1** **信2** はカード会社別等で区別して使用します。
- 貸** 貸し売りキー ----- 貸し売りでの売上のとき押します。
- 券** 券売りキー ----- 商品券での売上のとき押します。
- 小計** 小計キー ----- 登録金額の合計（中間合計）を見るために押します。
- 現/預**
= 現金売り / 預かり金キー --- 登録の完了（現金での売上）および預かり金のときに押します。
電卓機能のときは、「=」になります。

各部のなまえと働き (3/4)

キーボード (TK-5000)



部門キー

8	16	24	32	40	48	56	64	72
7	15	23	31	39	47	55	63	71
6	14	22	30	38	46	54	62	70
5	13	21	29	37	45	53	61	69
4	12	20	28	36	44	52	60	68
3	11	19	27	35	43	51	59	67
2	10	18	26	34	42	50	58	66
1	9	17	25	33	41	49	57	65

タッチキー部分

- レシート
送り レシート送りキー…… レシートを空送りします。
- ジャーナル
送り ジャーナル送りキー… ジャーナルを空送りします。
- レシート
発行 レシート発行キー…… 後レシートを発行します。
- 訂正
中止 訂正/中止キー…… 直前訂正、または、取引中止のときに押します。
- 領収書
発行 領収書発行キー…… 領収書を発行します。
- 強制
解除 強制解除キー…… 2回続けて押すとエラーを強制的に解除します。
- C/AC C クリアキー …… 数字を入れまちがえたときに押します。
電卓機能のときは、2回続けて押すと「オールクリア」(ゴハサン)の働きになります。
- x/日時 乗算/日時キー…… 乗算登録、または、時刻・日付を表示するときに押します。
- 万円 万円キー…… 万円札を預かったときに押します。
- 非課税 非課税キー…… 非課税商品を登録するときに押します。
- 戻 戻しキー…… 返品戻しのときに押します。
- 面切替 面切替キー…… フラット PLU 面を、切り替えるときに押します。



置数キー …… 数値を入れるときに押します。



部門キー …… 個々の商品を登録するときに押します。

電卓機能のときは「+」「-」「×」「÷」の計算命令キー になります。



入金キー …… 入金のときに押します。

電卓機能とレジ機能の間で、「答」などのやり取りにも使います。



出金キー …… 出金のときに押します。



貸し売りキー …… 貸し売りでの売上のとき押します。



券売りキー …… 商品券での売上のとき押します。



小計キー …… 登録金額の合計（中間合計）を見るときに押します。



ノンアド / 両替キー …… ノンアド印字、または、両替をするときに押します。



現金売り / 預かり金キー …… 登録の完了（現金での売上）および預かり金のときに押します。

電卓機能のときは、「=」になります。



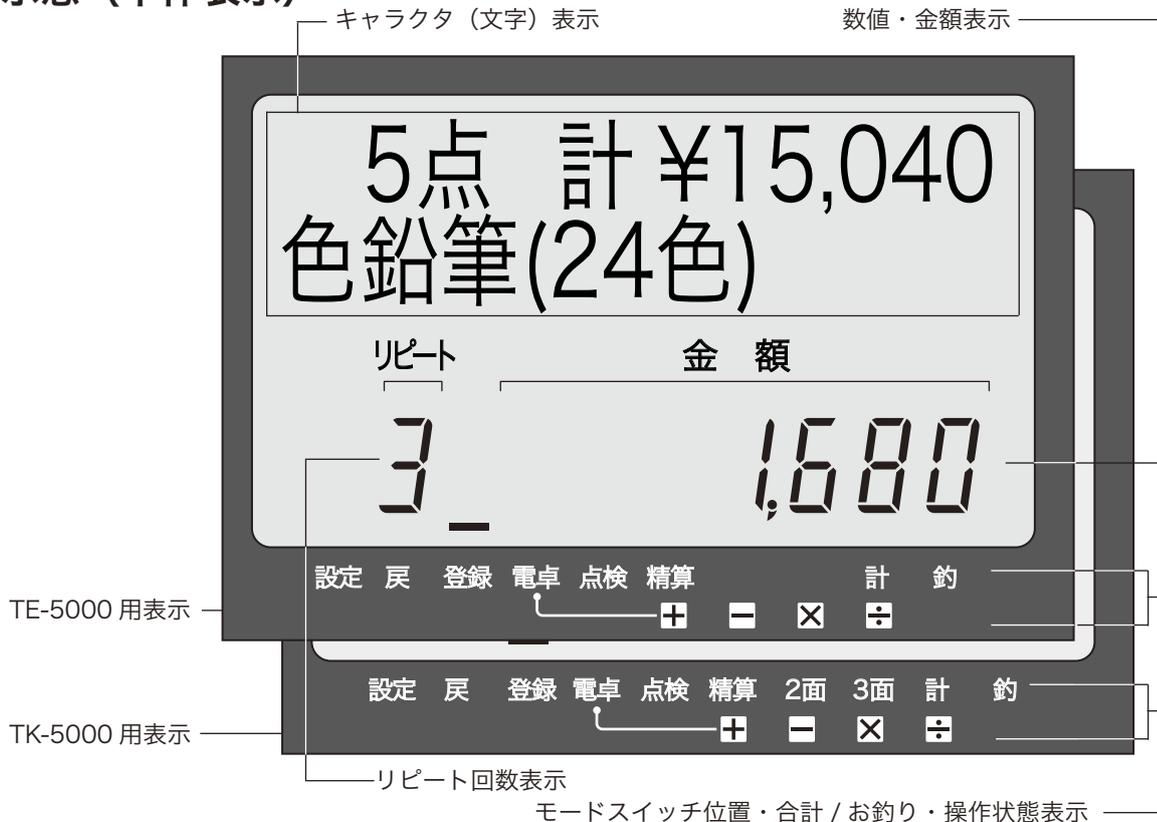
ワット PLU キー ……

部門キーと同じように、個々の商品を登録するときに押します。

各部のなまえと働き (4/4)

表示窓 / 客用表示窓の見方

表示窓 (本体表示)



客用表示窓



●キャラクタ (文字) 表示

登録した品物の部門名や商品名などを、文字 (キャラクタ) で最大 16 文字×2 行 (半角文字の場合、漢字では最大 8 文字×2 行)、表示します。

●数値・金額表示

金額や数量などを表示します。

電卓機能のときは、計算数値を表示します。

●モードスイッチ位置・合計 / お釣り・操作状態表示

モードスイッチの位置および、合計やお釣りをそれぞれのシンボル (■) で表示します。

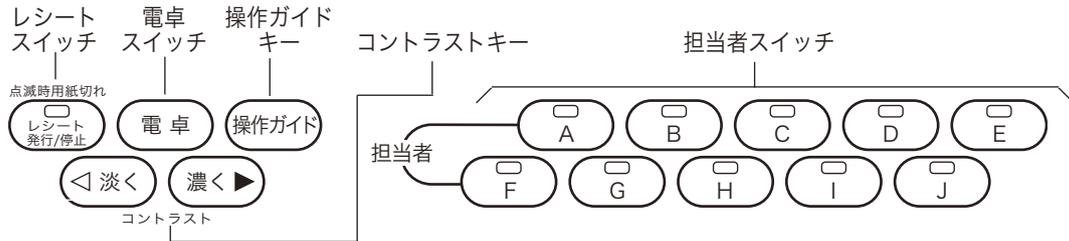
なお、電卓機能中は、操作で押した命令をシンボルで表示します。

●リピート回数表示

リピート登録のとき、その回数の下 1 桁を表示します。

注意 表示例はイメージであり、実際の表示と、行間・字間・書体が異なります。

担当者スイッチ/レシートスイッチ/電卓スイッチ



担当者スイッチ

レジスタを操作する担当者を「A」～「J」の10個の記号で表わします。

レジスタを操作する場合は、あらかじめその担当者のスイッチを押します。押された担当者スイッチのランプが点灯します。レジスタの担当者別に、取扱金額や取扱件数（客数）を集計することができます。

レシートスイッチ

モードスイッチが「登録」または「戻」のときに、お客様用のレシートを発行するか、しないかをこのスイッチで切り替えます。

レシートスイッチのランプが消えているときは、レシートを常に「発行」します。この状態のときにレシートスイッチを押すと、赤いランプが点灯してレシート発行は「停止」になります。「停止」のときでも  キーで、あとからレシートを発行することができます。（この機能を《後レシート》と言います）

レシートスイッチは押すたびに「発行」と「停止」を交互に切り替え、ランプもその状態を示します。

なお、このランプが〈点滅〉をしているときは、レシート用紙が完全になくなった場合です。

電卓スイッチ

モードスイッチが「登録」のときに、レジスタを「電卓」として使用するか、しないかをこのスイッチで切り替えます。

電卓スイッチを押し、本体表示に電卓のランプが点灯しているときに「電卓」として使用でき、ランプが消えているときは「電卓」として使用できません。

「電卓」のランプが点灯しているときは、置数キーと部門キーの  ～  キー、 キーおよび一部の命令キーしか働かず、レジスタとして機能しなくなります。

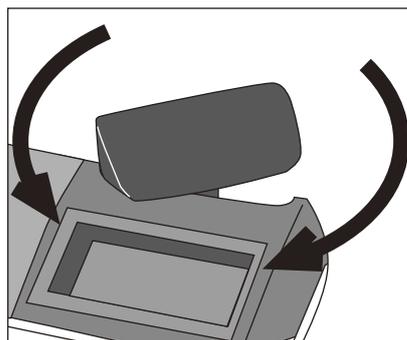
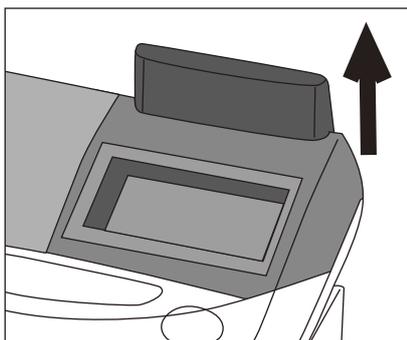
操作ガイドキー

導入時や、たまに行なう操作や設定を知りたいときに使います。直接押すとメニュー項目が印字され、知りたいメニュー番号に続いて押せば、その内容が印字されます。

コントラストキー

本体表示のコントラストを変更します。「淡」にすると明るく、「濃」にすると暗くなります。

客用表示窓の上げ方、回し方



1. 客用回転表示器を上止まるまで持ち上げます。
2. 見やすい方向に回します。（正面には向きません）

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

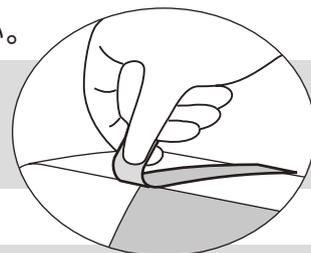
お使いになる前の準備 (1 / 2)

設置手順

本機を初めてお使いになる場合は、以下の手順に従ってセットしてください。

1

梱包箱の中から機械本体を含む、すべての付属品を取り出し、本体などに止めてある保護テープをはがします。



2

袋の中から付属品を取り出し、全部そろっているか、確認します。

参照 **付属品** (9 ページ)

3

レジスタを水平な設置場所に置きます。

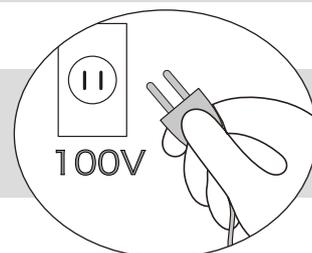
4

ロールペーパー (印字用ロール紙) を取り付けます。

参照 **ロールペーパーをセットする** (112 ページ)

5

差し込みプラグを家庭用 100V コンセントに確実に差し込みます。



6

モードスイッチにモード鍵を差し込み「登録」の位置に合わせます。



7

日付と時刻を確認し、違っていたらセットします。

参照 **時刻や日付表示** (40 ページ)

参照 **日付・時刻をセットする** (66 ページ)



必要に応じて、以下の設定をします。

参照 「単価・割引率・丸めの設定」 (67 ページ～)

参照 「消費税の設定」 (70 ページ～)

参照 「商品名とメッセージの設定」 (76 ページ～)

参照 「その他の設定」 (84 ページ～)

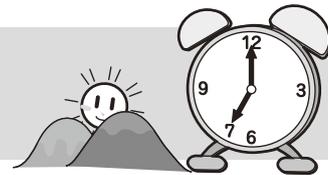
8

これでレジスタが使える状態になります。

一日の仕事の流れ

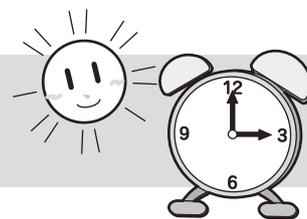
一日の仕事の流れについて、以下に示します。

開店前



- ☑差し込みプラグがコンセントに確実に差し込まれているか。確認します。
- ☑ロールペーパーが充分にあるか、確認します。
参照 **ロールペーパーを交換する** (114 ページ)
- ☑日付と時刻を確認します。
参照 **時刻および日付を表示する** (40 ページ)
- ☑釣銭用の小銭をドロアに用意します。
参照 **売上に関係ない現金をドロアに入れる** (41 ページ)

営業中



- ☑商品の売上进行を登録します。
「基本的な操作」 (20 ページ～)
- ☑必要に応じて、売上の確認をします。
「売上内容の点検」 (52 ページ)

閉店後



- ☑一日の売上进行を打ち出します。
参照 **一日の売上进行を打ち出す。** (30 ページ)
- ☑ドロア内のお金を取り出します。
- ☑モードスイッチを「OFF」にします。

今日も一日、お疲れ様でした。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

お使いになる前の準備 (2 / 2)

消費税の計算方式

消費税の計算には、次の2つの課税方式があります。

① 内税方式

商品金額に消費税5%が含まれているものを販売する方式

例：価格 1,000 円

（ 本体価格	952 円	
消費税額	48 円	
合計	1,000 円	受取

② 非課税方式

消費税を計算しない（消費税を課税しない）で販売する方式

例：価格 1,000 円

（ 本体価格	1,000 円	
消費税額	0 円	
合計	1,000 円	受取



・ご購入時は、「①内税方式」に設定されています。また、税額の円未満は「四捨五入」に設定されています。

消費税の設定について

お店の課税方式に合わせて、それぞれ以下のように消費税の設定を行なってください。

●内税方式のお店は……

このままご使用いただけます。

●非課税方式のお店は……

 [すべての商品を非課税扱いにする \(70 ページ\)](#)

●内税と非課税とが混在するお店は……

 [内税 / 非課税を混在して設定する \(72 ページ\)](#)



・レストランなどの飲食店では、消費税のほかに「奉仕料」の計算が必要となる場合がありますが、その場合は「奉仕料の設定」をおこないます。

 [奉仕料の要 / 不要を設定する \(74 ページ\)](#)

レシート／ジャーナル／領収書の見方

- レシートおよびジャーナルに印字される内容は、店名ロゴ部を除き、ほぼ同じ内容が印字されます。
- レシートスイッチを押して「レシート停止」にすることができます。(15 ページ)
- ジャーナルは「縦 2 分の 1 の縮小文字」でもレシートと同じ大きさの標準文字で印字する設定もできます。また、「ジャーナルへの明細印字」を印字しない設定もできます。(92 ページ)

レシート

カシオ商店 渋谷区本町 1-6-2 電話 1234-5678		店名ロゴ部分
日付/時刻	2005-07-31 09:23	
レジ担当者	担当 -A 0001-000008	レジ番号/一連番号
部門登録	部門 02 ¥5,780 部門 01 ¥360 部門 01 ¥360 部門 01 ¥360	
個数/単価	10 点 @128	
乗算登録	部門 04 ¥1,280	
PLU 登録	PLU0027 ¥880	
値引き	-100	
小計	部門 03 ¥2,600 部門 04 非 ¥3,000	非課税シンボル
割引	小計 ¥14,520 5% %- -726	
買上点数	17 点	
内税対象額	内税対象計 ¥10,944	
内税額	内税 5.0% (¥521)	
非課税額	非課税合計 ¥3,000	
合計額	合計 ¥13,794	
預かり額	お預り ¥15,000	
釣り銭額	お釣 ¥1,206	

ジャーナル (縮小印字例)

担当	-01	2005-07-31 09:23	0001-000008
部門	02	¥5,780	
部門	01	¥360	
部門	01	¥360	

ジャーナル (通常印字例)

部門 01		¥360
10 点	@128	
部門 04		¥1,280
PLU0027		¥880
-		-100
部門 03		¥2,600
部門 04 非		¥3,000
小計		¥14,520
5%		
%-		-726
17 点		
内税対象計		¥10,944
内税 5.0%		(¥521)
非課税合計		¥3,000
合計		¥13,794
お預り		¥15,000
お釣		¥1,206
2005-07-31 09:23		
担当 -A	0001-000008	領収書一連番号
	一連 No 000008	領収書連番号
	領収 No 000002	領収金額
領収書		¥13,794

領収書

領収書宛先	2005 年 07 月 31 日	領収金額
	領収書 様	一連 No000008
		領収 No000002
但し書き	税抜金額	
	¥13,794-	¥13,273-
収入印紙貼付位置	(但し として 消費税等 印	
	正に領収致しました)	¥521-
	カシオ商店	
	渋谷区本町 1-6-2	
	電話 1234-5678	
	印刷面を内側に折って保管願います	
	領収書用社名スタンプ、会社所在地 (これらは電子店名スタンプを使用します)	

注意 本書で紹介しているジャーナル/レシートの印字例は、イメージしやすいように、見やすく記述しています。そのため、実物のジャーナル/レシートと、行間・字間・書体が異なります。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

基本的なレジの操作 (1 / 2)

本書での説明は、「税率 5% の内税方式」の消費税計算（円未満は「四捨五入」）に基づいた操作方法、および、レシートの印字例を記載しております。

内税方式だけではなく、非課税方式および内税方式と非課税方式とが混在している場合は、操作方法は変わりありませんが、印字される内容は異なりますのでご注意ください。

担当者スイッチは、必ずいずれか一つを押してスイッチの上のランプが点灯するのを確認してください（押さないと登録操作ができません）。

1 品のお買い上げ

例

単価	数量	部門キー	預かり金
¥1,200	1	部門 1	¥2,000



TK-5000 では部門キーの代わりにフラット PLU キーを使うことが可能です。

手順

印字例

1 商品の単価と部門キーを押します。

1 2 0 0 [1]



登録累計
登録部門名
登録金額

2 [小計] キーを押します。

[小計]



合計金額

3 預かり金額を入力して [現/預] キーを押します。

2 0 0 0 [現/預]



預かり金額
お釣り金額

御計算書

2005-07-31 09:20
担当 -A 000013
部門 01 ¥1,200
内税対象計 ¥1,200
内税 5.0% (¥57)
合計 ¥1,200
お預り ¥2,000
お釣 ¥800

レシート印字例は、ご購入時の標準状態で、担当者スイッチは「A」を押したときの印字例です。

なお、以後のレシート印字例では、店名ロゴ部分を省略します。

2品以上のお買い上げ

例

単価	数量	部門キー	預かり金
¥300	1	部門 1	¥2,500
¥800	1	フラット PLU 01	
¥1,000	1	フラット PLU 73	

注意

TE-5000 には、フラット PLU キーや  キーはありません。

手順

- 1 商品の単価と部門（フラット PLU）キーを押します。商品の数だけ繰り返します。

3 0 0  1
 8 0 0  1
 1 0 0 0   1

- 2 商品をすべて入力したら  キーを押します。



- 3 預かり金額を入力して  キーを押します。

2 5 0 0 

 TK-5000 にてフラット PLU を押す前に、 キーを一度押すとフラット PLU 073 ~ 144 が、 キーを一度押すとフラット PLU 145 ~ 216 が、それぞれ指定できます。

同じ商品を数多くお買い上げ

例

単価	数量	部門 PLU キー	預かり金
¥200	12	部門 1	¥10,000
¥340	4.6	部門 2	

ポイント

TK-5000 では部門キーの代わりにフラット PLU キーを使うことが可能です。

手順

- 1 商品の数量、、単価、部門キーの順に押します。

1 2  2 0 0  1
 4 . 6  3 4 0  4

- 2 商品をすべて入力したら  キーを押します。



- 3 預かり金額（万円券キー）を入力して  キーを押します。

印字例

2005-07-31 09:41
 担当 -A 000017
 12 点 @200
 部門 01 ¥2,400
 4.6 点 @340
 部門 02 ¥1,564
 内税対象計 ¥3,964
 内税 5.0% (¥189)
 合計 ¥3,964
 お預り ¥10,000
 お釣 ¥6,036

 乗算登録の「数量」は「0.001 ~ 9999.999」です。
 乗算登録は「数量×単価」がご購入時の標準状態ですが、「単価×数量」とすることもできます。（98 ページ）

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

基本的なレジの操作 (2/2)

同じ商品を複数お買い上げ

例

単価	数量	部門キー	預かり金
¥300	3	部門 2	¥2,000
¥500	2	部門 1	



ポイント

TK-5000 では部門キーの代わりにフラット PLU キーを使うことが可能です。

手順

印字例

1 商品の単価と部門キーを押します。商品の数量だけ、該当キーを押します。

3 0 0 [2] 300
 [2] 2 300
 [2] 3 300

リピート回数

```

2005-07-31 09:50
担当 -A                000017
部門 02                ¥300
部門 02                ¥300
部門 02                ¥300
部門 01                ¥500
部門 01                ¥500
内税対象計            ¥1,900
内税                   5.0%   (¥90)
合 計                  ¥ 1,900
お預り                 ¥ 2,000
お 釣                  ¥ 100
    
```

2 商品の単価と部門キーを押します。
商品の数量だけ、該当キーを押します。

5 0 0 [1] 500
 [1] 2 500

3 [小計] キーを押します。

[小計] 1900

4 預かり金額を入力して [現/預] キーを押します。

2 0 0 0 [現/預] 100

注意 リピート回数は、10 回以上のときは下 1 桁のみの表示となります。

両替を行なう (ドローアを開ける)

ドローアを開けるときの、または両替するときの操作を説明します。

手順

印字例

1 [#/替] を押します。ドローアが開きます。

[#/替]

```

2005-07-31 09:51
担当 -A                000023
替                    .....
    
```



両替は、登録操作が完了しているときに、数値を入れないで [#/替] キーを押します。



領収書発行の操作 (1 / 2)

売上レシートが発行された後に **領収書発行** キーを押すことにより、領収書が発行できます。
 なお、レシートスイッチが「停止」の場合でも領収書が発行できます。

領収書 (3万円未満) の発行

例

単価	数量	部門キー	預かり金
¥500	10	部門 4	¥30,000
¥2,000	1	部門 2	
¥15,000	1	部門 1	

この登録の後で領収書を発行する。



TK-5000 では部門キーの代わりにフラット PLU キーを使うことが可能です。

手順

1 例題に示された商品登録をおこないます。

1 0 5 0 0
 2 0 0 0
 1 5 0 0 0
 小計
 3 万円

2 **領収書発行** キーを押します。



印字例

カシオ商店
 渋谷区本町 1-6-2
 電話 1234-5678

2005-07-31 10:02
 担当 -A 000025

10点	@500	
部門 01		¥5,000
部門 02		¥2,000
部門 03		¥15,000
内税対象計		¥22,000
内税	5.0%	(¥1,048)
合計		¥22,000
お預り		¥30,000
お釣		¥8,000

注意 領収書を発行する場合は、自店専用の電子店名スタンプを作成のうえ取り付けてください。
 電子店名スタンプはレジスタに同梱されている電子店名スタンプ申込書にご記入の上、ご発注ください。

レシート一連番号

●領収書印字例

2005年07月31日

一連 No000025
 領収 No000004

領 収 書 様

¥22,000-

税抜金額 ¥20,952-
 消費税等 印 ¥1,048-

(但し) として 正に領収致しました)

カシオ商店 渋谷区本町 1-6-2
 電話 1234-5678

印刷面を内側に折って保管願います

領収額中の税額
 領収書一連番号

お客様名を書き込みます

収入印紙貼付欄 (印字しないようにもできます。)

収入印紙

但し書きは幾通りかの中から選ぶことができます。
 もし適切なものがなければ、空白を選んで手書きしてください。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

領収書発行の操作 (2 / 2)

領収書 (3万円以上) 発行

例

単価	数量	部門キー	預かり金
¥5,550	2	部門 1	¥60,050
¥2,780	5	部門 2	
¥1,960	5	部門 3	
¥11,450	1	部門 2	
¥1,380	10	部門 1	

この登録の後で領収書を発行する。



ポイント

TK-5000 では部門キーの代わりにフラット PLU キーを使うことが可能です。

手順

1 例題に示された商品登録をおこないます。

5 5 5 0 [1]

[1]

5 \times /日時 2 7 8 0 [2]

5 \times /日時 1 9 6 0 [3]

1 1 4 5 0 [2]

1 0 \times /日時 1 3 8 0 [1]

小計

6 万円 5 0 [現/預]

2  キーを押します。

 領収書発行

印字例

カシオ商店

渋谷区本町 1-6-2
電話 1234-5678

2005-07-31 10:06

担当 -A 000026

部門 01		¥5,550
部門 01		¥5,550
部門 02	5 点	@2,780
部門 02		¥13,900
部門 02	5 点	@1,960
部門 03		¥9,800
部門 02		¥11,450
部門 02	10 点	@1,380
部門 01		¥13,800
内税対象計		¥60,050
内税	5.0%	(¥2,860)
合 計		¥ 60,050
お預り		¥ 60,050
お 釣		¥ 0

●領収書印字例

2005 年 07 月 31 日

領 収 書

一連 No000026
領収 No000005

様

¥ 60,050 -

(但し として 正に領収致しました)

税抜金額 ¥57,190-
消費税等 ¥2,860-

印

カシオ商店

渋谷区本町 1-6-2
電話 1234-5678

印刷面を内側に折って保管願います

収入印紙

収入印紙貼付欄



領収書発行枚数は、収入印紙を貼付したか/貼付しなかったかで分けて集計されます。収入印紙を貼付したか否かはお買い上げ時は 30,000 円に設定されていますが、これが変わったらその額に変更してください。→ 100 ページ



金額指定の領収書発行

手順

1 領収書の額面金額を入力し  キーを押します。

5000 

●領収書印字例

2005年07月31日	領収書	一連 No000027 領収 No000006
様		
¥5,000-		
(但し	として	印
正に領収致しました)		
収入印紙	カシオ商店	渋谷区本町 1-6-2 電話 1234-5678
		印刷面を内側に折って保管願います

 **ポイント** 金額指定の領収書を発行する場合は、登録操作が完了しているときに、金額を入れて  キーを押します。
この場合、税額は印字されません。

領収書発行時のレシート用紙のご注意

- 領収書を発行される場合および、ジャーナルを保存される場合は、高保存タイプのロールペーパーを使用することをお勧めします。
- 感熱紙（サーマル用紙）は、通常紙に比べて吸湿性が劣る傾向があります。このため、収入印紙貼付後や捺印後は、すぐに擦ったりしないでください。
- 感熱紙（サーマル用紙）は、強い光にさらすと、印字文字がうすくなり見えにくくなります。このため、ペーパーの保管・保存には注意してください。
- お客様にお渡しするときは、「汚れ防止」と「光から遮断」のため、印字面を内側にして2つ折りにしてお渡しください。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

キー操作をまちがえたとき

「金額」や「数量」をレジスタに入れるために **1** ~ **9**、**0** および **00** の数字キーを押すことを《置数》と言います。

置数は、レジスタの表示窓に入っているだけで、内部の記憶（メモリ）にはまだ入っていません。また、乗算登録で **X/日時** キーを押したときの数量も記憶には入っていません。

置数のあとに、部門キーなどの命令キーを押すと、そのときの金額が記憶に入ります。

記憶に入る前の数値は **C/AC C** キーで、記憶に入ってしまった金額は **訂正中止** キーで消すことができます。

部門・取引キーを押す前の訂正

部門キーを押す前は、すべて **C/AC C** キーで訂正できます。

例

	単価	数量	部門またはフラット PLU キー	預かり金
①	¥120	1	部門 1	④ ¥3,000
②	¥200	5	部門 1	
③	¥105	10	部門 2	

上記登録途中での間違い。



ポイント
TK-5000 では部門キーの代わりにフラット PLU キーを使うことが可能です。

① 単価を押しまちがえた

③ 乗算で単価をまちがえた

手順

手順

1 **C/AC C** キーを押します。

1 2 00 C/AC C

1 **C/AC C** キーを押します。

1 0 X/日時 1 5 0 C/AC C

2 正しく入力し、部門キーを押します。

1 2 0 1

2 正しく入力し、部門キーを押します。

1 0 X/日時 1 0 5 2

② 単価を入れて **X/日時** キーを押してしまった（数量をまちがえて **X/日時** キーを押してしまった）

④ 預かり金額をまちがえた

手順

手順

1 **C/AC C** キーを押します。

2 0 0 X/日時 C/AC C

1 **C/AC C** キーを押します。

小計 5 0 0 0 C/AC C

2 正しく入力し、部門キーを押します。

5 X/日時 2 0 0 1

2 正しく入力し、**現/預** キーを押します。

小計 3 0 0 0 現/預



部門キーを押したあとでの訂正

部門キーを押した直後は、**訂正/中止** キーで訂正できます。

例

	単価	数量	部門キー	預かり金
①	¥505	1	部門 1	¥2,000
②	¥230	3	部門 3	

上記登録途中での間違い。



ポイント
TK-5000 では部門キーの代わりにフラット PLU キーを使うことが可能です。

手順

① 単価をまちがえて部門キーを押してしまった

1 **訂正/中止** キーを押します。
5 5 0 [] 1 **訂正/中止**

2 正しく入力し、部門キーを押します。

5 0 5 [] 1

② 乗算で単価をまちがえて 部門キーを押してしまった

1 **訂正/中止** キーを押します。
3 **×/日時** 2 2 0 [] 3 **訂正/中止**

2 正しく入力し、部門キーを押します。

3 **×/日時** 2 3 0 [] 3

3 **小計** キーを押し、預かり金を入力して **現/預** キーを押します。

小計 2 0 0 0 **現/預**

印字例

```

2005-07-31 10:35
担当 -A                      000037

部門 01                      ¥550
訂正                          -550
部門 01                      ¥505
                        3 点      @220
部門 03                      ¥660
訂正                          -660
                        3 点      @230
部門 03                      ¥690
内税対象計                    ¥1,195
内税      5.0%                (¥57)
合 計                        ¥ 1,195
お預り                        ¥ 2,000
お 釣                        ¥ 805
    
```

※直前訂正は、ジャーナルには印字されませんがレシートには印字されません。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

登録途中の商品すべてを取り消す

そのレシートをはじめからやり直すときは、**小計** **訂正/中止** で一括取消を行ないます。

例

単価	数量	部門キー	預かり金
¥350	12	部門 4	-
¥1,280	1	部門 2	



ポイント
TK-5000 では部門キーの代わりにフラット PLU キーを使うことが可能です。

手順

1 例に示した登録をします。

1 2 **×/日時** 3 5 0 [] 4 1 2 8 0 [] 2

2 **小計** キーを押してから、**訂正/中止** キーを押します。

小計 **訂正/中止**

印字例

```

2005-07-31 10:41
担当 -A                      000040

                        12 点      @350
部門 04                      ¥4,200
部門 02                      ¥1,280
取引中止                      .....
    
```

注意 取引中止で **小計** キーを押さないと、最終行の訂正（取消）になります。登録行数が 150 行を超えると、この操作ができなくなります。

返品戻しとレシート発行後の訂正

モードスイッチの位置

戻



現/預 キーを押して、レシートが発行されたあとでまちがいに気づいた場合や、商品の返品があった場合などには《返品戻し処理》を行ないます。

返品戻し処理には、《取引終了後の返品》と、《取引中の返品》の2種類があります。

取引終了後の返品

すでに売り上げた（レシート発行を終えた）商品の「返品戻し」は、モードスイッチを「戻」の位置に合わせて、売上登録と同じように操作する《取引終了後の返品》を行ないます。

なお、モードスイッチを「戻」にすると、表示窓の“戻”の位置にシンボル（■）が表示されます。

例

単価	数量	部門キー	預かり金
¥780	2	部門 1	現金
¥1,280	1	部門 3	



ポイント

TK-5000 では部門キーの代わりにフラット PLU キーを使うことが可能です。

手順

印字例

- 1 戻しモードに合わせます。
- 2 例に示した登録操作を行ないます。

7 8 0 [] 1 [] 1

1 2 8 0 [] 3

小計 現/預

- 3 登録モードに合わせます。

戻 2005-07-31 10:50
担当 -A 000045
部門 01 ¥780
部門 01 ¥780
部門 03 ¥1,280
内税対象計 ¥2,840
内税 5.0% (¥135)
現金 ¥2,840

(戻しモードのしるしは担当者名、
一連番号の行に印字されます)



注意 戻しモードでの処理が終わったら、モードスイッチを「登録」の位置に戻します。



取引中の返品

現在売り上げている商品の返品処理は、モードスイッチを「登録」のままで **戻** キーを使って《取引中の返品》を行ないます。

現/預 キーを押して登録を完了した後でその登録の誤りに気づいた場合は、《取引終了後の返品》を行ないます。

例

単 価	数 量	部門キー	預かり金
¥720	1	部門 4	現 金
¥1,530	2	部門 2	
返品処理→¥720	1	部門 4	



ポイント

TK-5000 では部門キーの代わりにフラット PLU キーを使うことが可能です。

手順

1 例に示した通常の商品登録を行ないます。

7 2 0 **4** **1 5 3 0** **2** **2**

2 **戻** キーを押して返品する商品を登録します。

戻

7 2 0 **4**

3 **小計** キーと **現/預** キーを押します。

小計 **現/預**

印字例

```

2005-07-31 10:53
担当 -A                000048
部門 04                ¥720
部門 02                ¥1,530
部門 02                ¥1,530
戻                      .....
部門 04                -720
内税対象計            ¥3,060
内税 5.0%             (¥146)
現金                  ¥ 3,060
    
```

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

閉店後の操作

閉店後には、精算・設定・オーナー用鍵 (PGM) でモードスイッチを「精算」の位置に合わせて、その日の売上の精算を行ないます。

モードスイッチを「精算」にすると、表示窓の“精算”の位置にシンボル (■) が表示されます。

なお、精算を行ないますと、時刻、日付、各種設定内容および精算回数を除いて、印字内容が、印字し終わると同時にクリア (ゴハサン) されます。

※精算に関しては、52 ページ以降にも記載されています。

1 日の売上を打ち出す

手順

日計明細の精算は、モードスイッチを「精算」にして、**現/預** キーを押します。

印字例

精算 2005-07-31 17:53	日付 / 時刻		
担当 -A 0001-000248	責任者名 / マシン番号 / 一連番号		
固定合計器	精算レポ	レポ	レポ
日計 0001011 Z 0002	レポ	レポ	レポ
-----	-----	-----	-----
総売り 1060 点	総売上 { 個数		
¥524,966	{ 金額 * 1		
純売り 158 件	純売上 { 件数		
¥498,747	{ 金額 * 2		
現金在高 ¥405,361	現金在高		
貸在高 ¥40,295	貸し売り在高		
商品券在高 ¥2,890	商品券在高		
信在高 ¥37,405	信用売り在高		
戻モード 1 件	「戻」モード { 件数		
¥6,372	{ 金額		
万円 17 枚	万円券枚数		
サービス ¥376	5 円 / 10 円丸め合計		
取引中止 2 件	取引中止 { 件数		
¥297	{ 金額		
電卓 18 件	電卓モードの計算回数		
領収書 印紙 1 件	印紙付き領収書 { 件数		
¥36,372	{ 金額		
領収書 2 件	印紙無し領収書 { 件数		
¥23,563	{ 金額		
-----	-----	-----	-----
内税対象計 ¥330,584	内税 { 対象額 (税込み)		
内税 5.0% ¥15,742	{ 消費税額		
非課税合計 ¥153,051	非課税額合計		
.....			

取引	精算レポ	
日計	0001012	Z 0002
-----	-----	-----
現金		48 件
		¥405,381
貸		5 件
		¥40,295
商品券		1 件
		¥2,890
クレジット		3 件
		¥37,405
入金		1 件
		¥10,000
出金		2 件
		¥10,000
-		6 点
		¥32,097
%-		1 件
		¥9,234
戻		3 件
		¥10,873
訂正		6 件
		¥4,905
レポート		19 件
# / 替		3 件
強制解除		2 件
		¥320
.....		

部門キーの便利な使い方

本機には、便利な機能が豊富に備えられています。
ここでは、機能ごとにその使い方を説明します。

注意 機能によっては《あらかじめ設定》しなければならないものもありますので、その場合は設定ページをご覧ください。
また、印字例も設定内容によっては記載の例とちがうこともあります。

単価設定商品の登録

例

単 価	数 量	部門またはフラット PLU キー	預かり金
¥800 (キーに設定済み)	1	部門 2	¥5,000
¥1,200	1	部門 2	
¥600	1	フラット PLU 15	
¥500 (キーに設定済み)	4	フラット PLU 15	

注意
TE-5000 には、フラット PLU キーは
ありません。

手順

印字例

1 部門キーを押します。設定単価が呼び出されます。

2

2 単価を入力して部門キーを押します。入力された単価を使用します。

1 2 0 0 2

3 同様にフラット PLU キーも使用できます。

6 0 0 15

4 ×/日時 15

4 レシートを発行します。

小計

5 0 0 0 現/預

2005-07-31 11:12	
担当 -A	000062
部門 02	¥800
部門 02	¥1,200
PLU015	¥600
4 点	@500
PLU015	¥2,000
内税対象計	¥4,600
内税 5.0%	(¥219)
合 計	¥ 4, 6 0 0
お預り	¥ 5, 0 0 0
お 釣	¥ 4 0 0

ポイント 部門キーやフラット PLU キーに単価が設定されていても、登録の際に新たな単価を入れれば、その単価で登録されます。
この場合、設定されている単価は消えません。

参照 部門キーへの単価設定の仕方 → 67 ページ
フラット PLU キーへの単価設定の仕方 → 67 ページ

単価×数量で登録する

ご購入状態（標準仕様）での乗算登録は「数量」×「単価」の計算順ですが、これを「単価」×「数量」の計算順にすることができます。

例

単 価	数 量	部門キー	預かり金
¥380	8	部門 1	¥10,000
¥160	5	部門 2	
¥500 (キーに設定済み)	10	部門 3	

手順

1 単価を入力し、 $\times/\text{日時}$ キーを押し、数量を入力して部門キーを押します。

3 8 0 $\times/\text{日時}$ 8

1 6 0 $\times/\text{日時}$ 5

2 設定単価を使用する場合は、単価入力を飛ばすことができます。

$\times/\text{日時}$ 1 0

3 同レシートを発行します。

小計

万円 現/預

印字例

```

2005-07-31 11:15
担当 -A 000065
      8点 @380
部門 01 ¥3,040
      5点 @160
部門 02 ¥800
      10点 @500
部門 03 ¥5,000
内税対象計 ¥8,840
内税 5.0% (¥421)
合 計 ¥ 8,840
お預り ¥10,000
お釣 ¥ 1,160
  
```

注意 「単価」×「数量」での登録は、乗算の計算順序をこの方式に設定することにより使える機能で、部門キーを使った登録の場合に使用できません。(ワットPLUキーではこの操作はできません)
この設定を行なうと、「PLUの乗算登録」、「スキャニングPLUの乗算登録」と、「時刻・日付の表示」ができなくなります。

参照  乗算の計算順序の設定 → 98ページ

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

PLU の使い方

PLU について

PLU 番号ごとに「商品単価」と「商品名」を覚えさせておくことにより、その番号を指定するだけで商品登録を行なうことができる便利な機能です。

通常の商品の登録は、《商品単価を入れて部門キーを押す》ですが、PLU 登録は、《PLU 番号を入れて **PLU** キーを押す》で登録できます。

PLU に登録されると、その金額と個数とその PLU に集計されていきますので、PLU ごとの売上状況をつかむことができます。

PLU はお買い上げの状態ですべて 648 個あります。

なお、TK-5000 では、648 個の PLU の内、番号 1 ～ 72 を 7 つの PLU キーとしてあらかじめ「タッチキー」上に設定しています。この番号の PLU は、部門キーと変わらない操作で PLU 登録ができます。

注意 PLU 登録では、事前に商品単価と商品名を各 PLU に設定しておく必要があります。
TK-5000 では **PLU** キーは、標準ではキーボード上にありませんので、7 つの PLU キー上に設定された数以上の PLU を使用する場合は設定してください。

参照 PLU への単価設定の仕方 → 67 ページ
PLU への商品名の設定の仕方 → 78, 79 ページ
PLU キーなど、お店に必要なキーの設定 → 102 ページ

品番 PLU 機能について

PLU のもう一つの便利な機能が「品番 PLU」です。この機能は、同じ商品でありながら「違う単価」で販売しなければならないときに有効で、使用するキーとして、**PLU** キーのほかに **金額** キーが必要になります。

PLU の中の任意の PLU に「品番 PLU」を設定しておくことができます。この設定がしてある PLU は、番号を入れて **PLU** キーを押し、その後に単価を入れて **金額** キーを押してはじめて登録が行なわれます。(単価を入れずに直接 **金額** キーを押せば、設定されている単価で登録できます)

注意 品番 PLU 機能が必要な場合は、事前に PLU に設定してください。
TK-5000 では **金額** キーは、標準ではキーボード上にありませんので、品番 PLU が必要な場合は設定してください。

参照 PLU への品番 PLU の設定 → 88 ページ
金額 キーなど、お店に必要なキーの設定 → 102 ページ

PLU に単価設定してある商品のお買い上げ

例

単価	数量	PLU 番号	預かり金
¥2,000	1	PLU No. 200	¥10,000
¥150	12	PLU No. 150	
¥1,200	2	PLU No. 109	

手順

- PLU 番号を入力し **PLU** キーを押します。設定単価を呼び出します。
2000 **PLU** 2,000
- 個数を入力して乗算登録を行ないます。
12 **X/日時** **150** **PLU** 1,800
- リピート登録を行ないます。
109 **PLU** **PLU** 2 1,200
リピータ回数
- レシートを発行します。
小計 **万円** **現/預** 3,800

印字例

2005-07-31 11:25	
担当 -A	000067
PLU0200	¥2,000
12 点	@150
PLU0150	¥1,800
PLU0109	¥1,200
PLU0109	¥1,200
内税対象計	¥6,200
内税 5.0%	(¥295)
合計	¥6,200
お預り	¥10,000
お釣	¥3,800

品番 PLU を使って登録する

例

単価	数量	PLU 番号	預かり金
¥850	2	No. 303 (品番 PLU 設定済み)	¥4,000
¥98	9	No. 28 (品番 PLU 設定済み)	
¥480 (単価設定済み)	1	No. 232 (品番 PLU 設定済み)	

手順

- 品番を入力し **PLU** キー、単価 **金額** キーを押します。
303 **PLU** **850** **金額** 850
- リピート登録を行ないます。
金額 2 850
- 個数を入力して乗算登録を行ないます。
9 **X/日時** **28** **PLU** **98** **金額** 882
- 設定単価を使う場合は単価を入力しないで **金額** キーを押します。
232 **PLU** **金額** 480
- レシートを発行します。
小計 **4000** **現/預** 938

印字例

2005-07-31 11:27	
担当 -A	000069
PLU0303	¥850
PLU0303	¥850
9 点	@98
PLU0028	¥882
PLU0232	¥480
内税対象計	¥3,062
内税 5.0%	(¥146)
合計	¥3,062
お預り	¥4,000
お釣	¥938

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

スキャンニング PLU の使い方

スキャンニング PLU について

本機には通常の PLU の他に、バーコードを覚えさせられるスキャンニング PLU も用意されています。このスキャンニング PLU は、別売のスキャナーでバーコードを読み取るか、キーボードからバーコードの数字を入れて **[OBR]** キーを押すことで登録できます。(**[OBR]** キーをキーボード上に設定する必要があります)

扱うことのできるバーコードの種類は、JAN-13/EAN-13 PLU タイプ、JAN-8/EAN-8 PLU タイプ、UPC-A/UPC-E PLU タイプ、JAN-13/JAN-8 Non PLU タイプ、雑誌コード、書籍コード等のバーコードを扱うことができます。

スキャンニング PLU はお買い上げの状態では 6,000 個あります。

 **ポイント** お買い上げの状態では、スキャンニング PLU のバーコード数値は、登録中はジャーナルにのみ印字し、レシートには印字しません。点検・精算では、レシート、ジャーナルともバーコード数値を印字します。

スキャンニング PLU の自動学習機能

スキャンニング PLU は、あらかじめ設定する必要はなく、商品を登録すればそのバーコードの数値と単価が自動的に設定される《自動学習》の機能を備えています。

登録中にスキャンニング PLU を登録した場合、そのバーコード数値が以前に自動学習等で設定されていればそのまま登録されますが、新しい数値であった場合は、単価を入れてその商品の部門キーを押せば売上登録がされるとともに、自動学習が行なわれて新規にそのバーコード数値と単価が設定されます。

なお、スキャンニング PLU は、その容量を有効に活用するために、一定期間（設定によって決まります）売上登録や設定変更がない PLU を、「スキャンニング PLU 未稼動」の「精算」を行なうことで、削除することができます。

 **参照** **[OBR]** キーなど、お店に必要なキーの設定 → 102 ページ
スキャンニング PLU の削除期間の設定の仕方 → 88 ページ

 **ポイント** 設定されているスキャンニング PLU の単価、または、部門を変更することもできます。
スキャンニング PLU の単価と部門の変更 → 89 ページ



スキャン PLU 商品のお買い上げ（未学習；新規登録）

例

単価	数量	部門キー	預かり金
¥570	1	商品 A (未設定、部門 3)	¥5,000
¥760	4	商品 B (未設定、部門 3)	

手順

- 商品 A のバーコードをスキャンします。
(ガイダンスが表示されますので、それに従って操作します)
- 単価を入れて部門キーを押します。
570 **3**
- 商品 B の数量を入れ **X/日時** キーを押してスキャンします。
4 **X/日時** (スキャン)
- 単価を入れて部門キーを押します。
760 **3**
- レシートを発行します。
小計 **5000** 現/預

印字例

```

2005-07-31 11:40
担当 -A 000074

部門 03 ¥570
      4点 @760
部門 03 ¥3,040
内税対象計 ¥3,610
内税 5.0% (¥172)
合 計 ¥ 3,610
お預り ¥ 5,000
お 釣 ¥ 1,390
  
```

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

スキャン PLU 商品のお買い上げ（学習済み；設定済み）

例

単価	数量	スキャン登録	預かり金
¥760	2	商品 B (設定済み、部門 3)	¥4,000
¥850	2	商品 C (設定済み、部門 4) コード番号 4905360102547	

手順

- 商品 B の数量を入れ **X/日時** キーを押してスキャンします。
2 **X/日時** (スキャン)
- バーコードを入力し **OBR** キーを押します。
4905360102547 **OBR**
- OBR** キーを押すとリピート登録になります。
OBR
- レシートを発行します。
小計 **4000** 現/預

印字例

```

2005-07-31 11:40
担当 -A 000075

      2点 @760
部門 03 ¥1,520
部門 04 ¥850
部門 04 ¥850
内税対象計 ¥3,220
内税 5.0% (¥153)
合 計 ¥ 3,220
お預り ¥ 4,000
お 釣 ¥ 780
  
```

不加算印字の使い方

伝票番号や商品コードを印字する

集計に関係ない数値（伝票番号、商品コード、お客様番号、クレジット番号など）を印字する場合は、その数値（最大 16 桁）を入れたあとで **#/替** キーを押します。これを《不加算印字》と言います。

例

お客様番号 <1001> に下記の商品売る

単 価	数 量	部 門 鍵	預 かり 金
¥1,230	1	部 門 1	¥20,000
¥3,500	1	部 門 3	
¥8,800 (商品コード 53344830)	1	部 門 2	



ポイント
TK-5000 では部門キーの代わりにフラット PLU キーを使うことが可能です。

手順

印字例

1 お客様の番号を不加算印字で登録します。続いて商品を登録します。

1 0 0 1 **#/替**

1 2 3 0

3 5 0 0

2 商品コードを不加算印字で登録します。続いて商品を登録します。

5 3 3 4 4 8 3 0 **#/替**

8 8 0 0

3 レシートを発行します。

小計 万円

1001

2005-07-31 11:40
担当 -A 000074

部門 01 ¥1,230
部門 03 ¥3,500
53344830
部門 02 ¥8,800
内税対象計 ¥13,530
内税 5.0% (¥644)
合 計 ¥13,530
お預り ¥20,000
お 釣 ¥6,470

不加算印字

万円キー / 後レシートキーの使い方

登録



万円キーの使い方

万円 キーは、預かり金に使用できます。また、金額登録時にも使用できます。

例

単価	数量	部門キー	預かり金
¥10,000	1	部門 3	¥40,000
¥20,550	1	部門 4	



ポイント
TK-5000 では部門キーの代わりにフラット PLU キーを使うことが可能です。

手順

印字例

1 1万円や端数の入力を下記のように行います。

万円

万円

2 万円 キーの前に1万円札の枚数を入力してください。

小計 万円

2005-07-31 12:44	
担当 -A	000176
部門 03	¥10,000
部門 04	¥20,550
内税対象計	¥30,550
内税 5.0%	(¥1,455)
合計	¥30,550
お預り	¥40,000
お釣	¥9,450

ポイント 預かり金処理で万円 キーを使うと、点検・精算のときに、「一万円札」の枚数が印字されます。(商品登録時の使用はカウントされません)

必要なときだけレシートを発行する

レシートスイッチを「停止」で使用している場合でも、 キーを押せばレシートを発行することができます。

例

レシートスイッチ「停止」で、下記の登録後にレシートを発行する。

単価	数量	部門キー	預かり金
¥150	5	部門 2	¥1,500
¥550	1	部門 4	



ポイント
TK-5000 では部門キーの代わりにフラット PLU キーを使うことが可能です。

手順

印字例

1 商品登録を行い、取引を終了します。

小計

2 キーを押して後レシートを発行します。

2005-07-31 12:47	
担当 -A	000178
5点	@150
部門 02	¥750
部門 04	¥550
内税対象計	¥1,300
内税 5.0%	(¥62)
合計	¥1,300
お預り	¥1,500
お釣	¥200

注意 お買い上げの状態では、レシートスイッチが「発行」のときは、後レシート発行はできません。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

時刻や日付の表示

時刻および日付を表示する

モードスイッチが「登録」または「戻」の位置で、 キーを押すと時刻/日付を表示することができます。(登録の途中では表示できません)

キャラクタ(文字)表示部に「日付」を表示し、数値・金額表示部に「時刻」を表示します。

時刻または日付を表示後、他の操作を行なう場合は、 キーを押してからはじめます。(「時刻/日付」表示のままでは、他の操作が何もできません)

手順

1 日付・時刻を確認します。



2 日付・時刻表示を解除します。



 時刻・日付の修正 → 66 ページ



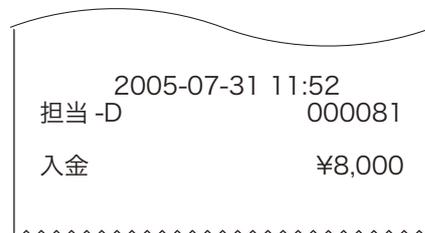
売上とは関係ない現金をドロアに入れる

手順

1 釣り銭用として、8,000 円を補充する。

8 0 0 0 入金

印字例



ご使用前に

使い方

 **ポイント** 貸し売り代金の受取や、釣り銭用小銭の補充など、売上ではない入金で「現金をドロアに入れるとき」には、その金額を「入金」として処理します。これにより、「点検・精算」時に、ドロア内の現金の在高を正確に把握することができます。

売上とは関係ない現金をドロアから出す

手順

1 1万円札 15 枚を金庫に移す。

1 5 万円 出金

印字例



便利な使い方

設定の仕方

 **ポイント** 集金や、ドロアが一杯になったときなど、売上（お釣りや両替）とは関係なく「現金をドロアから出すとき」には、その金額を「出金」として処理します。これにより、「点検・精算」時に、ドロア内の現金の在高を正確に把握することができます。

こんなときは

値引きキーの使い方

値引きを行なう

例

単価	数量	部門キー	値引き金額	預かり金
¥1,000	1	部門 1	¥500 (設定済み)	¥5,000
¥2,500	1	部門 3		



ポイント
TK-5000では部門キーの代わりにフラット PLU キーを使うことが可能です。

手順

印字例

1 商品を登録します。

1 0 0 0

2 5 0 0

2 値引きを行います。(設定された値引き単価を呼び出します。)

3 レシートを発行します。

小計 5 0 0 0

2005-07-31 12:18	
担当 -A	000093
部門 01	¥1,000
部門 03	¥2,500
-	-500
内税対象計	¥3,000
内税 5.0%	(¥143)
合計	¥ 3,000
お預り	¥ 5,000
お釣	¥ 2,000

ポイント キーには、あらかじめ「値引き金額」を設定しておくことができます。なお、違う値引き金額を入れれば、その金額が値引きされます。

参照 キーへの値引き金額の設定 → 68 ページ



割引きキーの使い方

それぞれの商品金額から割引きをする

例

単価	数量	部門キー	割引率	預かり金
¥1,000	1	部門 1	5% (設定済み)	¥5,000
¥2,500	1	部門 3	7.5%	



ポイント
TK-5000 では部門キーの代わりにフラット PLU キーを使うことが可能です。

手順

印字例

1 [%-] キーを押すと直前の登録金額から割引き計算をおこないます。

1 0 0 0 [1]

[%-]

2 [%-] キーの直前に割引率を入力することもできます。

2 5 0 0 [3]

7 . 5 [%-]

3 レシートを発行します。

小計 5 0 0 0 [現/預]

```

2005-07-31 12:20
担当 -A                000095
部門 01                ¥1,000
-5%                    -50
%-                      -50
部門 03                ¥2,500
-7.5%                  -188
%-                      -188
内税対象計            ¥3,262
内税      5.0%        (¥155)
合  計                ¥ 3, 2 6 2
お 預 り              ¥ 5, 0 0 0
お 釣                  ¥ 1, 7 3 8
  
```

ポイント [%-] キーには、あらかじめ「割引き率」を設定しておくことができます。また、割引き計算の円未満の端数は標準では「四捨五入」ですが、「切上げ」または「切捨て」にすることもできます。使用例は割引ですが、[%-] キーを用いた割り増しの操作もこれと同じです。

参照 [%-] キーへの割引き率の設定 → 68 ページ
[%-] キーの端数処理の設定 → 99 ページ

合計金額から割引きをする

例

単価	数量	部門キー	割引率	預かり金
¥1,000	1	部門 1	10%	¥5,000
¥2,500	1	部門 3		



ポイント
TK-5000 では部門キーの代わりにフラット PLU キーを使うことが可能です。

手順

印字例

1 商品登録をおこないます。

1 0 0 0 [1]

2 5 0 0 [3]

2 [小計] キーを押してから [%-] キーを押します。

小計 1 0 [%-]

3 レシートを発行します。

小計 5 0 0 0 [現/預]

```

2005-07-31 12:22
担当 -A                000096
部門 01                ¥1,000
部門 03                ¥2,500
小計                  ¥3,500
-10%                  -350
%-                      -350
内税対象計            ¥3,150
内税      5.0%        (¥150)
合  計                ¥ 3, 1 5 0
お 預 り              ¥ 5, 0 0 0
お 釣                  ¥ 1, 8 5 0
  
```

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

さかのぼり訂正の使い方

登録中に何行か前のまちがいを訂正する

〔戻〕キーは「取引中の返品」(29 ページ参照) に使用しますが、登録途中で何行か前の登録を訂正したい場合 (これを「さかのぼり訂正」と言います) にも使用できます。

例

単価	数量	部門キー	預かり金
¥960	1	部門 4	¥4,000
¥2,800	1	部門 4	



ポイント
TK-5000 では部門キーの代わりにフラット PLU キーを使うことが可能です。

手順

印字例

1 商品登録をおこないます。

9 9 0 4

2 8 0 0 4

2 最初に登録した商品の単価の間違いに気づき、さかのぼり訂正をします。

戻 9 9 0 4

3 正しい単価で登録し直します。

9 6 0 4

4 レシートを発行します。

小計 4 0 0 0 現/預

2005-07-31 12:45	
担当 -A	000202
部門 04	¥990
部門 04	¥2,800
戻	
部門 04	-990
部門 04	¥960
内税対象計	¥3,760
内税 5.0%	(¥179)
合計	¥ 3,760
お預り	¥ 4,000
お釣	¥ 240

訂正分の印字



ポイント さかのぼり訂正は、〔戻〕キーを押したあとに、まちがえた登録内容をそのまま操作し、改めて正しく入れ直します。

10円まるめ・5円まるめの使い方

登録



端数の10円未満を自動値引きする

合計金額を、「5円単位」または「10円単位」に丸めて《自動値引き》することができます。

例

<10円未満の端数值引き>で、下記の商品売る

単価	数量	部門キー	預かり金
¥1,281	1	部門 4	¥10,500
¥1,502	1	部門 1	
¥2,380	1	部門 2	



ポイント
TK-5000では部門キーの代わりにフラットPLUキーを使うことが可能です。

手順

印字例

1 例に合わせて商品登録をおこないます。

1 2 8 1 4

1 5 0 2 1

2 3 8 0 2

2 端数を丸めて合計処理がおこなわれます。

小計 万円 5 0 0 現/預

2005-07-31 12:50	
担当 -A	000203
部門 04	¥1,281
部門 01	¥1,502
部門 02	¥2,380
内税対象計	¥5,163
内税 5.0%	(¥246)
小計	¥5,163
サービス	-3
丸め前の金額	—
丸め値引き額	—
丸め後の金額	—
合計	¥ 5,160
お預り	¥ 10,500
お釣	¥ 5,340



「5円丸め」は、1円の位が「1~4→0円」に、「5~9→5円」に丸められます。

「10円丸め」は「1~9→0円」に丸められます。

どちらの場合も、丸められた差額が「自動値引き」されて、印字されると同時に「丸め合計」に集計されます。なお、差額がないときは印字は行われません。



5円丸めまたは10円丸めの設定 → 68ページ

日計明細で丸め合計の印字の設定 → 90ページ

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

券売キー / 信用売キーの使い方

商品券で売り上げる

商品券（券売り）で売上を行なう場合は、**[券]** キーを押します。

例

下記の商品を 5,000 円 (500 円×10 枚) の <商品券> で売る

単価	数量	部門キー	預かり金
¥2,380	2	部門 2	¥500 × 10 枚の商品券

(**[券]** キーには ¥500 が設定済み)



ポイント
TK-5000 では部門キーの代わりにフラット PLU キーを使うことが可能です。

手順

1 例に示した商品登録をおこないます。

2 3 8 0 **[2]** **[2]** **[小計]**

2 商品券額を入力し **[券]** キーを押します。乗算処理もできます。

1 0 **[x/日時]** **[券]**

印字例

2005-07-31 13:37	
担当 -A	000208
部門 02	¥2,380
部門 02	¥2,380
内税対象計	¥4,760
内税 5.0%	(¥227)
合計	¥4,760
商品券	¥5,000
お釣	¥240

《券売り》の預かり額



お店でよく使用される商品券の金額を、あらかじめ **[券]** キーに設定しておけば、上例のような便利な操作ができます。なお、金額を入れてから **[券]** キーを押せば、その金額が預かり商品券の金額になります。

参照 **[手]** **[券]** キーへ、よく使われる商品券の金額の設定 → 68 ページ

クレジットカード（信用売り）で売り上げる

クレジットカードで売上を行なう場合は、**[信1]** キーを押します。

例

下記の商品を <クレジットカード> で売る

単価	数量	部門キー	預かり金
¥35,000	1	部門 1	なし (クレジット)



ポイント
TK-5000 では部門キーの代わりにフラット PLU キーを使うことが可能です。

手順

1 例に示した商品登録をおこないます。

3 万円 5 0 0 0 0 **[1]** **[小計]**

2 **[信1]** キーを押します。(**[信2]** キーの使用も可能です)

[信1]

印字例

2005-07-31 13:40	
担当 -A	000210
部門 01	¥35,000
内税対象計	¥35,000
内税 5.0%	(¥1,667)
クレジット 1	¥35,000

信用売り



TK-5000 では **[信]** キーを新たに設定し、使用します。



組み合わせた売上のやり方

現金と商品券などを組み合わせて売り上げる

登録を終了するとき（「締め」と言います）に、**現/預**、**券**、**信** キーのどれかを押しませんが、1つのキーだけでの終了でなく、一部現金売り、一部信用売りなどのように「合計金額を別種の預かり金で分割して」処理を行なうことができます。

例

下記の商品を <分割処理> で売る

単価	数量	部門キー	預かり金
¥2,350	1	部門 2	商品券 ¥5,000
¥3,820	1	部門 1	現金 ¥1,500



ポイント
TK-5000 では部門キーの代わりにフラット PLU キーを使うことが可能です。

手順

印字例

1 例に示した商品登録をおこないます。

2 3 5 0 2 3 8 2 0 1

小計

6,170

2 商品券の預かり金額を入れて **券** キーを押します。

5 0 0 0 券

1,170

商品券分を引いた残額

3 現金の預かり金額を入れて **現/預** キーを押します。

1 5 0 0 現/預

330

おつり

2005-07-31 13:43	
担当 -A	000212
部門 02	¥2,350
部門 01	¥3,820
内税対象計	¥6,170
内税 5.0%	(¥294)
合計	¥6,170
商品券	¥5,000
お預り	¥1,500
お釣	¥330

おつり
現金預かり額
商品券分



ポイント 分割処理を「不可」に設定（97 ページ）することにより、小計額よりも少ない預かり金を入れた場合に警告音（エラーブザー）を鳴らすことができます。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

米ドルでの支払い／両替のやり方

米ドルで支払いがあった場合

米ドルでの支払を受付けるお店は、キーボード上に **[\$]** キーを設定してそれを使います。
[\$] キーを押してから **[小計]** キーを押すと、米ドルへ通貨変換されて、小計額のドル金額を表示します。
 米ドルで支払があった場合には、その「ドル金額」を入れて **[\$]** キーを押せば、日本円に通貨変換できます。

例

下記の商品を <米ドル> で売る

単価	数量	部門キー	預かり金
¥480	7	部門 1	60 ドル
¥2,380	1	部門 2	

(**[\$]** キーには通貨変換レート 112.54 が設定済み)



ポイント
 TK-5000 では部門キーの代わりにフラット PLU キーを使うことが可能です。

手順

1 例に示した商品登録をおこないます。

[7] **[X/日時]** **[4]** **[8]** **[0]** **[1]** **[2]** **[3]** **[8]** **[0]** **[2]** **[小計]**

2 ドルでの合計金額を算出します。

[\$] **[小計]** 5 100 合計のドル換算額

3 ドルでの預かり金額を日本円に変換します。

[6] **[0]** **[\$]** 6,752 預かりドルの円換算額

4 日本円での預かり計算をします。

[現/預] 1012 おつり

印字例

```

2005-07-31 13:43
担当 -A 000213
          7点 @480
部門 01 ¥3,360
部門 02 ¥2,380
内税対象計 ¥5,740
内税 5.0% (¥273)
合 計 ¥ 5,740
$ → ¥ $60.00
現金 ¥ 6,752
お 釣 ¥ 1,012
    
```

ポイント TK-5000 では **[\$]** キーを新たに設定し、使用します。

参照 **[\$]** キーなどお店に必要なキーの設定 → 102 ページ
[\$] キーへ通貨変換レートの設定 → 68 ページ

米ドルを円へ両替する

例

100 ドルを日本円に両替する
 (**[\$]** キーには通貨変換レート 112.54 が設定済)

手順

1 預かったドルを入力し、**[\$]**、**[現/預]** キーを押します。

[1] **[0]** **[0]** **[\$]** **[現/預]**

印字例

```

2005-07-31 13:50
担当 -A 000214
$ → ¥ $100.00
現金 ¥ 11,254
お 釣 ¥ 11,254
    
```

奉仕料の使い方

奉仕料の計算

お買い上げの状態では、奉仕料は計算しません。

この計算が必要なお店は、「奉仕料を計算する」に設定します。なお、この設定で、奉仕料の料率や端数処理方法なども設定します。

例

下記の商品を 奉仕料を計算して登録する (客数を2名とする)

単価	数量	部門キー	奉仕料	預かり金
¥5,500	2	部門 1	10% (設定済み)	¥20,000
¥3,500	1	部門 2		



TK-5000 では部門キーの代わりにフラット PLU キーを使うことが可能です。

手順

1 客数を入力します。

2 客数

2 商品登録をおこないます。

5 5 0 0 1 1 3 5 0 0 2

3 奉仕料が自動的に計算されます。

小計 2 万円 現/預

印字例

2005-07-31 13:50	
担当 -A	000215
	→ 2名
部門 01	¥5,500
部門 01	¥5,500
部門 02	¥3,500
奉仕料	¥1,450
内税対象計	¥15,950
内税 5.0%	(¥759)
合計	¥15,740
お預り	¥20,000
お釣	¥4,050

奉仕料額
人数 (客数)



奉仕料の計算の設定 → 74 ページ

客数 キーを新たに設定し、使用します。

客数 キーの機能の設定 → 98 ページ

客数の入力を忘れないために、客数入力 of 強制的設定 → 96 ページ

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

割り勘キーの使い方

登録直後での割り勘計算

例

単価	数量	部門キー	預かり金
¥980	4	部門 2	¥10,000
¥1,582	1	部門 1	

上記登録の直後に合計金額を4人で割り勘にする



ポイント
TK-5000では部門キーの代わりにフラットPLUキーを使うことが可能です。

手順

印字例

1 例に示した商品登録を行ない、レシートを発行します。

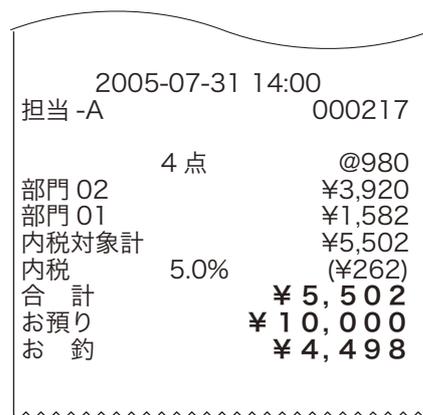
4 9 8 0

1 5 8 2

小計 万円 現/預

2 割り勘する人数を入力し キーを押します。

4



↑
割り勘レシート



ポイント キーを新たに設定し、使用します。

割り勘額に端数のある場合は、合計金額を人数で割って、小数第1位を切上げて表示します。

割り勘レシートは、小数点以下を切捨てた金額を、「人数-1」名様分とし、残りを1名様分にします。



締め前での割り勘計算

例

以下の商品の合計金額を5人で割り勘にする

単価	数量	部門キー	預かり金
¥1,230	5	部門 1	¥20,000
¥2,780	3	部門 2	



ポイント
TK-5000では部門キーの代わりにフラットPLUキーを使うことが可能です。

手順

1 例に示した商品登録を行ないます。

5 **1 2 3 0**

3 **2 7 8 0**

2 割り勘する人数を入力し キーを押します。

5



3 預かり金を置数して キーを押します。

2

印字例



※締め前では割り勘レシートは発行されません。

ご使用前に

使い方

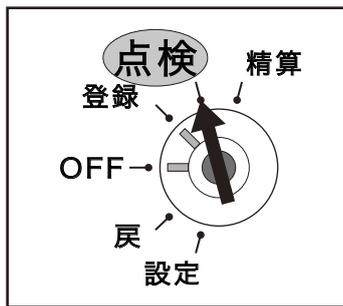
便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

点検と精算の操作と印字例 (1 / 5)

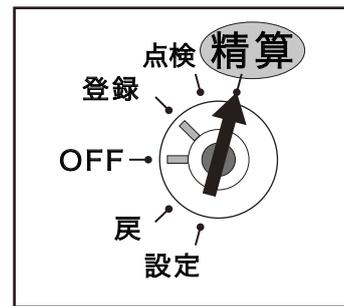
● 点検の場合のモードスイッチの位置



モードスイッチを「点検」にすると、表示窓の“点検”の位置にシンボル (■) が表示されます。

点検は、売上合計や現金在高、時間帯別合計などを「確認したい」ときに行なう操作です。(今までの合計は消えません)
なお、点検の印字シンボルは“X”です。

● 精算の場合のモードスイッチの位置



操作コードとレポート名について

点検または精算は、モードスイッチを「点検」または「精算」にした後で、以下の「操作コード」を入れまた、印字される点検・精算の内容は「レポート」と言い、このレポートには「レポート名」と「前回精算日付」(日計の場合の前回精算日付は印字 / 非印字があらかじめの設定で決まります。なお、日計明細では、固者別が順に印字されます)

レポート名称	日計のキー操作	期間集計1のキー操作	期間集計2のキー操作
日計明細	現/預	100 現/預	200 現/預
PLU	1 現/預	101 現/預	201 現/預
時間帯別	2 現/預	102 現/預	202 現/預
曜日別	8 現/預	108 現/預	208 現/預
月間日別	3 現/預	103 現/預	203 現/預
グループ別	6 現/預	106 現/預	206 現/預
価格帯別	23 現/預	123 現/預	223 現/預
スキニング PLU	26 現/預 開始部門番号 現/預 終了部門番号 現/預	なし	なし
売上/在高	×/日時	なし	なし
部門個別	点検したい部門キーを押す、最後に 小計	なし	なし
フラット PLU 個別 ※	点検したいフラット PLU キーを押す、、、最後に 小計	なし	なし
PLU 個別	点検したい PLU のコードを置数し PLU を押す、、、最後に 小計	なし	なし
スキニング PLU 個別	点検したいアイテムをスキャン、、、最後に 小計	なし	なし
グループ別 PLU	66 現/預 に続いて点検したいグループ番号 現/預、、、最後に 小計	なし	なし
担当者個別	67 現/預 に続いて点検したい担当者番号 現/預、、、最後に 小計	なし	なし
スキニング PLU ベスト	68 現/預 に続いて開始部門番号 現/預 終了部門番号 現/預	なし	なし
スキニング PLU 未稼働	69 現/預 に続いて開始部門番号 現/預 終了部門番号 現/預	なし	なし
PLU 【金額順】	77 現/預	177 現/預	277 現/預
PLU 【個数順】	78 現/預	178 現/預	278 現/預
部門 【金額順】	87 現/預	187 現/預	287 現/預
部門 【個数順】	88 現/預	188 現/預	288 現/預

精算は、期間満了日の営業終了後に、精算・設定用鍵 (PGM) でモードスイッチを「精算」の位置に合わせて行ないます。なお、モードスイッチを「精算」にすると、表示窓の“精算”の位置にシンボル (■) が表示されます。精算の印字シンボルは“Z”です。

て  キーを押すことを原則とします。が印字されます。定合計器、取引キー別、部門別、担当

備考	参照ページ
	30, 56
	56
	57
	57
	58
	58
	59
	59
点検のみ	54
	54
	55
	55
	54
点検のみ	55
明細精算の前におこなう	60
	60
	61
	61
	61 (類似例)
	61 (類似例)
	61 (類似例)

集計名称とその内容

- **日計明細**
1日の最後に必ず精算します。
売上総額やドロー内の現金在高、税額総計等、取引別の内容 (現金、掛け、商品券、クレジット等や割引、値引き、入出金)、部門別の売上状況、レジ担当者別の扱い金額などが求められます。
- **PLU (フラット PLU キー※) / スキャニング PLU**
個々の商品別の売上金額と売上数量が求められます。
- **時間帯別**
どの時間帯に売上が集中しているかを知ることができます。
- **曜日別**
1週間の内の何曜日に売上が多いかを知ることができます。
- **月間日別**
1ヶ月の内のどの日に売上が多いかを知ることができます。
- **グループ**
数個の部門またはフラット PLU キー (PLU) をグループにまとめてその合計を求めます。
- **価格帯別**
どの価格帯の商品の売上が多いかを知ることができます。
- **期間集計 1**
ある期間分 (週単位や月単位など) の売上状況がそれぞれ求められます。
- **期間集計 2**
期間集計 1 とは異なる期間 (キャンペーン期間中または、半期単位や年単位など) の売上状況がそれぞれ求められます。

 **ポイント** グループ集計は「部門」または「フラット PLU キー (PLU)」にあらかじめグループ番号を設定する必要があります。
価格帯別集計は、あらかじめ価格帯を設定する必要があります。
各項目の「構成比」を求める場合は、「売上構成比の印字」を「印字する」に設定します。
※フラット PLU 点検は TE-5000 にはありません。

 **参照** 部門のグループ設定 → 86 ページ
フラット PLU キー (PLU) のグループ設定 → 87 ページ
価格帯の設定 → 101 ページ
売上構成比の印字の設定 → 92 ページ

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

点検と精算の操作と印字例 (2/5)

売上 / 在高の点検

手順

- 1 モードスイッチを点検にします。
- 2  キーを押します。


印字例

点検	2005-07-31 19:30	日付/曜日/時刻
担当	-A 0001-000370	担当者/マシン番号/一連番号
在売点検	点検レポート	レポート名
日計	0000071 X	種別コード/点検シンボル
総売上	1059 個	総売上個数
	¥524,966	総売上金額
純売上	158 件	純売上任数 (客数)
	¥498,747	純売上金額
現金在高	¥405,361	現金在高
貸在高	¥40,295	貸在高
券在高	¥2,890	商品券在高
信用在高	¥37,405	信用売り在高

スキャニング PLU 個別の点検

手順

- 1 モードスイッチを点検にします。
- 2 点検したいスキャニング PLU をスキャンし (またはコード番号を入力して  キーを押) します。
- 3  キーを押します。

※長いレポートを途中で
止めたい場合は……

 キーを 2 回続けて押します。
(止まるまで数秒かかるときもあります)

部門個別の点検

例

部門 1、3、7 の売上金額を確認する

手順

- 1 モードスイッチを点検にします。
- 2 点検したい部門キーを押します。
  
- 3  キーを押します。


印字例

点検	2005-07-31 19:23	日付/曜日/時刻
担当	-A 0001-000369	担当者/マシン番号/一連番号
個別点検	点検レポート	レポート名
日計	X	点検シンボル
部門 01		部門 01 名称
客数	29 名	取引客数
個数	38 点	個数
金額	¥25,753	金額
部門 03		部門 03
客数	17 名	
個数	23.6 点	
金額	¥22,957	
部門 04		部門 04
客数	34 名	
個数	50 点	
金額	¥23,523	
合計		点検分の合計個数
個数	111.6 点	合計金額
金額	¥72,233	



「部門別客数」は、設定により印字します。
「構成比」は、それぞれの総合計に占める個々の割合で、小数第 3 位以下は切捨てです。



ワット PLU キー (PLU) 個別の点検

例

ワット PLU キー 2、6、8、10 および PLU 番号 111、112、200 の売上金額を確認する

手順

- 1 モードスイッチを点検にします。
- 2 点検したいワット PLU キーを押します。
(TK-5000 のみ可能で、TE-5000 は 3. の手順です)

2 6 8 10

- 3 PLU コードを入力して **PLU** キーを押します。次の PLU を点検するときはコードを入力せずには **PLU** キーを押します。

1 1 1 PLU PLU

2 0 0 PLU

- 4 **小計** キーを押します。

小計

印字例

点検 2005-07-31 19:30	日付/曜日/時刻
担当 -A 0001-000380	担当者/マシン番号/一連番号
個別点検	点検レポート
レポート名	レポート名
日計 X	点検シンボル
PLU002 #0002	ワット PLU 2 商品名 /No.
個数 20 点	個数
金額 ¥3,360	金額
PLU006 #0006	ワット PLU キー 6
個数 14 点	
金額 ¥1,932	
PLU008 #0008	ワット PLU キー 8
個数 15 点	
金額 ¥2,970	
PLU010 #0010	ワット PLU キー 10
個数 8 点	
金額 ¥880	
PLU111 #0011	
個数 11 点	
金額 ¥1,200	
PLU112 #0112	PLU 112
個数 4 点	
金額 ¥520	
PLU200 #0200	PLU 200
個数 17 点	
金額 ¥1,700	
合計	
個数 88 点	点検分の合計個数
金額 ¥12,562	点検分の合計金額

※ PLU No. は、設定により印字します。

グループ別 PLU の点検

例

グループ番号 01、27 の売上金額を確認する

手順

- 1 モードスイッチを点検にします。
- 2 グループ別 PLU の点検コード「66」を入力し、**現/預** キーを押します。

6 6 現/預

- 3 点検したいグループ番号を入れ、**現/預** キーを押します。

0 1 現/預 2 7 現/預

- 4 **小計** キーを押します。

小計

印字例

点検 2005-07-31 13:52	日付/曜日/時刻
担当 -A 0001-000155	担当者/マシン番号/一連番号
グループ	点検レポート
レポート名	レポート名
日計 1020014 X	種別コード/点検シンボル
グループ 01	《グループ 01 に属する PLU》
PLU003 #0003	PLU003
個数 0.94%	28 点
金額 2.64%	¥8,540
PLU007 #0007	PLU007
個数 0.64%	19 点
金額 1.86%	¥6,042
合計	グループ 01 の
個数 47 点	合計個数
金額 ¥14,582	合計金額
グループ 27	《グループ 27 に属する PLU》
PLU033 #0033	PLU033
個数 0.27%	8 点
金額 0.51%	¥1,664
PLU034 #0034	PLU034
個数 0.37%	11 点
金額 1.01%	¥3,278
PLU035 #0035	PLU035
個数 0.3%	9 点
金額 1.46%	¥4,726
PLU045 #0045	PLU045
個数 0.27%	8 点
金額 0.96%	¥3,104
合計	グループ 27 の
個数 53 点	合計個数
金額 ¥15,624	合計金額
合計	点検されたグループの
個数 284 点	合計個数
金額 ¥30,206	合計金額

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

点検と精算の操作と印字例 (3/5)

日計明細の点検・精算

手順

- 1 モードスイッチを「点検」または「精算」に合わせます。
- 2 以下の操作をします。

日計は 現/預
 期間集計 1 は 1 0 0 現/預
 期間集計 2 は 2 0 0 現/預

印字例

(始めの部分のみ)

固定合計器	精算レポート	レポート名
期間 1	0001111 ZZ 0002	種別コード / 精算シンボル / 精算回数
-----		前回精算日付
2005-06-30 ~		
総売上	37,924 点	総売上個数
	¥18,068,776	総売上金額
純売上	6,134 件	純売上件数 (客数)
	¥18,561,870	純売上金額
現金在高	¥3,781,440	現金在高
商品券在高	¥2,032,920	商品券在高
クレジット在高	¥7,132,680	信用売在高
戻モード	108 件	「戻」モード件数
	¥285,480	「戻」モード金額

■日計明細の印字例 → 30 ページ

※期間集計 1 および期間集計 2 の印字では、精算シンボル部 (点検シンボル部) と、前回精算日付 が印字されます。(そのほかの部分は変わりありません)

なお、日計明細以外のレポートでも「期間集計」の場合は、すべてこのように「ZZ」または「XX」と「前回精算日付」を印字します。

PLU (ワットPLUキー) の点検・精算

手順

- 1 モードスイッチを「点検」または「精算」に合わせます。
- 2 以下の操作をします。

日計は 1 現/預
 期間集計 1 は 1 0 1 現/預
 期間集計 2 は 2 0 1 現/預

印字例

点検 2005-07-31 21:15	日付/曜日/時刻
担当 -A 0001-09543	担当者/マシン番号 / 一連番号
PLU 点検レポート	レポート名
期間 1 0000114 XX	種別コード / 点検シンボル

2005-06-30 ~	

PLU001 #0001	PLU001 キー/PLU No.
個数 1.81% 126 点	構成比/個数
金額 1.23% ¥38,430	構成比/金額
PLU003 #0003	PLU003
個数 1.35% 94 点	
金額 0.95% ¥29,892	
PLU007 #0007	PLU007
個数 2.33% 162 点	
金額 1.13% ¥35,324	
PLU007 #0016	
個数 2.03% 141 点	
金額 1.83% ¥57,246	

合計	
個数 4,163 点	合計個数
金額 ¥1,872,484	合計金額

※PLU No. は、設定により印字します。

※構成比は、PLU とワットPLU キーの総合計に対する個々の比率です。

※集計数値のないPLU(ワットPLUキー)は印字をスキップします。



時間帯別集計の点検・精算

手順

- 1 モードスイッチを「点検」または「精算」に合わせます。
- 2 以下の操作をします。

日計は **2** 現/預
 期間集計 1 は **1 0 2** 現/預
 期間集計 2 は **2 0 2** 現/預

印字例

精算 2005-07-31 21:26	日付/曜日/時刻
担当-A 0001-017251	担当者/マシン番号 /一連番号
時間帯	精算レポート
期間 1 0000119 ZZ 0004	種別コード/精算シンボル /精算回数
2005-06-28 ~	前回精算日付
7:00 → 8:00	時間帯 07:00 ~ 08:00
客数 0.22% 13 名	構成比/売上件数 (客数)
個数 0.17% 67 点	構成比/売上個数
金額 0.17% ¥30,230	構成比/純売上金額
8:00 → 9:00	時間帯 08:00 ~ 09:00
客数 0.6% 35 名	
個数 0.67% 257 点	
金額 0.62% ¥107,380	
9:00 → 10:00	時間帯 09:00 ~ 10:00
客数 2.13% 123 名	
個数 1.94% 742 点	
金額 1.99% ¥339,940	
10:00 → 11:00	時間帯 10:00 ~ 11:00
客数 5.31% 307 名	
個数 5.34% 2,035 点	
金額 5.38% ¥918,350	
11:00 → 12:00	時間帯 11:00 ~ 12:00
客数 5.99% 346 名	
個数 5.96% 2,271 点	
金額 5.85% ¥998,030	
20:00 → 21:00	時間帯 20:00 ~ 21:00
客数 3.22% 186 名	
個数 3.11% 1,187 点	
金額 3.11% ¥532,040	
21:00 → 22:00	時間帯 21:00 ~ 22:00
客数 0.41% 24 名	
個数 0.41% 159 点	
金額 0.42% ¥73,340	
22:00 ~ 23:00	時間帯 22:00 ~ 23:00
客数 0.03% 2 名	
個数 0.02% 10 点	
金額 0.03% ¥5,340	
合計	時間帯総合計
客数 5,773 名	件数合計 (客数合計)
個数 38,072 点	売上個数合計
金額 ¥17,058,650	純売上金額合計

※集計数値のない時間帯は印字をスキップします。

曜日別集計の点検・精算

手順

- 1 モードスイッチを「点検」または「精算」に合わせます。
- 2 以下の操作をします。

日計は **8** 現/預
 期間集計 1 は **1 0 8** 現/預
 期間集計 2 は **2 0 8** 現/預

印字例

精算 2005-07-31 20:08	日付/曜日/時刻
担当-A 0001-003918	担当者/マシン番号 /一連番号
曜日別合計	精算レポート
日計 0000018 Z 0003	種別コード/精算シンボル /精算回数
2005-06-23 ~	前回精算日付
日曜日	日曜日
客数 19.80% 415 名	構成比/売上件数 (客数)
個数 19.51% 2,456 点	構成比/売上個数
金額 19.98% ¥1,248,380	構成比/純売上金額
月曜日	月曜日
客数 15.36% 322 名	
個数 15.62% 1,967 点	
金額 15.69% ¥980,310	
火曜日	火曜日
客数 16.56% 347 名	
個数 16.62% 2,092 点	
金額 15.93% ¥995,530	
水曜日	水曜日
客数 0% 0 名	
個数 0% 0 点	
金額 0% ¥0	
木曜日	木曜日
客数 16.13% 338 名	
個数 15.92% 2,004 点	
金額 15.88% ¥992,720	
金曜日	金曜日
客数 15.03% 315 名	
個数 15.74% 1,982 点	
金額 15.83% ¥989,370	
土曜日	土曜日
客数 17.08% 358 名	
個数 16.56% 2,085 点	
金額 16.66% ¥1,041,230	
合計	曜日別総合計
客数 2,095 名	件数合計 (客数合計)
個数 12,586 点	売上個数合計
金額 ¥6,247,540	純売上金額合計

※曜日別集計は、日計でも「前回精算日付」を常に印字します。

ご使用前に
 使い方
 便利な使い方
 設定の仕方
 こんなときは

点検と精算の操作と印字例 (4/5)

月間日別集計の点検・精算

手順

- 1 モードスイッチを「点検」または「精算」に合わせます。
- 2 以下の操作をします。

日計は 3 現/預
 期間集計 1 は 1 0 3 現/預
 期間集計 2 は 2 0 3 現/預

印字例

精算 2005-07-31 20:46	日付/曜日/時刻
担当 -A 0001-023652	担当者/マシン番号 /一連番号
月間日別 精算レポート	レポート名
日計 0000020 Z 0003	種別コード/精算シンボル /精算回数
-----	-----
2005-06-30 ~	前回精算日付
1日	1日
総売上 2,065 点	売上個数
¥548,393	総売上金額
純売上 191 件	売上件数 (客数)
¥564,360	純売上金額
2日	2日
総売上 1,950 点	
¥517,976	
純売上 179 件	
¥532,250	
3日	3日
総売上 2,632 点	
¥692,371	
純売上 236 件	
¥712,560	
4日	
総売上 2,904 点	
¥764,156	
261 件	
29日	29日
総売上 3,311 点	
¥877,416	
純売上 305 件	
¥903,260	
30日	30日
総売上 2,249 点	
¥612,117	
純売上 215 件	
¥641,070	
合計	月間日別総合計
総売上 62,756 点	個数合計
¥16,572,684	総売上合計
平均 ¥264	平均単価 (総売÷個数)
純売上 5,773 件	件数合計 (客数)
¥17,058,650	純売上合計
平均 ¥2,954	客単価 (純売÷件数)

※集計数値のない日付は印字をスキップします。
 ※月間日別集計は、日計でも「前回精算日付」を常に印字します。

グループ別集計の点検・精算

手順

- 1 モードスイッチを「点検」または「精算」に合わせます。
- 2 以下の操作をします。

日計は 6 現/預
 期間集計 1 は 1 0 6 現/預
 期間集計 2 は 2 0 6 現/預

印字例

点検 2005-07-31 13:56	日付/曜日/時刻
担当 -A 0001-000156	担当者/マシン番号 /一連番号
グループ 点検レポート	レポート名
日計 0000016 X	種別コード/点検シンボル
-----	-----
グループ 01	グループ 01 キャラクタ
個数 8.15%	47 点
金額 4.89%	¥14,582
グループ 02	グループ 02
個数 6.59%	38 点
金額 5.24%	¥15,624
グループ 03	グループ 03
個数 9.37%	54 点
金額 5.39%	¥16,062
グループ 05	グループ 05
個数 15.45%	89 点
金額 14.61%	¥43,528
グループ 06	グループ 06
個数 1.21%	7 点
金額 1.18%	¥3,527
グループ 08	グループ 08
個数 1.9%	11 点
金額 2.03%	¥6,073
グループ 09	グループ 09
個数 1.56%	9 点
金額 1.61%	¥4,813
グループ 10	グループ 10
個数 1.21%	7 点
金額 1.32%	¥3,955
グループ 11	グループ 11
個数 1.04%	6 点
金額 1.14%	¥3,397
グループ 25	グループ 25
個数 3.47%	20 点
金額 3.98%	¥11,883
グループ 27	グループ 27
個数 9.2%	53 点
金額 5.24%	¥15,624
グループ 30	グループ 30
個数 2.25%	13 点
金額 2.18%	¥6,512
合計	
個数	576 点
金額	¥297,836

※集計数値のないグループは印字をスキップします。



価格帯別集計の点検・精算

手順

- 1 モードスイッチを「点検」または「精算」に合わせます。
- 2 以下の操作をします。

日計は **2** **3** **現/預**
 期間集計 1 は **1** **2** **3** **現/預**
 期間集計 2 は **2** **2** **3** **現/預**

印字例

精算 2005-07-31 20:15	日付/曜日/時刻
担当-A 0001-005535	担当者/マシン番号
価格帯 精算レポート	/一連番号 レポート名
日計 0000023 Z 0004	種別コード/精算シンボル /精算回数
2005-06-30 ~	前回精算日付
¥1 ~ ¥199	¥1 ~ ¥199 の価格帯
客数 18.51% 1,063 名	構成比/客数
個数 20.73% 2,429 点	構成比/個数
金額 2.67% ¥165,817	構成比/金額
¥200 ~ ¥499	¥200 ~ ¥499 の価格帯
客数 33.45% 1,921 名	
個数 30.88% 3,617 点	
金額 15.65% ¥970,103	
¥500 ~ ¥999	¥500 ~ ¥999 の価格帯
客数 25.63% 1,472 名	
個数 26.32% 3,083 点	
金額 31.51% ¥1,952,937	
¥1,000 ~	¥1,000 以上の価格帯
客数 22.39% 1,286 名	
個数 22.06% 2,584 点	
金額 50.15% ¥3,108,632	
合計	価格帯別総合計
客数 5,742 名	客数合計
個数 11,713 点	個数合計
金額 ¥6,197,489	金額合計

※集計数値のない価格帯は印字をスキップします。

スキャンング PLU の点検・精算

手順

- 1 モードスイッチを「点検」または「精算」に合わせます。
- 2 **2** **6** **現/預** の操作をした後、開始部門番号 **現/預**、終了部門番号 **現/預** を押します。

2 **6** **現/預** **1** **現/預** **3** **現/預**

印字例

点検 2005-07-31 20:10	日付/曜日/時刻
担当-A 0001-010346	担当者/マシン番号
スキャンング PLU 点検レポート	/一連番号 レポート名
日計 2000026 X	種別コード/点検シンボル
2005-06-15 ~	前回精算日付
部門 010001	部門 01 / 部門 No.
シャンプ-A #4902778370100	スキャンング PLU キャラクタ★
個数 95 点	スキャンング PLU コード
金額 ¥64,410	個数
部門 020002	金額
歯磨き B #4903331274408	
個数 114 点	
金額 ¥48,792	
部門合計	
個数 1,384 点	部門 01 の合計個数
金額 ¥837,523	部門 01 の合計金額
部門 020002	部門 02 (設定キャラクタ)
#4903330450225	
個数 46 点	
金額 ¥16,000	
部門合計	
個数 962 点	部門 02 の合計個数
金額 ¥460,629	部門 02 の合計金額
金額 ¥1,257,100	
紙おむつ C #4901480430102	
個数 21 点	
金額 ¥26,880	
部門合計	
個数 1,427 点	
金額 ¥734,647	
合計	
個数 3,773 点	点検の合計個数
金額 ¥2,032,799	点検の合計金額

★キャラクタを設定してない場合は印字しません。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

点検と精算の操作と印字例 (5/5)

担当者個別の点検・精算

手順

- 1 モードスイッチを「点検」または「精算」に合わせます。
- 2 **6 7** 現/預 の操作をした後、みたい担当者の番号 現/預 を押します。
6 7 現/預 **1** 現/預 **3** 現/預 **4** 現/預
- 3 最後に 小計 を押します。
小計

印字例

点検 2005-07-31 13:54	日付/曜日/時刻
担当 -A 0001-000155	担当者/マシン番号
担当者	点検レポート
日計 0020017 X	種別コード/点検シンボル

担当 -A	担当者 A
総売上 113 点	総売上個数
¥25,087	総売上金額
純売上 7 件	純売上件数
¥25,670	純売上金額
現金在高 ¥10,670	現金在高
商品券在高 ¥15,000	商品券在高

担当 -C	
総売上 16 点	
¥7,416	
純売上 3 件	
¥7,470	
現金在高 ¥7,470	

担当 -D	
総売上 127 点	
¥8,084	
純売上 31 件	
¥8,160	
現金在高 ¥8,160	

ポイント 「担当者番号」は、「担当者記号」の A、B、C …… が、1、2、3 …… に該当します。

注意 「担当者個別の点検・精算」は、「日計明細の精算」を行なう前にしてください。

スキャンング PLU ベストの点検・精算

手順

- 1 モードスイッチを「点検」または「精算」に合わせます。
- 2 **6 8** 現/預 の操作をした後、開始部門番号 現/預、終了部門番号 現/預 を押します。
6 8 現/預 **2** 現/預 **3** 現/預

印字例

点検 2005-07-31 20:12	日付/曜日/時刻
担当 -A 0001-010347	担当者/マシン番号
BEST50	点検レポート
日計 0080026 X	種別コード/点検シンボル

部門 020002	部門 02
1.....	順位数
薬用歯磨き B	PLU キャラクタ★
#4903330750472	PLU コード No.
個数 65 点	個数
金額 ¥50,700	金額
2.....	
#4903331274408	
個数 114 点	
金額 ¥48,792	
3.....	
#4903330891733	
	94 点

50.....	
#4903330507085	
個数 5 点	
金額 ¥990	

	962 点
	¥460,629
	部門 02 の合計個数
	部門 02 の合計金額

部門 030003	
1.....	
#4901481911626	
個数 11 点	
金額 ¥2,178	

部門合計	
個数 1,427 点	
金額 ¥734,647	

合計	
個数 2,389 点	点検分の合計個数
金額 ¥1,195,276	点検分の合計金額

★キャラクタを設定していない場合はその行をスキップします。
 ●各部門ごとに 50 位までが印字されます。



スキャンング PLU 未稼働の点検・精算

手順

- 1 モードスイッチを「点検」または「精算」に合わせます。
- 2 **6****9** 現/預 の操作をした後、開始部門番号 現/預、終了部門番号 現/預 を押します。

6 **9** 現/預 **4** 現/預 **5** 現/預

印字例

点検 2005-07-31 20:48	日付/曜日/時刻
担当 -A 0001-023653	担当者/マシン番号
未稼働	レポ ート名
点検レポ ート	レポ ート名
日計 0090026 X	種別コード/点検シンボル
部門 0040004	部門 004
ABCDEF G	スキャンング PLU 稼働★
#4904111222333	スキャンング PLU 稼働 No.
個数 7 点	個数
金額 ¥4,186	金額
10111111111111111111	
#4904222333444	
金額 0 点	
#4904333444555	
個数 0 点	
金額 ¥0	
#4904999888777	
個数 0 点	
金額 ¥0	
35 点	
¥30,593	
部門 0050005	
#4905112233445	
個数 0 点	
金額 ¥0	
0 点	
¥0	
合計 35 点	点検分の合計個数
¥30,593	点検分の合計金額

金額順の点検・精算 (PLU の例)

手順

- 1 モードスイッチを「点検」または「精算」に合わせます。
- 2 以下の操作をします。

日計は **7****7** 現/預
 期間集計 1 は **1****7****7** 現/預
 期間集計 2 は **2****7****7** 現/預

印字例

精算 2005-07-31 21:29	日付/曜日/時刻
担当 -A 0001-017252	担当者/マシン番号
PLU : 金額順	精算レポ ート
レポ ート名	レポ ート名
期間 1 0061114 ZZ 0004	種別コード/精算シンボル
2005-06-28 ~	/ 精算回数
1.....	順位数
PLU005 #0005	PLU 稼働/PLU No.
個数 3.78%	41 点
金額 3.22%	¥16,646
構成比/個数	構成比/金額
2.....	
PLU088 #0088	
個数 4.89%	53 点
金額 2.95%	¥15,264
3.....	
PLU213 #0213	
個数 4.43%	48 点
金額 2.76%	¥14,304
金額 2.23%	¥11,524
262.....	
PLU048 #0048	
個数 0.09%	1 点
金額 0.03%	¥198
合計	
個数	1,083 点
金額	¥516,472
	精算分の合計個数
	精算分の合計金額

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

★キャラクタを設定してない場合は印字しません。
 ●ご購入時のままの「精算」では、レポートは印字されずに、スキャンング PLU の削除のみが行われます。

電卓機能の使い方 (1 / 2)

本機は、モードスイッチを「登録」の位置に合わせ、電卓スイッチを押すことにより、電卓として使用することができます（印字はされません）。

電卓スイッチを押すと、表示窓の「電卓」の位置に“■”が表示されます。また、何の計算命令キー（+、-、×、÷）が押されているかを示すため、命令キーのシンボルも表示されます。

通常 of 電卓として使用する

例 1 $123 + 456 - 78 = ?$

操作 AC C 1 2 3 + 1 4 5 6 - 2 7 8 現/預

501

例 2 $12.3 \times 4.56 \times 20 = ?$

操作 AC C 1 2 . 3 × 3 4 . 5 6 × 3 2 0 現/預

112.176

例 3 $828 \div 36 = ?$

操作 AC C 8 2 8 ÷ 4 3 6 現/預

23

例 4 $(23 - 56) \times 963 = ?$

操作 AC C 2 3 - 2 5 6 × 3 9 6 3 現/預

-31779



注意 以下の場合はエラーとなります。

- ・計算の途中で 10 桁（負数のときは 9 桁）を超えた場合
- ・答の整数部が 10 桁（負数のときは 9 桁）を超えた場合
- ・10 桁を超えて数字キーを押した場合

この場合、表示窓の左側に“E”が表示され、オールクリアになります。



ポイント

- ・計算命令キーは上記のほかに、 \ominus キーが減算に、 \times キーが乗算に使用できます。
- ・電卓モード中でも $\#/\%$ キーを押すとドリアが開きます。



割合や比率を求める

例 1 1,500円の75% (7.5掛) は?

操作 AC C 1 5 0 0 × 3 7 5 %

1125

例 2 620円の15%増しは?

操作 AC C 6 2 0 × 3 1 5 % + 1

713

例 3 2,300円の18%引きは?

操作 AC C 2 3 0 0 × 3 1 8 % - 2

1886

例 4 75個は250個の何%か?

操作 AC C 7 5 ÷ 4 2 5 0 %

30

例 5 157万円は125万円の何%アップか?

操作 AC C 1 5 7 - 2 1 2 5 %

256

例 6 540円は625円の何%引きか?

操作 AC C 5 4 0 - 2 6 2 5 %

- 136

例 7 利益を「売価の25%」と見込んだとき、原価（仕入価格）が1,200円の商品の「売価」と「利益」は?

操作 AC C 1 2 0 0 + 1 2 5 %
(続けて) - 2

1600 — 売価

400 — 利益



ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

電卓機能の使い方 (2 / 2)

税抜き額や税額を計算する

例 1 1,500 円の税抜き金額と内税額は？（「税 1 テーブル」が税率 5%、内税、端数四捨五入の場合）

操作 AC C 1 5 0 0 貸 1429 税抜き金額

(続けて) 貸 71 内税額

例 2 230 円、780 円のそれぞれの内税額の合計は？
（「税 1 テーブル」が税率 5%、内税、端数四捨五入の場合）

操作 AC C 2 3 0 貸 貸 + 1 11 230 円の内税額

7 8 0 貸 貸 現/預 48 税額合計

注意 ・税金計算は、「税 1 テーブル（通常は「内税」）」に設定されている、税率、計算方式、端数処理方法が使用されますので、設定内容によって求められる答が違ってきます。

呼び出し機能を使って計算する

 **ポイント** 「呼び出し機能」とは、 キーを押すことで、電卓スイッチを切り替える直前のデータを利用して計算することができる機能です。

例

以下の商品の売上合計を 4 人で割り勘にする場合

- ・部門 1 キーに登録されている単価 930 円の商品を 4 個お買い上げ
- ・部門 2 キーに登録されている単価 1,240 円の商品を 1 個お買い上げ

手順

1 モードスイッチが「登録」になっていることを確認して、商品の登録処理をします。

3,720

1,240

2 商品をすべて入力したら、 キーを押します。



4,960

合計金額

3 電卓スイッチを押して、 キーを押します。



4,960

呼び出された
合計金額

4 割り勘の計算をします。

1,240

1人当たり
割り勘額



注意

- ・電卓時に呼び出せる数値は、最終登録時の合計金額（「小計」を押したときに表示される数値）です。また、登録中に呼び出せる数値は、電卓時の最終の答（「イコール」で求められた数値）です。
- ・小数点以下がある「電卓」時の答を「登録」中に持ってきたときは、小数点以下が切り捨てられます。また、マイナスや“0”の答を持ってきた場合は、エラーになります。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

時刻や日付をセットする

時刻を直す

例

午後 1 時 05 分に合わせる場合

手順

- 1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
- 2 現時刻を 24 時制で入力し $\times/\text{日時}$ キーを押します。

1 3 0 5 $\times/\text{日時}$

- 3 C/AC キーを押します。

C/AC C



注意 時刻は 24 時間制で入れます。(00 ~ 23)
時と分は必ず 2 桁ずつ入れます。(0 ~ 9 → 00 ~ 09)

日付を直す

例

2005 年 7 月 31 日に合わせる場合

手順

- 1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
- 2 現日付を西暦で入力し $\times/\text{日時}$ キーを押します。

0 5 0 7 3 1 $\times/\text{日時}$

- 3 C/AC キーを押します。

C/AC C



注意 年は「西暦年」の下 2 桁を入れます。(2005 → 05)
和暦のときは、和暦年を入れます。
月と日は必ず 2 桁ずつ入れます。(1 ~ 9 → 01 ~ 09)

商品単価を設定する

商品単価を部門キーに設定する

例

部門キーに下記の単価をそれぞれ設定する

部門	単価
部門 1	¥100
部門 2	¥220
部門 4	¥1,100

手順

- 1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
- 2 設定する単価を入力し、部門キーを押します。

1 0 0 [1]

2 2 0 [2]

1 1 0 0 [4]

- 3 小計 キーを押します。

小計

印字例

部門 01	0001-05 @100 内
部門 02	0002-05 @220 内
部門 04	0004-05 @1,100 内

部門番号※ 設定単価 課税ステータス



ポイント 単価は最大6桁（999,999円）まで設定できます。（単価設定した場合の登録の操作例は32ページ）
※部門にキャラクタを設定した場合（78ページ）は、その文字になります。

商品単価をフラット PLU キー（PLU）に設定する

例

フラット PLU キー（PLU）に下記の単価をそれぞれ設定する

フラット PLU キー（PLU）番号	単価
フラット PLU 1	¥210
フラット PLU 2	¥220
PLU 番号 111	¥780
PLU 番号 112	¥880
PLU 番号 200	¥550



注意
TE-5000 には、フラット PLU キーや 画切替 キーはありません。

手順

- 1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
- 2 設定する単価を入力し、フラット PLU キーを押します。

2 1 0 [1] 2 2 0 [2]

- 3 設定する PLU コードを指定し設定する単価を入力します。

1 1 1 [PLU] 7 8 0 [現/預] 8 8 0 [現/預]

2 0 0 [PLU] 5 5 0 [現/預]

- 4 小計 キーを押します。

小計

印字例

PLU001	0001-04 @210 内
PLU002	0002-04 @220 内
PLU111	0111-04 @780 内
PLU112	0112-04 @880 内
PLU200	0200-04 @550 内

PLU 番号※ 設定単価 課税ステータス



ポイント PLU 番号が続いているときは、いちいち番号を入れる必要はありません。

単価は最大6桁（999,999円）まで設定できます。

（PLU）キーを使用した登録の操作例は35ページ

※ PLU にキャラクタを設定した場合（79ページ）は、その文字になります。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

各種レートまるめを設定する

割引率、ドルレート等をそれぞれのキーに設定する

例

割引率と値引き金額、**券** キーの金額、通貨変換 (**\$** キー) のレートをそれぞれ設定する

設定キー	設定内容
%- キー	割引率 5%
- キー	値引き金額 ¥50
券 キー	商品券の金額 ¥500
\$ キー	1ドルの金額 ¥112.54

注意

TK-5000 はキーボードに、**\$** キーを設定する必要があります。

手順

印字例

1 モードスイッチを「設定」に合わせます。

2 以下の操作をおこないます。

5 **%-**

5 **0** **-**

5 **0** **0** **券**

1 **1** **2** **.** **5** **4** **\$**

3 **小計** キーを押します。

小計

割引率 — **%-** 5% 内
値引き金額 — **-** @50 内
券キー設定額 — **券** @500
通貨変換レート — **\$ → ¥** 112.54



率は 0.01% ~ 99.99% まで設定できます。小数点の位置では **.** キーを押します。

(割引率や値引き金額を設定した操作例は 42, 43 ページ)

券 キーには、お店で一番多く使用される「商品券」の金額を設定しておきます。登録の締め時に、直接 **券** を押せば、設定金額での商品券処理ができ、金額を入れてから **券** を押せばその額での処理になります。(**券** キーに金額を設定した操作例は 46 ページ)

\$ キーに金額を設定した操作例は 48 ページ)

5円丸めまたは 10円丸めを設定する

例

「10円丸め」を設定する

手順

印字例

1 モードスイッチを「設定」に合わせます。

2 以下の操作をおこないます。

1 **0** **レシート発行**

3 **小計** キーを押します。

小計

丸め金額 — 円丸め設定 10円丸め



丸め金額を “10” にすると「10円丸め」になり、“5” を入れると「5円丸め」になります。

丸め金額を “0” にすると丸めは行なわれません。ご購入時は “0” になっています。(5円丸め / 10円丸めの操作例は 45 ページ)



領収書やレシートに関する設定する

領収書の但し書き、登録時の表示を設定する

例

領収書の但し書き部に「お品代」を常に印字する

手順

印字例

- 1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
- 2 以下の操作をおこないます。

1 0 1 0 0 小計

0 現/預 (ガイドが表示されますので、ガイドに従って操作します)

0 現/預

0 現/預

1 現/預

0 現/預

0 現/預

0 現/預

0 現/預

0 現/預

0 現/預

年号指定	西暦
レシート時刻印字	印字
領収書キャラクター	領収書
領収書但し書き	お品代
レシート印字	通常印字
ジャーナル印字	圧縮印字
非課税シボル	印字
非課税合計	印字
レシートコマースメッセージ	非印字
レシートボトムメッセージ	非印字

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

レシートの背景印字を設定する

お買上レシートに、薄い文字や模様を背景として印字することができます。

手順

- 1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
- 2 以下の操作をおこないます。

1 0 2 0 0 小計

(上記操作で背景印字の見本を印字しますので、見本の中からどれかを選んで)

2 現/預

領収書の背景印字を設定する

領収書に、薄い文字や模様を背景として印字することができます。

手順

- 1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
- 2 以下の操作をおこないます。

1 0 3 0 0 小計

(上記操作で背景印字の見本を印字しますので、見本の中からどれかを選んで)

0 現/預



ポイント レシートの背景印字は5種類(背景0~4)、領収書の背景印字は2種類(背景0~1)の中から背景番号を指定します。(電子店名スタンプなしの場合は、レシート用は0と1、領収書用は0のみです) どちらの場合も“0”を指定すると背景印字は行なわれません。ご購入時は“0”になっています。

消費税の課税方式の設定 (1 / 2)

モードスイッチを「設定」にすると **入金** キーが「内税指定」キーに、**#/替** キーが「非課税指定」キーになり、これらのキーと部門キーを押すか、必要な PLU 番号を指定するだけで、簡単に課税方式の設定ができます。

すべての商品を非課税扱いとする

すべての商品を「非課税扱い」とするお店は……………

……部門キー、いくつかの PLU および値引きキー、割引キーに「非課税」を設定します

手順

印字例

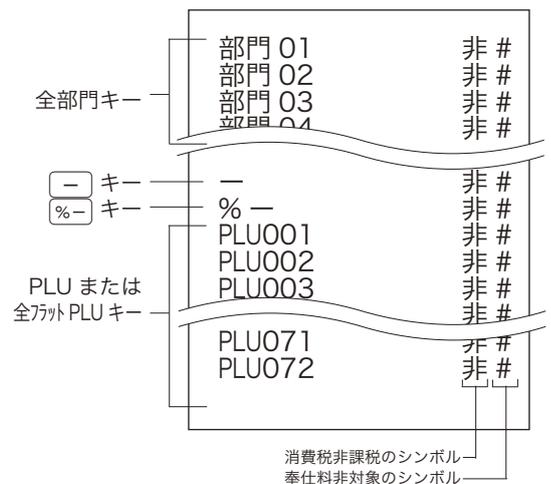
- 1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
- 2 設定 1 モードにします。
1 **小計**
- 3 **#/替** キーを押します。
#/替
- 4 非課税にする部門、**-** キー、**%-** キーを押します。
1 **2** **3** **4** **.** **.** **-** **%-**
- 5 **小計** キーを押します。
小計

PLU をご使用の場合は、続けて次の操作も行ないます。

- 6 **#/替** キーを押します。
#/替
- 7 非課税にする最初の PLU のコードを入れ、本数分 **PLU** キーを押します。
1 **PLU** **PLU** **PLU** **PLU** **~** **PLU** **PLU**
- 8 **小計** キーを押します。
小計

TK-5000 の場合、以下の手順でフラット PLU キーに設定することも可能です。

- 9 **#/替** キーを押します。
#/替
- 10 非課税にする最フラット PLU キーを押します。
1 **2** **3** **~** **72**
- 11 **小計** キーを押します。
小計



すべての商品を内税扱いとする

すべての商品を「内税扱い」とするお店は……………

……………部門キー、フラット PLU キー (PLU) および値引きキー、割引キーに「内税」を設定します

お買い上げの時はこの設定を行なう必要はありません
(オール内税の設定になっています) が、他の方式から
「内税のみの設定」にする場合に操作してください。

手順

印字例

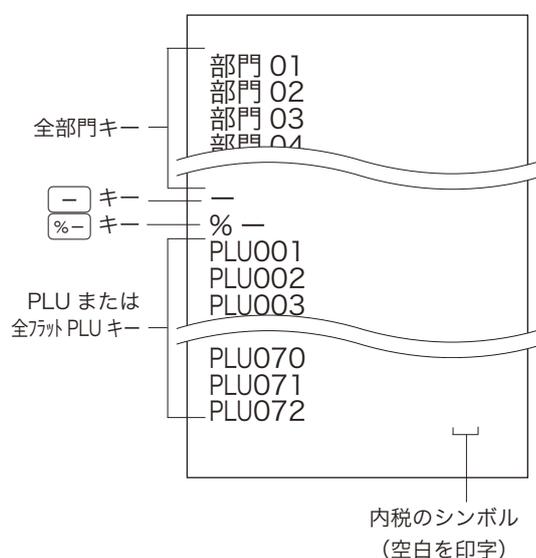
- 1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
- 2 設定 1 モードにします。
1 小計
- 3 入金 キーを押します。
入金
- 4 内税にする部門、 — キー、 \%— キーを押します。
1 2 3 4 · · — \%—
- 5 小計 キーを押します。
小計

PLU をご使用の場合は、続けて次の操作も行ないます。

- 6 入金 キーを押します。
入金
- 7 内税にする最初の PLU のコードを入れ、本数分 PLU キーを押します。
1 PLU PLU PLU PLU ~ PLU PLU
- 8 小計 キーを押します。
小計

TK-5000 の場合、以下の手順でフラット PLU キーに設定することも可能です。

- 9 入金 キーを押します。
入金
- 10 内税にする最フラット PLU キーを押します。
1 2 3 ~ 72
- 11 小計 キーを押します。
小計



ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

消費税の課税方式の設定 (2/2)

内税 / 非課税が混在して設定する

●取り扱い商品が「内税」「非課税」と、混在しているお店は……各キーにそれぞれを設定します

準備

それぞれのキー（部門キー、値引き、割引）および PLU を「内税」、「非課税」のどちらにするかを決めます。

例

ご購入時の状態から内税、非課税を下記のように設定する

課税方式（使用するキー）	設定するキーおよび PLU
非課税（ <input type="text" value="#/替"/> ）	<input type="text" value="4"/> キー、 <input type="text" value="-"/> キー、PLU65～72
内税（ <input type="text" value="入金"/> ）	残りの部門、PLU、 <input type="text" value="%-"/> キー

手順

印字例

1 モードスイッチを「設定」に合わせます。

2 設定1モードにします。

3 キーを押します。

4 非課税にする部門、 キーを押します、また PLU を指定します。

～ キーを8回押します。

5 キーを押します。

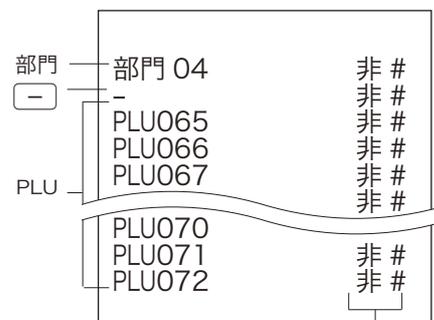
TK-5000 の場合、以下の手順でフラット PLU キーに設定することも可能です。

6 キーを押します。

7 非課税にする最フラット PLU キーを押します。

……

8 キーを押します。



課税方式のシンボル

注意 もしお買いあげの状態から設定変更されている場合は、前ページの「内税のみの設定の仕方」をおこなってから、この設定をしてください。

消費税の内容に変更が生じた場合

モードスイッチの位置

設定



本機は、消費税の変更が行なわれた場合の混乱を軽減するように、変更される税率と変更日をあらかじめ設定しておくことができます。

この設定の詳細は、販売店にお尋ねください。

もし、税率変更予約をせずに変更日当日を迎えた場合は以下の操作を行えば、税率をすぐに変更できます。

消費税率の税率を変更する

例

税率を《A%》にする。

手順

- 1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
- 2 設定3モードにし **1 2 6** と入力し **小計** キーを押します。
3 **小計** **1 2 6** **小計**
- 3 税率 (A) を入力し下記の操作をします。
A **現/預** **小計**

●このあと、モードスイッチを「登録」にすれば、すべての登録が新しい税率で計算されます。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

奉仕料の設定

一般消費税の他に「サービス料」「奉仕料」等の割増し計算が常に必要な場合は、次の設定をします。また、奉仕料の「料率」や課税方法、「円未満の端数処理方法」も設定します。

奉仕料の要 / 不要を設定する

例

奉仕料を下記のように設定する

桁	項目	設定内容
A	奉仕料の端数処理	切り捨て
B	奉仕料の課税方式	内税対象とする
C	奉仕料の計算	計算をする
D	奉仕料率 (%)	10%

手順

1 以下の操作をおこないます。

3 小計 7 2 2 小計

A B C D E 現/預 小計

1 0 2 1 0 0 0

■ 奉仕料の端数処理

円未満 四捨五入	0
A 円未満 切り捨て	1
円未満 切り上げ	2

■ 奉仕料の課税方法

B 内税対象に	0
非課税に	5

■ 奉仕料の計算

C 計算をする	2
計算をしない	0

■ 奉仕料率 (%)

D 整数部 2 桁	1 0
-----------	-----

■ 常に 00 を設定します

0 0

ポイント ご購入時は“0 0 0 00 00”（奉仕料の端数は切捨てで、消費税の内税の課税対象とするが、奉仕料は計算しない）になっています。

税額の端数処理の設定

税額の円未満の端数処理方法を設定する

例

消費税額の円未満の端数を「切り捨て」とする

手順

1 以下の操作をおこないます。



 **ポイント** ご購入時は“0000”（内税は四捨五入）になっています。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

文字の入力について

本機は、数字や記号だけでなく、漢字やカナを含めた文字をきれいな活字（JIS 第一・第二水準の文字）で印字・表示することができます。あらかじめ、部門キーや PLU に個々の商品名等を設定しておくことにより、レシートなどの印字内容をよりわかり易くすることができます。また、担当者名やストアメッセージなどもきれいな文字で印字することができます。必要に応じて設定をしてください。

半角文字、全角文字、倍文字、縦倍文字について

文字の大きさには4種類あり、通常登録の金額部の《数字の大きさ》を基本とし、これを「半角文字」と呼びます。《内税対象計》等の漢字が「全角文字」（数字2文字分の横幅）です。これらの文字の横方向に倍にしたものを「倍文字」と呼びます。さらにレシートに対して、縦方向に倍の大きさにすることが設定で可能です。これを縦倍文字と呼び、倍文字と組み合わせると四倍角の大きさになります。

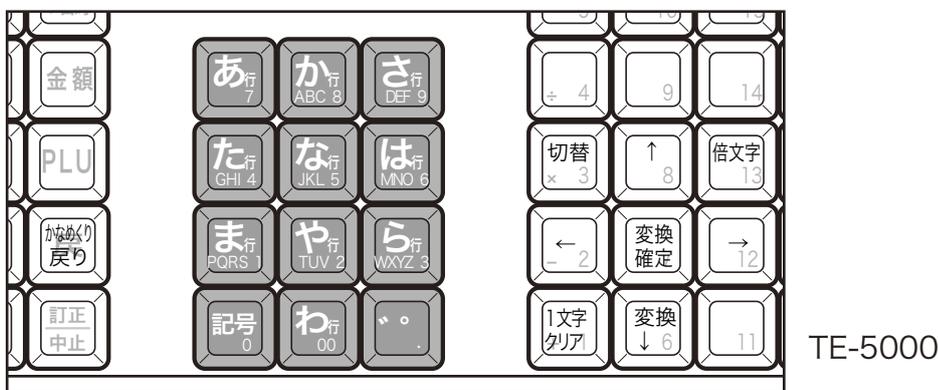
文字の入力について

「かなめくり方式」という携帯電話に似た文字入力方法です。＜切替＞キーによって入力される文字の種類（ひらがな・カタカナ・英文字・数字）などを切り替え、置数キーによって50音などに基づいた文字を入力できます。また、ひらがなで入力したものは、続いて＜↑＞や＜変換＞キーを押すことで、単漢字または単語ごとのかな漢字変換をすることができます。

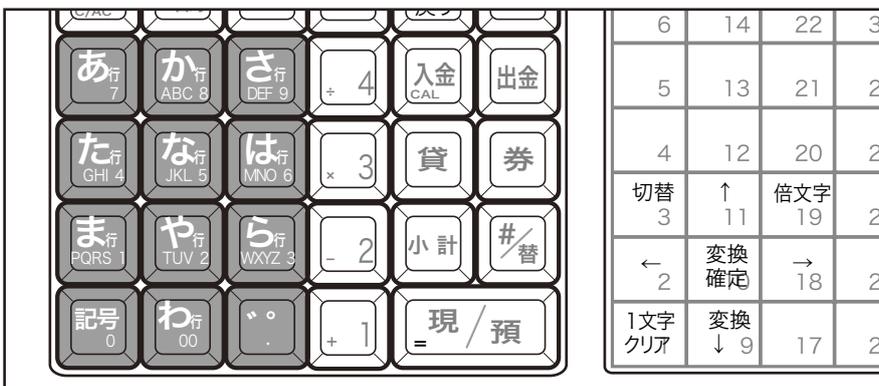
（内蔵するかな漢字変換辞書の登録語数に制限があるため、お客様の希望する漢字への変換ができない場合があります。そのときは、入力したい漢字の読み（音読み・訓読み）を変えて入力し、変換して下さるようお願いいたします。）

●文字設定用のキーボード

文字の設定をする時には、キーボードは以下の様な配列になります。



TE-5000



TK-5000

商品名の設定

部門キーへ商品名等を設定する

例

部門 に『雑貨』、 に『食品 A』、 に『ETC』と設定する

手順

1 モードスイッチを「設定」に合わせます。

2 以下の操作をおこないます。

2 小計

(部門 01 を指定します)

C/AC C

<文字列クリア>

(すでに設定されている文字を消します)

「さ」 <さ>

「ざ」 <ざ>

「っ」 <た><た><た><た><た><た>

「か」 <か>

<↓変換><変換確定>

(<↓変換>は「雑貨」が出るまで繰り返します)

(これで『雑貨』がフラット PLU001 に設定されます)

現/預

現/預

(次のメモリを指定します)

C/AC C

<文字列クリア>

(すでに設定されている文字を消します)

「し」 <さ><さ>

「よ」 <や><や><や><や><や><や>

「く」 <か><か><か>

「ひ」 <は><は>

「ん」 <わ><わ><わ>

<↓変換><変換確定>

(<↓変換>は「食品」が出るまで繰り返します)

<切替><切替><倍文字>

(切替キーで半角英字、倍文字で全角英字にします)

(英文字 A を指定します)

「A」 <か>

現/預

(部門 04 を指定します)

C/AC C

<文字列クリア>

(すでに設定されている文字を消します)

(全角英字のまま、使います)

「E」 <さ><さ>

「T」 <や>

「C」 <か><か><か>

現/預

小計

(設定終了)



部門キーへは、半角で最大 16 文字 (全角では 8 文字) が設定できます。

TK-5000 でフラット PLU に商品名などを設定する場合は、上記例の部門キーの代わりにフラット PLU キーを押します。

PLUへ商品名等を設定する

例

PLU番号71に半角で『カー-Yシャツ』、PLU番号72に『ジーンズ』、PLU番号90に『サービス品』と設定する

手順

1 モードスイッチを「設定」に合わせます。

2 以下の操作をおこないます。

2 小計

7 1 PLU

C/AC C

<文字列クリア>

(PLU71を指定します)

(すでに設定されている文字を消します)

<切替>

(半角かかかに切り替えます)

「カ」

<か>

「ラ」

<ら>

「一」

<記号><<記号><<記号>

<切替>

(半角英文字に切り替えます)

「Y」

<ら><<ら><<ら>

<切替><<切替><<切替>

(半角カタカナに切り替えます)

「シ」

<さ><<さ>

「ヤ」

<や><<や><<や><<や>

「ツ」

<た><<た><<た>

現/預

(これでカー-YシャツがPLU71に設定されました)

現/預

(続いて次のメモリに設定します)

C/AC C

<文字列クリア>

(すでに設定されている文字を消します)

<倍文字>

(全角カタカナに切り替えます)

「シ」

<さ><<さ>

「ジ」

<ゝ>

「一」

<記号><<記号><<記号>

「ン」

<わ><<わ><<わ>

「ス」

<さ><<さ><<さ>

「ズ」

<ゝ>

現/預

9 0 PLU

C/AC C

<文字列クリア>

(PLU90を指定します)

(すでに設定されている文字を消します)

「サ」

<さ>

「一」

<記号><<記号>

「ヒ」

<は><<は>

「ビ」

<ゝ>

「ス」

<さ><<さ><<さ>

<変換確定><<切替><<切替><<切替> (「サービス」を確定し、全角ひらがなに切り替えます)

「ひ」

<は><<は>

「ん」

<わ><<わ><<わ>

<↓変換><<変換確定> (「品」が出るまで繰り返します)

現/預

小計

(設定終了)

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは



PLUへは、半角で最大16文字(全角では8文字)が設定できます。
スキャニングPLU(36ページ参照)はPLU番号でも指定できますが、スキャナで指定することも可能です。

レジ担当者名／取引キー名の設定

担当者の名前を設定する

例

「担当者 -A」を『鈴木』に、「同 -E」を『原』にする

手順

- 1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
- 2 以下の操作をおこないます。

2	小計		
0	1	0	7
		C	
			<文字列クリア>
			(すでに設定されている文字を消します)
			「す」 <さ><さ><さ>
			<→>
			(同じ行なのでカーソルを右に動かします)
			「す」 <さ><さ><さ>
			「ず」 <°>
			「き」 <か><か>
			<↓変換>
			(「鈴木」が出るまで繰り返します)
		現/預	
0	5	0	7
		小計	
			(担当者 -E を指定します)
			(上記を参照してください)
		現/預	
		小計	
			(設定終了)

 **ポイント** 担当者名は、半角で最大 12 文字（全角では 6 文字）が設定できます。

取引キーの印字文字を変更する

例

信 キーの印字を『掛売』にする

手順

- 1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
- 2 以下の操作をおこないます。

2	小計		
		信	
			(信用売キーを指定します)
		C	
			<文字列クリア>
			(すでに設定されている文字を消します)
			「か」 <か>
			<→>
			(同じ行なのでカーソルを右に動かします)
			「け」 <か><か><か><か>
			「う」 <あ><あ><あ>
			「り」 <ら><ら>
			<↓変換>
			(「掛売」が出るまで繰り返します)
		現/預	
		小計	
			(設定終了)

 **ポイント** 取引キーへは、半角で最大 12 文字（全角では 6 文字）が設定できます。

グループ名の設定

グループの名前を設定する

例

グループ番号の「1」を『化粧品』に、「4」を『ヘアケア用品』、「5」を『食品』にする

手順

- 1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
- 2 以下の操作をおこないます。

2	小計		
0 1 0 6	小計		(メッセージメモリ番号+06)
	C/AC	<文字列クリア>	(すでに設定されている文字を消します)
		「け」 <か><か><か><か>	
		「し」 <さ><さ>	
		:	
	現/預		
0 4 0 6	小計		(メッセージメモリ番号+32)
	C/AC	<文字列クリア>	(すでに設定されている文字を消します)
		<切替><切替>	(半角カタカナに切り替えます)
		<倍文字>	(全角カタカナに切り替えます)
		「へ」 <は><は><は><は>	
		「ア」 <あ>	
		:	
	現/預		(続いて次のメモリに設定します)
	現/預		
	C/AC	<文字列クリア>	(すでに設定されている文字を消します)
		<切替><切替>	(倍角ひらがなに切り替えます)
		<倍文字>	(全角ひらがなに切り替えます)
		「し」 <さ><さ>	
		「よ」 <や><や><や><や><や><や>	
		:	
	現/預		
	小計		(設定終了)



グループ名は、半角で最大 12 文字（全角では 6 文字）のキャラクタが設定できます。
 グループ番号“01”、“02”、“03”の番号の後に“06”を付けた数値が、グループ名キャラクタの設定コードとなります。
 ※グループ番号が続く場合はカッコ内を省略できます。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

レシートメッセージの設定

レシートメッセージを設定する

レシートには以下の3種類のメッセージを印字することができます。

1. 店名ロゴ代わり に印字する「ロゴメッセージ」 最大6行
2. 店名ロゴの下部 に印字する「コマーシャルメッセージ」最大6行
3. レシートの最後 に印字する「ボトムメッセージ」 最大6行

各メッセージは1行最大24文字（半角の場合、全角では12文字）のキャラクタを設定できます
“32”がレシートメッセージのキャラクタ設定番号で、ロゴメッセージは“0132”～が、コマーシャルメッセージは“0732”～が、ボトムメッセージは“1332”～がそれぞれのメッセージの設定コードです。

例

ロゴメッセージに右記の内容を、また、コマーシャルメッセージに『朝市を開催します』のメッセージを設定する

毎度ありがとうございます
カシオ商店

手順

- 1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
- 2 以下の操作をおこないます。

2 小計		
0 1 3 2 小計		(メッセージメモリ番号+32)
C/AC C	<文字列クリア>	(すでに設定されている文字を消します)
	「ま」 <ま>	
	「い」 <あ><あ>	
	:	
現/預 現/預		(続いて次のメモリに設定します)
C/AC C	<文字列クリア>	(すでに設定されている文字を消します)
	<切替><倍文字><倍文字>	(全角倍角カタカナに切り替えます)
	「カ」 <か>	
	「シ」 <さ><さ>	
	:	
現/預		
0 7 3 2 小計		(メッセージメモリ番号+32)
C/AC C	<文字列クリア>	(すでに設定されている文字を消します)
	<切替><切替><切替>	(全角ひらがなに切り替えます)
	「あ」 <あ>	
	「さ」 <さ>	
	「い」 <あ><あ>	
	「ち」 <た><た>	
	<↓変換>	(「朝市」が出るまで繰り返します)
	:	
	「ま」 <ま>	
	「す」 <さ><さ><さ>	
現/預		
小計		(設定終了)



各メッセージはそれぞれ独立して、印字/非印字の設定ができます。
ロゴメッセージは、専用の「電子店名スタンプ」を取り付けるまでの間に使用します。

参照 レシートメッセージの印字/非印字の設定 → 93 ページ

店名部印字用住所、電話番号を設定する

レシートや領収書に印字する住所または電話番号が変更になった場合に、電子店名スタンプを作り替えている期間、代用としてこれらのキャラクタを設定します。

1. レシート用住所・電話番号 として印字する行 最大 3 行
2. 領収書用住所・電話番号 として印字する行 最大 3 行
3. 領収書用の店名（会社名） として印字する行 1 行
(領収書の店名部分に縦倍文字で印字されます)

各行は 1 行最大 24 文字（半角の場合、全角では 12 文字）のキャラクタを設定できます
住所・電話番号用のキャラクタ設定コードは、レシート用が“2032”、“2132”、“2232”、領収書用が“2332”、“2432”、“2632”、領収書の店名用は“2632”です。

例

レシート用と領収書用の電話番号を『電話:03-1212-3434』に、領収書用店名を倍文字の『(株) 樫尾商事』に変更する

手順

- 1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
- 2 以下の操作をおこないます。

2	小計		
2 1 3 2	小計		(メッセージメモリ番号+32)
	C/JAC C	<文字列クリア>	(すでに設定されている文字を消します)
		「て」 <た><た><た><た>	
		「で」 <濁点>	
		:	
	現/預		
2 4 3 2	小計		(メッセージメモリ番号+32)
	C/JAC C	<文字列クリア>	(すでに設定されている文字を消します)
		「て」 <た><た><た><た>	
		:	
	現/預		
2 6 3 2	小計		(メッセージメモリ番号+32)
	C/JAC C	<文字列クリア>	(すでに設定されている文字を消します)
		<倍文字>	(倍文字に設定します)
		<切替><切替>	(半角英字に切り替えます)
		:	
	現/預		
	小計		(設定終了)



ポイント 電子店名スタンプのデザイン部分内に住所および電話番号を入れていない場合は、住所または電話番号が変更になったときに、《行単位で》それぞれ単独に変更が可能です。

上記の設定を行なった場合は、電子店名スタンプ内の該当行に代わって、設定された内容がレシートおよび領収書に印字されます。



注意 上記の設定は、電子店名スタンプ内の住所/電話番号に優先しますので、新しい電子店名スタンプを作成した場合は、「電子店名スタンプ挿入時の操作」(電子店名スタンプに同梱)を行なってください。

その他の設定 (1 / 10)

本機には、便利な機能が豊富に備えられています。**必要に応じて設定をしてください。**

ここでの説明項目

部門キーのグループリンクの設定……………	86	強制操作・演算の設定……………	96
部門キーの 0 単価、負単価の設定 ※……………	86	締めキーの機能の設定……………	97
PLU の部門リンク・グループリンクの設定 ※	87	乗算の計算順序等の設定……………	98
品番 PLU の設定 ……………	88	客数キーの機能の設定……………	98
—————		%計算の端数処理の設定……………	99
スキャン PLU のダイレクトメンテナンス ……	89	一連番号クリアの設定……………	85
削除対象日数の設定……………	88	強制解除キーの機能の設定……………	85
—————		領収書関連の設定……………	100
固定合計器の印字制御 1 の設定 ……	90	価格帯の設定……………	101
固定合計器の印字制御 2 の設定 ……	91	—————	
レシート/ジャーナルの印字制御の設定……………	92	キー配列の変更 (必要なキーを設定する) ……	102
レシートの印字制御の設定……………	93	設定点検 (設定内容の確認) ……	105
前回精算日付の印字の設定……………	94	—————	
印字濃度などの設定……………	95	トレーニングの設定……………	104



※ TK-5000 では、部門や PLU に加えて、フラット PLU キーにも設定ができます。

一連番号のリセット / ノンリセットなどを設定する

レシート等に印字する一連番号を、毎日ある一定数値から始める（日計明細の精算後にリセットする）か、連続番号にする（日計明細の精算後にリセットしない）のかを設定します。

例

「一連番号」を毎日「000234」から始める

手順

- 1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
- 2 以下の操作をおこないます。

■ 日計明細精算後の一連番号

A	リセットする	1
	リセットしない	0

■ 常に0を設定します

■ 一連番号開始値-1を設定します

 **ポイント** ご購入時は一連番号等の設定は“0000000”になっています。

 **注意** 一連番号の開始値-1を設定します。

強制解除キーの機能を設定する

どうしても解除できない「エラー」が発生した場合、 キーを続けて2回押せば解除できますが、登録中の《強制解除》を「現金での売上」とするか「取引中止」とするかを設定で決めます。

例

登録中の強制解除を「取引中止」にする

手順

- 1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
- 2 以下の操作をおこないます。

■ 登録中の強制終了を

A	「現金での売上げ」とする	0
	「取引中止」とする	4

■ 常に0000010を設定します

 **ポイント** ご購入時の強制解除機能の設定は“0000010”（現金での売上）になっています。

 **注意** 販売店に設定をお任せになっている場合、他の設定がされている場合があります。自分で変更なさらずに販売店におたずねください。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

その他の設定 (2 / 10)

部門キーにグループ番号を設定する

部門キーのそれぞれに《グループ番号》を設定することにより、「グループ別集計」を求めることができます。(この指定を「グループリンク」と言います)

例

部門キーを以下のようなグループに分ける

部門キー	リンク先	入力コード
□1	グループ01	0100
□2	グループ02	0200
□3	グループ03	0300

手順

- 1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
- 2 設定3でリンクグループ番号設定コードを入力します。

3 小計 1 1 6 6 小計

- 3 グループ番号を入力し、該当キーを押します。

0 1 0 0 □1

0 2 0 0 □2

0 3 0 0 □3

- 4 小計 キーを押します。

小計

 **ポイント** グループ番号は01～99まで設定することができます。
ご購入時は、すべての部門キーはどのグループにも集計されません。

部門キーに0単価とマイナス単価を設定する

登録するとき、数量だけの集計をしたい場合は「0単価」を、金額を負（マイナス）で集計したい場合は「負単価」を、それぞれ部門キーに設定します。

例

部門キー □4 に0単価を、部門キー □3 に負単価を設定する

手順

- 1 モードスイッチを「設定」に合わせます。

- 2 以下の操作をおこないます。

3 小計 5 6 6 小計 1 □4 2 □3 小計

■ 0単価および負単価

☆ 通常のキー : 0

☆ 0単価にする : 1

☆ 負単価にする : 2

 **ポイント** ご購入時は、全てのキーが“0”(通常のキー)になっています。
TK-5000でフラットPLUキーに設定する場合、部門キーの代わりにフラットPLUキーを押します。



PLU に部門リンク・グループリンクを設定する

PLU に集計される金額と数量を、同時に「部門」にも集計したいときに、その部門を指定することを「部門リンク」と言います。なお、部門でなく「グループ」へ直接リンクさせることもできます。

例

PLU を以下のように部門またはグループにリンクさせる

フラット PLU キー/ PLU 番号	リンク先	入力コード
<u>21</u> 、 <u>22</u>	<u>2</u> (部門番号 02)	2
<u>31</u>	<u>3</u> (部門番号 03)	3
PLU No.110	<u>2</u> (部門番号 02)	2
PLU No.111	<u>2</u> (部門番号 02)	2
PLU No.112	<u>3</u> (部門番号 03)	3
PLU No.113	グループ 03	300
PLU No.120	グループ 03	300

注意

フラット PLU キーを使用できるのは TK-5000 だけです。

手順

- 1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
- 2 設定 3 でリンク部門グループ番号設定コードを入力します。

3 小計 **1166** 小計

- 3 リンク部門グループ番号を入力し、該当キーを押します。

2 21 22

3 31

110 PLU **2** 現/預

(**2**) 現/預 (PLU 番号が続くときは
PLU 番号指定は不要)

3 現/預 (PLU 番号が続くときは
PLU 番号指定は不要)

300 現/預 (PLU 番号が続くときは
PLU 番号指定は不要)

120 PLU **300** 現/預

- 4 小計 キーを押します。

小計



ポイント リンクできる部門番号は 01 ~ 99 で、グループ番号は 01 ~ 99 です。
ご購入時は、すべての PLU はどこへもリンクされていません。



注意 PLU のリンク先を「部門」と「グループ」の両方に設定した場合は、PLU 登録時に同じ金額、数量が部門とグループの両方に加算されます。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

その他の設定 (3 / 10)

PLU に品番 PLU を設定する

PLU は通常、設定された単価で登録されますが、設定単価以外の単価で登録したい場合は、《品番 PLU》を設定します。(品番 PLU の解説と操作例) 34、35 ページ)

例

PLU 番号 150 と 151 に品番 PLU を設定する

手順

- 1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
- 2 設定 3 で品番 PLU 設定コードを入力します。

3 小計 4 6 6 小計

- 3 PLU 番号を入力し、設定数値を入力します。

1 5 0 PLU 4 現/預

4 現/預 (PLU 番号が続くときは PLU 番号指定は不要)

- 4 小計 キーを押します。

小計

■設定数値

☆ PLU 指定	:	0
☆ 品番 PLU 指定	:	4

 **ポイント** ご購入時は、すべての PLU は品番 PLU でなく、PLU 指定になっています。

スキャンング PLU の削除対象日数を設定する

スキャンング PLU ファイルを有効に活用するために、一定期間《登録》や《設定》が行なわれないアイテムを削除対象とします。この期間をあらかじめ設定しておきます。

例

削除対象日数を半年 (180 日) に設定する

手順

- 1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
- 2 以下の操作をおこないます。

3 小計 3 1 2 2 小計 6 0 0 1 8 0 現/預 小計

6 0 0 を 削除対象日数を
入力します 入力します

 **ポイント** 削除対象日数は“001”(日)～“999”(約 33 ヶ月)まで設定できます。
『スキャンング PLU 未稼働』のレポートを「精算」で発行 (61 ページに「点検」の操作例と「精算」時の解説) すると、削除対象日数を超えているスキャンング PLU はすべて削除されます。
ご購入時は削除対象日数には“31”(31 日)が設定されています。

 **注意** 削除対象日数に“000”を設定した場合は、スキャンング PLU 未稼働のレポートで「未稼働データなし」になります。従って、未稼働レポート発行ではスキャンング PLU の削除を行なうことができなくなります。

スキャンング PLU の商品名（キャラクタ）を設定する

スキャンング PLU の単価は登録中に「自動学習」で設定でき、そのときにはキャラクタとして部門名（部門にキャラクタが設定されている場合はそのキャラクタ）が設定されます。

スキャンング PLU をあらかじめ設定（「自動学習」ではなく）する場合も、「自動学習」後の単価変更、部門変更、キャラクタ設定は《スキャンング PLU のダイレクトメンテナンス》で行ないます。

例

スキャンング PLU の商品名、単価等を以下のように設定する

バーコード番号	商品名（キャラクタ）	単価	リンク部門
バーコード A	歯ブラシ0A	¥350	<input type="text" value="1"/>
バーコード B	三種封筒セット	変更無し	変更無し
4901480430102	育毛剤 ABC	変更無し	<input type="text" value="8"/>
バーコード C	祝儀袋 (A12)	¥580	変更無し

手順

- 1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
- 2 設定3でダイレクトメンテナンス設定コードを入力します。

3

- 3 以下の操作をおこないます。

1 **350** ※歯ブラシ0A

※三種封筒セット

※育毛剤 ABC

580 ※祝儀袋 (A12)

- 4 キーを押します。

参照  ※では文字の入力をおこないます。→ 76 ページ

ポイント  「単価」および「部門」を変更しない場合は、何も入れないで キーを押します。
スキャンング PLU のメンテナンスには上記の他に、「P01」で「単価」と「部門」の変更のみを行なう「ダイレクトメンテナンス」と、「P03」で大量のデータをメンテナンスする「バッチメンテナンス」がありますが、これらに関しては販売店にご相談ください。

その他の設定 (4/10)

固定合計器の印字方法を設定する その1

点検または精算で打ち出される固定合計器の印字制御の1として、下記の内容があります。必要に応じて設定してください。

例

値引き合計と戻しキー合計を「印字する」に、丸め合計も「印字する」に設定する

手順

- 1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
- 2 以下の操作をおこないます。



■ 常に 05210 (TE-5000), 05610 (TK-5000) を設定します

■ 純客数、客単価の印字／非印字

B	純客数		客単価	
	印字する	印字する	印字する	0
		印字しない	印字しない	2
	印字しない	印字する	印字する	1
印字しない		印字しない	3	

■ 他国通貨在高、値引き・割引合計、戻し合計の印字／非印字

C	他国通貨在高	(-) (%) 合計	(戻) 合計		
	印字する	印字する	印字する	印字する	0
			印字しない	印字しない	4
		印字しない	印字する	印字する	2
			印字しない	印字しない	6
	印字しない	印字する	印字する	印字する	1
印字しない			印字しない	5	
印字しない		印字する	印字する	3	
		印字しない	印字しない	7	

■ 万券枚数、丸め合計、取引中止合計の印字／非印字

D	万券枚数	丸め合計	取引中止合計		
	印字する	印字する	印字する	印字する	0
			印字しない	印字しない	4
		印字しない	印字する	印字する	2
			印字しない	印字しない	6
	印字しない	印字する	印字する	印字する	1
印字しない			印字しない	5	
印字しない		印字する	印字する	3	
		印字しない	印字しない	7	

■ 電卓モードでの計算回数、領収書発行合計の印字／非印字

E	領収書合計	電卓モード	
	印字する	印字する	4
		印字しない	5
	印字しない	印字する	6
印字しない		7	

■ 常に 0 を設定します

0



ポイント

ご購入時の固定合計器の印字制御1の設定は
 “05210 36200” (TE-5000)
 “05610 37200” (TK-5000)
 になっています。

固定合計器の印字方法を設定する その2

点検または精算で打ち出される固定合計器の印字制御の 2 として、下記の内容があります。
必要に応じて設定してください。

例

消費税、および奉仕料を「印字しない」に設定する

手順

- 1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
- 2 以下の操作をおこないます。



- 消費税 1/2 の課税対象額、税額の印字／非印字

A	消費税 1 の対象額と税額	消費税 2 の対象額と税額	
	印字する	印字する	2
印字しない	印字しない	3	
	印字する	6	
	印字しない	7	

- 常に 7 を設定します 7

- 消費税額合計の印字／非印字

C	印字する	3
	印字しない	7

- 消費税非課税合計の印字／非印字

D	印字する	0
	印字しない	1

- 常に 0 を設定します 0

- 奉仕料合計の印字／非印字

F	印字する	0
	印字しない	1

- 常に 770 を設定します 770

- 月間日別の合計で平均単価と客単価の印字／非印字

H	印字する	0
	印字しない	1

 **ポイント** ご購入時の固定合計器の印字制御 2 の設定は “ 2 7 3 0 0 1 7 7 0 ” になっています。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

その他の設定 (5 / 10)

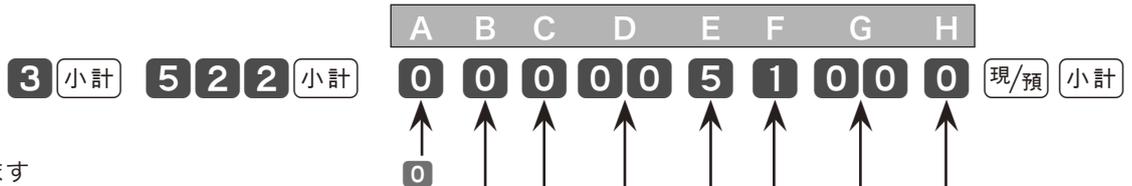
レシートやジャーナルの印字方法を設定する

例

レシートのお買い上げ点数と課税対象額を「印字する」に、点検・精算時の売上構成比を「印字する」に、消費税を「国税分と地方税分に再計算する」に設定する

手順

1 モードスイッチを「設定」に合わせ、以下の操作をおこないます。



■ 常に 0 を設定します

■ 課税対象額、税率の印字／非印字

B	課税対象額	税率	
	印字する	印字する	0
	印字しない	2	
印字しない	印字する	1	
	印字しない	3	

■ ジャーナルへの明細印字（ジャーナルスキップ）

C	印字する	
	印字しない	(ジャーナルスキップする)

■ 常に 00 を設定します

■ 売上げ構成比の印字／非印字、日計精算書の出力枚数、税の再計算

E	X/Zで部門、PLUの売上げ構成比を	日計明細精算での出力枚数	X/Zで消費税を国と地方に再計算	
				再計算する
印字する	1枚		再計算しない	1
			再計算する	7
	2枚 (ダブルレポート)		再計算しない	3
			再計算する	4
印字しない	1枚		再計算しない	0
			再計算する	6
	2枚 (ダブルレポート)		再計算しない	2
			再計算する	

■ 買い上げ点数、税シンボルの印字／非印字、ジャーナル圧縮印字

F	買い上げ点数	税シンボル	圧縮印字	
				1
印字する	印字する		通常印字	5
			圧縮印字	3
	印字しない		通常印字	7
			圧縮印字	0
印字しない	印字する		通常印字	4
			圧縮印字	2
	印字しない		通常印字	6
			圧縮印字	

■ 常に 00 を設定します

■ レシートの頭に客数を

H	印字する	
	印字しない	2

ポイント ご購入時の印字制御の設定は“000000000”になっています。



レシートの印字方法を設定する

レシートに日付・時刻やメッセージなどを印字する制御として、下記の内容があります。必要に応じて設定してください。

例

点検・精算時の部門別客数と部門値引き金額を「印字する」に、レシートのコマースシャルメッセージを「印字する」に設定する

手順

1 モードスイッチを「設定」に合わせ、以下の操作をおこないます。



■ X/Z で部門別客数、部門別値引き金額の印字／非印字

A	部門別客数	部門別値引金額	
	印字する	印字する	印字する
印字しない		印字しない	5
印字しない	印字する	印字する	0
	印字しない	印字しない	4

■ 日付および一連番号の印字／非印字

B	レシートの日付	ジャーナルの日付	一連番号	
	印字する	印字する	印字する	印字する
印字しない			印字しない	4
印字しない		印字する	印字する	2
		印字しない	印字しない	6
印字しない	印字する	印字する	印字する	1
		印字しない	印字しない	5
	印字しない	印字する	印字する	3
		印字しない	印字しない	7

■ 時刻の印字／非印字

C	レシートの時刻	ジャーナルの時刻	
	印字する	印字する	印字する
印字しない		印字しない	2
印字しない	印字する	印字する	1
	印字しない	印字しない	3

■ 常に 0 を設定します

0

■ ログメッセージ・コマースシャルメッセージ・ボトムメッセージの印字／非印字

E	ログメッセージ	コマースシャルメッセージ	ボトムメッセージ		
	印字する	印字する	印字する	印字する	7
			印字しない	印字しない	3
		印字しない	印字する	印字する	5
			印字しない	印字しない	1
	印字しない <small>(電子店名スタンプ内の店名ロゴまたはお買上票を印字します)</small>	印字する	印字する	印字する	6
印字しない			印字しない	2	
印字しない		印字する	印字する	4	
		印字しない	印字しない	0	



ポイント ご購入時のレシートの印字制御の設定は“40000”になっています。



注意 レシートへの時刻の非印字を“P01”の簡易設定(69ページ)で行なった場合は、この設定の項目“C”では“5”または“7”を設定してください。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

その他の設定 (6 / 10)

点検・精算レポートの前回精算日付の印字を設定する

日計の点検・精算レポートでは、前回精算日付の印字・非印字をあらかじめ設定することができます。必要に応じて設定してください。(期間集計 1 および期間集計 2 では前回精算日付が常に印字されます)

例

スキャニング PLU の精算では、前回精算日付の印字を「印字しない」に設定する

手順

1 モードスイッチを「設定」に合わせ、以下の操作をおこないます。



■ スキャニング PLU の前回精算日付の印字 / 非印字

A	印字する	0
	印字しない	1

■ 価格帯の日計精算で前回精算日付の印字 / 非印字

B	印字する	0
	印字しない	1

■ 担当者、時間帯の日計精算で前回精算日付の印字 / 非印字

C	担当者	時間帯	
	印字する	印字する	
印字しない			2
印字しない	印字する		1
	印字しない		3

■ PLU、部門、グループの日計精算で前回精算日付の印字 / 非印字

D	PLU	部門	グループ	
	印字する	印字する	印字する	
印字しない				4
印字しない		印字する		2
		印字しない		6
印字しない	印字する	印字する		1
		印字しない		5
	印字しない	印字する		3
		印字しない		7

■ 固定合計器、取引キーの日計精算で前回精算日付の印字 / 非印字

E	固定合計器	取引キー	
	印字する	印字する	0
		印字しない	2
	印字しない	印字する	1
印字しない		3	

ポイント ご購入時の前回精算日付印字の設定は“00123”(日計明細=固定合計器、取引キー、部門別、担当者別の日計精算では、前回精算日付は印字しない)になっています。

プリントの印字濃度と背景印字を設定する

プリント用紙（ロールペーパー）の特性などで印字濃度を変更したいときに設定を変えます。また、レシートや領収書の背景印字の簡易設定もここに設定されます。

例

印字濃度を“やや濃く”に設定する

手順

1 モードスイッチを「設定」に合わせ、以下の操作をおこないます。

		A	B	C	D	現/預	小計
		0	1	0	0		
■ 電子店名スタンプ内のサーマルポップを							
A	印字する	0					
	印字しない	2					
■ プリントの印字濃度							
B	普通		0				
	やや濃く		1				
	濃く		2				
■ レシートの背景印字							
C	印字しない			0			
	パターン1			1			
	パターン2			2			
	パターン3			3			
	パターン4			4			
■ 領収書の背景印字							
D	印字しない				0		
	印字する				1		

 **ポイント** ご購入時の印字濃度は“0”（普通）に設定されています。

注意 レシートおよび領収書の背景印字の設定を“P01”の簡易設定（69ページ）でこの設定よりも前に行なった場合は、この設定の項目“B”および“C”の設定数値をそれらと同じにしてください。
通常、電子店名スタンプ（別売オプション）の中にサーマルポップが焼き付けられていればレシート上に印字されます。この設定は、レシートロゴなどの印字はそのままにして、サーマルポップの印字だけを止めたいときに使用します。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

その他の設定 (7/10)

強制操作や演算方法を設定する

操作ミスを防ぎ、確認をうながすために、「強制操作」の設定ができます。また、件数や個数、金額などの入力や集計方法も変更できます。これらの設定には、下記の内容があります。必要に応じて設定してください。

例

「戻」モードの登録回数を「1回のみ」に、「戻」モードの件数を「レジマイナス」に設定する

手順

1 モードスイッチを「設定」に合わせ、以下の操作をおこないます。

		A	B	C	D	E	F	G	現/預	小計																												
		0	4	0	0	0	1	0	0	0																												
■ 客数入力の強制 A 強制しない 0 強制する 1		↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑																														
■ 締め時の (小計) キー強制やマイナス締め不可など <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">B</th> <th>締め操作時に (小計) 押し強制</th> <th>小計額マイナスの 締めの可/不可</th> <th>戻しモードの登録</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">強制しない</td> <td rowspan="2">可能</td> <td>続けて可能</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>1回のみ可能</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">強制する</td> <td rowspan="2">不可</td> <td>続けて可能</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>1回のみ可能</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">強制する</td> <td rowspan="2">可能</td> <td>続けて可能</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>1回のみ可能</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">不可</td> <td>続けて可能</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>1回のみ可能</td> <td>7</td> </tr> </tbody> </table>		B	締め操作時に (小計) 押し強制	小計額マイナスの 締めの可/不可	戻しモードの登録		強制しない	可能	続けて可能	0	1回のみ可能	4	強制する	不可	続けて可能	2	1回のみ可能	6	強制する	可能	続けて可能	1	1回のみ可能	5	不可	続けて可能	3	1回のみ可能	7	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑		
B	締め操作時に (小計) 押し強制		小計額マイナスの 締めの可/不可	戻しモードの登録																																		
	強制しない	可能	続けて可能	0																																		
1回のみ可能			4																																			
強制する	不可	続けて可能	2																																			
		1回のみ可能	6																																			
強制する	可能	続けて可能	1																																			
		1回のみ可能	5																																			
	不可	続けて可能	3																																			
		1回のみ可能	7																																			
■ 常に 00 を設定します					00																																	
■ キーバッファクリア、登録確認音 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">D</th> <th>レシート発行時の キーバッファクリア</th> <th>キー操作時の確 認音 有/無</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">クリアする</td> <td>確認音あり</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>確認音なし</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">クリアしない</td> <td>確認音あり</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>確認音なし</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>		D	レシート発行時の キーバッファクリア	キー操作時の確 認音 有/無		クリアする	確認音あり	1	確認音なし	3	クリアしない	確認音あり	0	確認音なし	2																							
D	レシート発行時の キーバッファクリア		キー操作時の確 認音 有/無																																			
	クリアする	確認音あり	1																																			
確認音なし		3																																				
クリアしない	確認音あり	0																																				
	確認音なし	2																																				
■ (券)、(信) での締めで、ドロアを開ける/開けない E 開ける 0 開けない (スリットドロア) 4																																						
■ 戻しモードでの件数は加算/減算 F 加算する (戻しモード) 0 減算する (レジマイナスモード) 1																																						
■ 常に 000 を設定します									000																													

ポイント ご購入時の強制操作・演算の設定は“0000000000”になっています。

締めキーの一部入金可 / 不可などを設定する

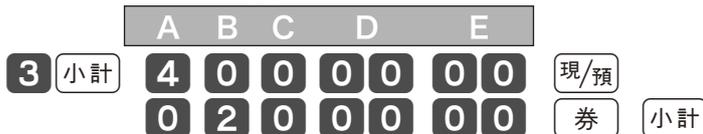
〔現/預〕キーや〔券〕キーなどの「締めキー」に《分割処理》（47 ページ参照）を受け付けるか / 受け付けないか、また釣銭の最大金額や預かり金入力の強制などを設定します。

例

〔現/預〕での預かり入力を「強制する」に、〔券〕でのお釣りを「エラー」にする

手順

1 モードスイッチを「設定」に合わせ、以下の操作をおこないます。



■ 分割処理および預かり金入力の可 / 不可、預かり入力の強制

A	分割処理	預かり入力	預かり入力の強制	
	分割入力可能		可能	強制しない
			強制する	4
不可			強制しない	2
			強制する	6
分割入力不可	可能		強制しない	1
			強制する	5
	不可		強制しない	3
			強制する	7

■ 内税金額の印字 / 非印字、お釣りのある預かりの可 / 不可

B	内税対象額と内税額	お釣りのある預かり	
	印字する	可能	
不可 (エラー)			2
印字しない	可能		1
	不可 (エラー)		3

■ 常に 0 を設定します

0

■ 預かり金額の制限

D	金額の左端の数値		0 ~ 9
		金額の 0 の個数	

■ 釣り銭金額の制限

E	金額の左端の数値		0 ~ 9
		金額の 0 の個数	

◇ 上記 D、E の「金額の制限」の設定数値は次のようになります。

設定数値例：

- 金額制限 10,000 円 → 数値 “14”
- 金額制限 7,000 円 → 数値 “73”
- 金額制限 2,500 円 → 設定できません
- 金額制限 なし → 数値 “00”



ご購入時は〔現/預〕、〔券〕キーに“000000”が、〔信〕キーに“200000”（預かり金額の入力不可）が設定されています。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

その他の設定 (8 / 10)

乗算の操作順と円未満の端数処理方法を設定する

乗算登録の場合の操作順序（数量×単価 or 単価×数量）および円未満の端数処理方法を設定します。

例

乗算登録の計算順を「単価×数量」にする

手順

1 モードスイッチを「設定」に合わせ、以下の操作をおこないます。

■ 乗算の操作順序		
A	数量×単価	0
	単価×数量	1

■ 乗算の端数処理		
B	円未満四捨五入	0
	円未満切り捨て	1
	円未満切り上げ	2

■ 常に 0000 を設定します

00000



ポイント ご購入時の設定は“000000”（乗算の計算順序は「数量×単価」、端数処理は「四捨五入」）になっています。



注意 乗算の計算順を「単価×数量」にした場合は、「フラットPLUキーの乗算登録」、「PLUの乗算登録」、「スキャンングPLUの乗算登録」と「時刻・日付の表示」ができなくなります。(33ページ参照)

客数を加算するか入れ替えするかを設定する

2回目以降に [客数] キーで入れた客数を「加算」とするか「入れ替え」とするかを設定します。

例

2回目以降の客数入力を「加算」にする

手順

1 モードスイッチを「設定」に合わせ、以下の操作をおこないます。

■ 2回目以降の客数入力		
A	前の客数と入れ替える	0
	2回目以降の入力不可	1
	前の客数に加算する	2

■ 常に 0000000 を設定します

0000000



ポイント ご購入時の設定は“00000000”（2回目以降の客数の入力は「入れ替え」）になっています。

%計算の円未満の端数処理方法を設定する

%- を使って%計算をしたときに、円未満をどうするのかを設定します。

例

%- の円未満を「切上げ」にする

手順

1 モードスイッチを「設定」に合わせ、以下の操作をおこないます。

	A	B	C	D	E
3 小計	0	0	0	2	0000
					%- 小計
■ 消費税の課税方式					
A	内税指定	0			
	非課税指定	5			
■ 奉仕料計算の対象にする					
B	する	0			
	しない	1			
■ 新たな%率を置数しての%計算					
C	可能	0			
	禁止	2			
■ %計算の端数処理					
D	円未満四捨五入	0			
	円未満切り捨て	1			
	円未満切り上げ	2			
■ 常に 0000 を設定します					0000



ポイント ご購入時は“00000000”（内税指定、四捨五入）が設定されています。
上記 A の「課税方式」の設定は、70～72 ページ（消費税の課税方式の設定）で設定されます。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

その他の設定 (9/10)

領収書の収入印紙必要額や税額印字など

領収書の収入印紙必要額は現在 30,000 円です。この金額が変更された場合、その額を設定してください。また、領収書への税額印字の要/不要や領収書用一連番号のリセット/ノンリセットなども同時に設定します。

例

領収書の但し書きへ「お食事代として」を印字し、領収書用一連番号は、日計明細の精算でも“0”にしない

手順

1 モードスイッチを「設定」に合わせ、以下の操作をおこないます。



■但し書き部分への印字

A	非印字	0
	「お品代」を印字	4
	「お食事代」を印字	2

■日計明細精算後の領収書用一連番号の処理

B	領収書用一連番号	
	リセット	0
	ノンリセット	1

■領収書名、レシート一連番号と税額の印字/非印字

C	領収書/領収証	レシート一連番号	税額の印字	
	領収書	印字する	印字する	0
印字しない			1	
印字しない		印字する	2	
		印字しない	3	
領収証	印字する	印字する	4	
		印字しない	5	
	印字しない	印字する	6	
		印字しない	7	

■収入印紙の必要額（円単位）を6桁で設定します

030000



収入印紙必要額は、必ず6桁で設定します。
ご購入時の領収書関連の設定は“000030000”が設定されています。



領収書への税額印字で、金額を指定した領収書発行（25 ページ参照）の場合は「印字する」になっていても印字はしません。領収書の但し書き部の印字および領収書タイトル文字の設定を“P01”の簡易設定（69 ページ）でこの設定よりも前に行なった場合は、この設定の項目“A”および“C”の設定数値をそれらと同じにしてください。

価格帯別集計用の価格帯を設定する

お店の売上を「価格帯別」にそれぞれ客数、個数、金額を集計し、売上分析を行なうことができます。価格帯は最大 20 に分けることができ、それぞれの最大金額を設定します。

例

価格帯を以下のように設定する

価格帯メモリ	設定値 (価格帯金額)
01	499 (¥1 ~ ¥499)
02	799 (¥500 ~ ¥799)
03	999 (¥800 ~ ¥999)
04	1299 (¥1,000 ~ ¥1,299)
05	1599 (¥1,300 ~ ¥1,599)
06	1999 (¥1,600 ~ ¥1,999)
07	0 (¥2,000 ~)

手順

1 モードスイッチを「設定」に合わせ設定3モードにします。

3 小計

2 メモリ番号につづいて 13 を入力し **小計** キーを押して、設定値を入力します。

0 1 1 3 **小計** **4 9 9** **現/預**

(**0 2 1 3** **小計**) **7 9 9** **現/預**

9 9 9 **現/預**

1 2 9 9 **現/預**

1 5 9 9 **現/預**

1 9 9 9 **現/預**

3 **小計** キーを押します。

小計



価格帯設定の最終(上例ではメモリ 07) は設定する必要はありません。直前の「最大金額 + 1 ~」が自動設定されます。
※メモリ番号が続く場合はカッコ内を省略できます。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

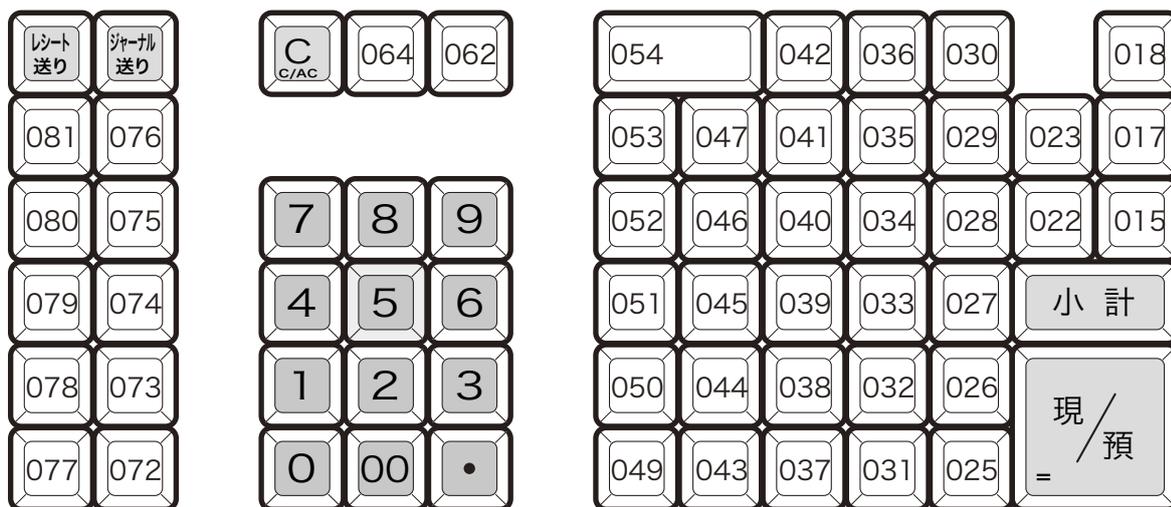
その他の設定 (10/10)

キー配列を変更する

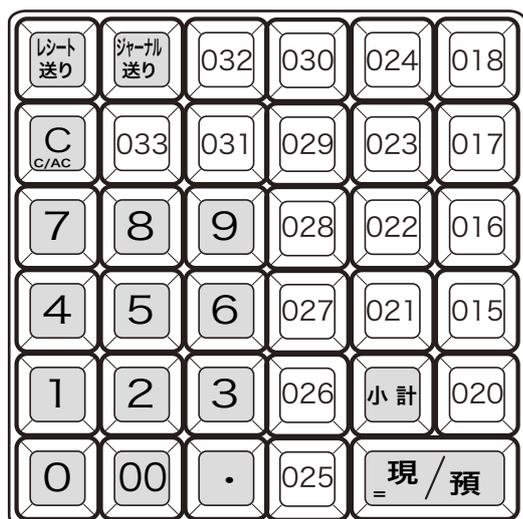
本機は、ご購入時のキー配列を含めて、お店に必要なキーを任意の位置に配列することができます。

キーを配列できる位置とキー番号

キーを設定できる位置は、以下のイラストで、3桁の番号（キー番号）が付いている位置です。



キー番号図
(TE-5000)



041	049	057	065	073	081	089	097	105
040	048	056	064	072	080	088	096	104
039	047	055	063	071	079	087	095	103
038	047	054	052	070	078	086	094	102
037	046	053	051	069	077	085	093	101
036	045	052	050	068	076	084	092	100
035	044	051	049	067	075	083	091	099
034	043	050	048	066	074	082	090	098

キー番号図
(TK-5000)

例

「OBR」キーをキー番号「022」の位置に、「通貨変換 (\$)」キーをキー番号「023」の位置に設定する

手順

1 モードスイッチを「設定」に合わせ、設定4モードにします。

4 小計

2 ファンクションコード（下表参照）を入力し、該当キーを押します。

1 0 3 022 4 5 023

3 小計 キーを押します。

小計

注意 キーを設定する場合は、日計明細および期間集計1、2を精算してから行なってください。
変更の印字は、キー番号の順に印字されます。
通貨変換キーの設定後は、換算レートの設定を行なってください。(68ページ参照)

設定できる主なキー（取引キー）の種類とそのファンクションコード

キーの名称	ファンクションコード	キーの名称	ファンクションコード	キーの名称	ファンクションコード
現金売り／預かり金	01	レシート発行	38	設定解除	68
貸し売り	02	不加算印字（#）／両替	41	登録確認（レビュー）	71
商品券売り	03	客数	43	小計	75
信用売り	04	通貨変換（\$）	45	税抜き小計	80
万円	18	領収書発行	47	乗算／日時	82
入金	20	PLU	48	単位乗算／日時	83
出金	21	金額	49	強制解除	99
クーポン	23	部門	51	割り勘	102
値引き（-）	27	ピン返し	53	OBR	103
割引（%-）	28	非課税	57	売価変更	104
割増し（%+）	30	免税	62	客層	139
戻し	33	ワンタッチ PLU	63	操作ガイド	141
直前訂正／取引中止	34	桁解除（オープン）	67	取引中止	236
指定訂正	35				

ポイント 同じ取引命令キーを複数個でも設定することができます。

例：「割引率」が2種類あり、それぞれの率ごとに金額と件数を集計したい場合は、%- キーを2個設定します。

主なキーの働き

- 貸し売り：[現/預] や [券] キー等と同じ締めキーで、「貸し売り（掛け売り）」での売上の場合に使用します。
- 割増し：「割引」の逆の機能です。「深夜割増し」等のような割増し計算に使用します。
- 指定訂正：「さかのぼり訂正」の金額と件数を単独に集計したい場合に使用します。
- 通貨変換：「米ドル」での支払を受け付けるお店で使用します。(48ページ参照)
- PLU・金額：フラット PLU キー以外の「PLU」を使用する場合には必要になります。(34ページ参照)
- 免税：「免税品」を登録する場合に使用します。
- 桁解除（オープン）：部門キー等に設定してある「桁数制限」を越えて金額を入れたい場合に使用します。
- 設定解除：取引命令キーに設定してある「強制操作」を解除したい場合に使用します。
- 登録確認（レビュー）：締め前に登録内容を確認したい場合に使用します。このキーを押すごとに登録内容が順に表示されます。
- 単位乗算／日時：セット単価商品を「バラ売り」したい場合に使用します。
- OBR：バーコードをバーコードリーダーで読めない場合に使用します。
- 売価変更：スキャニング PLU に設定してある単価と異なる単価で登録する場合に使用します。
- 客層：来店するお客様の客層を分析するために、あらかじめ設定しておいて使用します。
- 取引中止：キーの一度押しでそれまでの取引をキャンセルにします。(訂正中止) は (小計) に続けて押して取引中止)

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

トレーニングの設定

登録操作を練習するためにトレーニングモードを使うことができます。

「登録」と「戻」モードのトレーニングができます。 トレーニング中は合計には演算されません。

トレーニングを始める

手順

1 モードスイッチを「点検」に合わせ、以下の操作をします。

1 1 1 1 1 1 小計

2 モードスイッチを「登録」または「戻」に合わせ、登録操作の練習をします。

トレーニングを終わる

手順

1 モードスイッチを「点検」に合わせ、以下の操作をします。

小計

レジの設定内容を確認する (1/4)



設定内容を確認する

設定されている内容の確認（「設定点検」と言います）は“P06”で以下の「種別コード」を入れて点検します。

区分	種別コード	設定点検内容
A “P01” 内容	102	値引き額、割引率等
	104	PLU 単価と課税方法
	105	部門単価と課税方法
B “P02” 内容	204	PLU キャラクタ (文字)
	205	部 門 名
	206	グ ル ー プ 名
	207	担 当 者 名
	232	レシートメッセージ

区分	種別コード	設定点検内容
C “P03” 内容	302	取引キーのプログラム
	304	PLU のプログラム
	305	部門のプログラム
	313	価格帯のプログラム
	316	スキャニング PLU の内容
	322	全体設定のプログラム
	326	現行税率のプログラム
D “P04” 内容		キーの種類とその位置の点検
		種別コードなし (“P04” で点検)

値引き金額、割引率等の設定点検

- 1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
- 2 以下の操作をおこないます。

6 小計 102 小計

印字例

P 01		P01 内容点検のしるし
商品券	@500	設定金額
—	@50 非	設定金額 / 非課税
% —	5% 内	設定レート
\$ → ¥	132.54	変換レート

\$ キー
 % キー
 — キー
 券 キー

部門の設定単価と課税方法の設定点検

- 1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
- 2 以下の操作をおこないます。

6 小計 105 小計

- 3 開始部門番号を入れ [現/預] キーを押し、終了部門番号を入れ [現/預] キーを押します。

1 [現/預] 10 [現/預]

印字例

P 01		P01 内容点検のしるし
#0001 ~ #0004		範囲指定 (1 ~ 4)
女性化粧品	0001-05	キャラクタ / 桁 / ナビ #
	@100 内	単位個数 / 設定単価 / 課税方法
部門 02	0002-05	
	@220 内	
部門 03	0003-05	
	@0 内	
部門 04	0004-05	
	@1,100 非	

ポイント 開始番号を入力しなかった場合、最初から点検します。
 終了番号を入力しなかった場合、最後までを点検します。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

レジの設定内容を確認する (2/4)

PLU の単価と課税方法の設定点検

(7フリット PLU キーの設定単価と課税方法の設定点検)

- 1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
- 2 以下の操作をおこないます。
6 **小計** **104** **小計**
- 3 開始 PLU 番号を入れ **現/預** キーを押し、終了 PLU 番号を入れ **現/預** キーを押します。
1 **現/預** **200** **現/預**

PLU キャラクタの設定点検

(7フリット PLU キー (PLU) のキャラクタの設定点検)

- 1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
- 2 以下の操作をおこないます。
6 **小計** **204** **小計**
- 3 開始 PLU 番号を入れ **現/預** キーを押し、終了 PLU 番号を入れ **現/預** キーを押します。
65 **現/預** **75** **現/預**

印字例

P 01.....	P01 内容点検のしるし
#0001 ~ #0200	範囲指定 (1 ~ 200)
PLU0001 0001-04	キャラクタ / 印刷 # / ファイル #
@218 内	単位個数 / 設定単価 / 課税方法
PLU0002 0002-04	
@318 内	
PLU0003 0003-04	
@305 内	
PLU0169 0169-04	
@268 内	
PLU0170 0170-04	
@683 内	
PLU0171 0171-04	
PLU0199 0199-04	
@800 非	
PLU0200 0200-04	
@2,000 非	

印字例

P 02.....	P02 内容点検のしるし
#0065 ~ #0075	範囲指定 (65 ~ 75)
PLU0065 0065-04	キャラクタ / 印刷 # / ファイル #
カラー Y シャツ 0066-04	
Y シャツ 0067-04	
PLU0074 0074-04	
PLU0075 0075-04	

担当者名の設定点検

- 1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
- 2 以下の操作をおこないます。
6 **小計** **207** **小計**
- 3 開始 PLU 番号を入れ **現/預** キーを押し、終了 PLU 番号を入れ **現/預** キーを押します。
現/預 **現/預**

印字例

P 02.....	P02 内容点検のしるし
#0001 ~ #0010	範囲指定 (最初 ~ 最後)
鈴木一郎 0001-07	担当者番号 1
山本弘子 0002-07	担当者番号 2
担当 -C 0003-07	担当者番号 3
担当 -D 0004-07	担当者番号 4
原 優 0005-07	担当者番号 5
担当 -F 0006-07	担当者番号 6
担当 -G 0007-07	
担当 -H 0008-07	
担当 -I 0009-07	
担当 -J 0010-07	
担当 -K 0011-07	

ポイント 開始番号を入力しなかった場合、最初から点検します。
 終了番号を入力しなかった場合、最後までを点検します。

部門名の設定点検

- 1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
- 2 以下の操作をおこないます。

6	小計	2	0	5	小計
---	----	---	---	---	----
- 3 開始部門番号を入れ **現/預** キーを押し、終了部門番号を入れ **現/預** キーを押します。

1	現/預	1	0	現/預
---	-----	---	---	-----

印字例

P 02	P02 内容点検のしるし
#0001 ~ #0004	範囲指定 (1 ~ 4)
女性化粧品	0001-05 部門 1
	025-051 キーの位置
ヘアケア用品	0002-05 部門 2
	026-051 キーの位置
ドリンク剤	0003-05 部門 3
	027-051 キーの位置
部門 004	0004-05
	028-051

レシートメッセージの設定点検

- 1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
- 2 以下の操作をおこないます。

6	小計	2	3	2	小計
---	----	---	---	---	----

印字例

P 02	P02 内容点検のしるし
0001-32	ロゴメッセージ
毎度ありがとうございます	1 行目
0002-32	カシオ商店
0003-32	2 行目
0005-32	3 行目
0006-32	5 行目
0007-32	6 行目
朝市を開催します	コマースメッセージ
0008-32	1 行目
0009-32	2 行目
0016-32	ボトムメッセージ
0017-32	5 行目
0018-32	6 行目

取引キープログラムの設定点検

- 1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
- 2 以下の操作をおこないます。

6	小計	3	0	2	小計
---	----	---	---	---	----

印字例

P 03	P03 内容点検のしるし	
券	0000000000000000	券売りキー
出金	0000000000000000	出金キー
強制解除	0000000000000000	強制解除キー
現金	0000000000000000	現金売り / 預かり金キー
小計	0000000000000000	小計キー
クレジット	00000002000000	信用売りキー
入金	0000000000000000	入金キー
操作ガイド	0000000000000000	操作ガイドキー
.	0000000000000000	小数点キー
訂正	0000000000000000	訂正 / 中止キー
# / 替	0000000000000000	不加算印字 / 両替キー
%-	0000000000000000	割引キー
-	0000000000000000	値引きキー
領収書	0000000000000000	領収書発行キー
00	0000000000000000	00 キー
× / 日時	0000000000000000	乗算 / 日時キー
お客様	0000000000000000	客数キー
非課税	0000000000000000	非課税キー
レシート	0000000000000000	後レシート発行キー
戻	0000000000000000	戻しキー
万円	0000000000000000	万円キー
割り勘	0000000000000000	割勘キー

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

 **ポイント** 開始番号を入力しなかった場合、最初から点検します。
 終了番号を入力しなかった場合、最後までを点検します。

レジの設定内容を確認する (3/4)

PLU プログラムの設定点検

(ワットPLUキーの設定点検)

- 1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
- 2 以下の操作をおこないます。
6 小計 3 0 4 小計
- 3 開始PLU番号を入れ 現/預 キーを押し、終了PLU番号を入れ 現/預 キーを押します。
1 1 現/預 1 0 0 現/預

印字例

P 03.....	P03 内容点検のしるし
#0011 ~ #0100	範囲指定 (11 ~ 100)
清涼飲料水 500ml	0011-04 設定キャラクタ/メモリ番号
	00000004000000 設定データ
11-66	0000 部分設定データ (1166)
12-66	#000000 部分設定データ (1266)
13-66	<- 0000-00 部分設定データ (1366)
14-66	0.000 部分設定データ (1466)
25-66	0000% 部分設定データ (2566)
清涼飲料水 1.5L	0012-04
	000004000000
清涼飲料水 250ml	0100-04
	00000004000000
11-66	0000
12-66	#000000
13-66	<- 0000-00
14-66	0.000
25-66	0000%

部門プログラムの設定点検

- 1 モードスイッチを「設定」に合わせます。
- 2 以下の操作をおこないます。
6 小計 3 0 5 小計
- 3 開始部門番号を入れ 現/預 キーを押し、終了部門番号を入れ 現/預 キーを押します。
現/預 現/預

印字例

P 03.....	P03 内容点検のしるし
#0001 ~ #0050	範囲指定 (最初~最後)
女性化粧品	0001-05 設定キャラクタ/メモリ番号
	00000000000000 設定データ
11-66	0000 部分設定データ (1166)
25-66	0000% 部分設定データ (2566)
ヘアケア用品	0002-05
	00000000000000
胃腸薬	0008-05
	00000000000000
11-66	0000
25-66	0000%

 **ポイント** 開始番号を入力しなかった場合、最初から点検します。
 終了番号を入力しなかった場合、最後までを点検します。



価格帯内容の設定点検

1 モードスイッチを「設定」に合わせます。

2 以下の操作をおこないます。

6 小計 3 1 3 小計

印字例

P 03.....	P03 内容点検のしるし
0001-13	価格帯 1
¥1 ~	¥99
0002-13	価格帯 2
¥100 ~	¥199
0003-13	価格帯 3
¥200 ~	¥299
0004-13	価格帯 4
¥300 ~	¥499

全体設定の設定点検

1 モードスイッチを「設定」に合わせます。

2 以下の操作をおこないます。

6 小計 3 2 2 小計

印字例

P 03	P03 内容点検のしるし
0001-22	0000000000 (パスワード制御)
0002-22	0000000000
0003-22	0010000233 一連番号クリアの設定
0004-22	0000890000 (西暦 / 和暦 / 丸め等)
0005-22	0100051040 印字制御の設定
0006-22	0400001000 強制操作・演算の設定
0007-22	0001021000 (奉仕料の設定)
0008-22	0721004100 固定合計器の印字制御 1
0009-22	2736717700 固定合計器の印字制御 2
0010-22	2000000000 (電卓モード制御)
0011-22	0000000000
0012-22	0000000000
0013-22	0000000000 (集計制御)
0014-22	0000000000
0015-22	0000000000
0016-22	0000000000
0017-22	0000010402 レシートの印字制御
0018-22	0000000000
0019-22	0000000000
0020-22	0000000000
0021-22	0000000000
0022-22	0000010123 前回精算日付の印字の設定
0023-22	0000000000
0024-22	0000000000
0025-22	0040000000 強制解除機能の設定
0026-22	0000000000
0027-22	0210030000 領収書関連の設定
0028-22	0000000000 (奉仕料 2 の時間帯)
0029-22	0000000120 背景パターンの設定
0030-22	0000000000 (単品収集の設定)
0031-22	0000000120 スキャンング PLU の設定
0032-22	0000000000
0033-22	0000000000
0034-22	0000000000 (メイン表示の設定)

スキャンング PLU の設定点検

1 モードスイッチを「設定」に合わせます。

2 以下の操作をおこないます。

6 小計 3 1 6 小計

印字例

P 03	P03 内容点検のしるし
かぜ薬がけ1	設定キャラクタ
#4901234567890	OBR コード
	単価
@1,560	リンク部門 / ステータス他
0 000000 0001 0000 00	
育毛剤 ABC	
#4902345678901	
@3,780	
0 000000 0002 0000 00	
歯ブラシD	
#4901480430102	
@340	
0 000000 0003 0000 00	
美容クリーム AB	
#4903456789012	

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

レジの設定内容を確認する (4/4)

現行税率の設定点検

1 モードスイッチを「設定」に合わせます。

2 以下の操作をおこないます。

6 小計 3 2 6 小計

印字例

P 03.....			P03 内容点検のしるし

現行			

消費税 1	5%	内税	税 1 テーブル
		四捨五入	税率 / 課税方式
消費税 2	5%	外税	端数処理方法
		切り捨て	税 2 テーブル
消費税 3	0%	内税	税 3 テーブル
		四捨五入	
消費税 4	0%	外税	税 4 テーブル
		切り捨て	

キーの種類とその位置の設定点検

(キーボードに設定されているキーの種類とその位置の設定点検)

1 モードスイッチを「設定」に合わせます。

2 以下の操作をおこないます。

4 小計 小計

印字例

P 04.....		P04 内容点検のしるし

1		
00	0015-02	キャタ/税#/ファイル#
	011-096	キー番号/ファンクションコード
	0013-02	
	012-098	
現金	0001-02	
	015-003	
小計	0005-02	
	014-075	

予約税率の設定点検

1 モードスイッチを「設定」に合わせます。

2 以下の操作をおこないます。

6 小計 3 2 7 小計

印字例

P 03.....			P03 内容点検のしるし

税改正日			
20YY-MM-DD 00:00			変更日の設定

消費税 1	A%	内税	税 1 テーブル
		四捨五入	税率 / 課税方式
消費税 2	A%	外税	端数処理方法
		切り捨て	税 2 テーブル
消費税 3	0%	内税	税 3 テーブル
		四捨五入	
消費税 4	0%	外税	税 4 テーブル
		切り捨て	

故障かなと思ったら

こんなときには

こんなとき	ここをお確かめください（次の対応をお願いします）	参照ページ
ドドア（引き出し）が開かない	硬貨や紙幣が詰まっていないか、ご確認ください 「ドドアが開かなくなったとき」をお読みください	111
表示がつかない	差し込みプラグがしっかりとコンセントに挿してありますか コンセントまで電気が来ていますか	---
レシート発行／停止のランプが点滅した	レシート用紙を補給してください 紙押さえがきちんと閉められているか確認してください	115 113
レシート、領収書、またはジャーナルが発行されない	ロールペーパーにはまだ残りがありますか、確認してください レシートの場合、レシート発行停止になっていませんか、確認してください。	114、115 15
ジャーナルが巻き取られない	紙詰まりを起こしていないか確認してください ジャーナル用紙が巻き取りホルダにきちんとセットされているか確認してください 巻き取りホルダがホルダ受けに確実にセットされているか確認してください	114 112 112
印字をしない	紙詰まりを起こしていないか確認してください	114、115
印字がうすい	ロールペーパーを裏表逆に取り付けていませんか	112、113
印字ムラがある	カシオ推奨の感熱紙のロールペーパーをお使いください（普通紙は使用できません）	裏表紙
「レシート側の紙押えを戻してください」と表示される	レシート側の紙押さえ（プラテンアーム）をカチッとロックされるまで押し込んでください	113
「ジャーナル側の紙押えを戻してください」と表示される	ジャーナル側の紙押さえ（プラテンアーム）をカチッとロックされるまで押し込んでください	112

キャラクタ表示部に、エラーの原因や解決方法を示したガイダンス（案内表示）が出ましたら、それに従ってエラー解除をおこない、正しくご使用ください。

また、 キーを押していただくと、いろいろな機能やその使用方法を説明したレシートを発行します。

正しく動作しないとき

レジ操作中に、エラー音が“ピーツ”と鳴ることがあります。これは、機械が操作ミスを検出したしるしですが、通常はエラーの自動解除機能によりそのまま操作を続けることができます。

操作ミスのエラーなどを強制的に解除する方法として、 キーを続けて2回押す方法がありますが、このときは以下の注意が必要です。

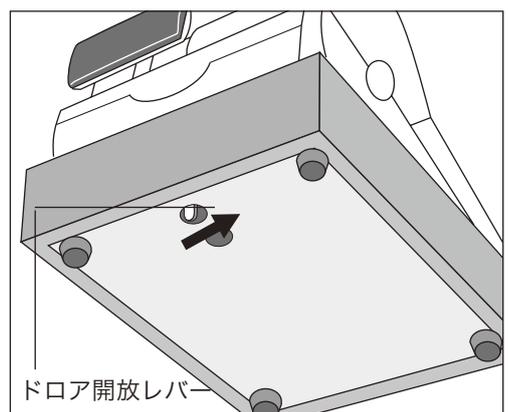
注意 「登録」または「戻」中に  キーを2回続けて押した場合は、「現金」での売上（戻し）として処理されます。これを売上から取り消したい場合は、「登録」の場合は「返品処理」を、「戻」の場合は「売上登録」をおこないます。

 **ポイント** «強制解除»を「取引中止」にしたい場合は、85ページの強制解除機能の設定にて変更してください。

ドドアが開かなくなったとき

万一、停電や故障などでドドアが開かなくなったときは、ドドア底面の金具（ドドア開放レバー）を矢印の方向に動かすと開きます。

 **ポイント** ドドアロック錠（9ページ）がかかっている場合は開きませんので、ロックを解除してから行ってください。



ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

ロールペーパーのセットと交換 (1 / 2)

ロールペーパーをセットする (ジャーナル)

ジャーナル (営業記録) としての、ロールペーパーのセット方法を以下に示します。

手順

- 1** モードスイッチを「登録」の位置にします。



- 2** プリンタカバーの後方部を持ち上げてカバーを取り外します。



- 3** 紙押さえ (プラテンアーム) に写真で示すように指をかけてアームを上げます。



- 4** ロールペーパーの先端が下から出るように持って「ロールペーパー入れ」にセットします。



- 5** ロールペーパーの先端をプリンタの上に渡します。



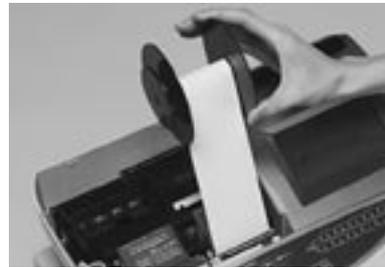
- 6** ロールペーパーをプラテンで挟み込みながら、紙押さえ (プラテンアーム) をカチッと閉じます。



- 7** 付属品の「ジャーナル巻き取りホルダ」の溝に、ロールペーパーの先端を差し込み、2~3回巻き付けます。



- 8** 「ジャーナル巻き取りホルダ」を、「ホルダ受け」にセットします。



- 9** 用紙のたるみが無くなるまで  キーを押します。



- 10** プリンタカバー手前のツメを所定の穴に入れてから、後部を押してカバーを閉じて完了です。



 **参照** ロールペーパーをセットする際の注意事項は、113 ページの「注意」を参照してください。



ロールペーパーをセットする (レシート)

レシートとしての、ロールペーパーのセット方法を以下に示します。

手順

- 1** モードスイッチを「登録」の位置にします。



- 2** プリンタカバーの後方部を持ち上げてカバーを取り外します。



- 3** 紙押さえ (プラテンアーム) に写真で示すように指をかけるアームを上げます。



- 4** ロールペーパーの先端が下から出るように持って「ロールペーパー入れ」にセットします。



- 5** ロールペーパーの先端をプリンタの上に渡します。



- 6** ロールペーパーをプラテンで挟み込みながら、紙押さえ (プラテンアーム) をカチッと閉じます。



- 7** プリンタカバーを閉めて、余分な紙を切り取ります。



ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

- ⚠️ 注意**
- ・本機は、必ずロールペーパーを取り付けてご使用ください。ロールペーパーを取り付けないとレジスタは動作しません。
 - ・ロールペーパーの規格は 紙幅 58 mm x 外径 80 mm の感熱記録紙です。ロールペーパーは当社指定のものをご使用ください。指定品以外の用紙をご使用になりますと故障の原因となることがあります。
 - ・ロールペーパーに赤い線が出てきたら、残りは約 1 m です。お早めに新しいロールペーパーに交換してください。

ロールペーパーのセットと交換 (2/2)

ロールペーパーを交換する (ジャーナル)

ロールペーパーが少なくなると(約 1 m)、赤い線が出てきます。この場合は、早めに新しいロールペーパーと交換してください。

ここでは、ジャーナル (営業記録) のロールペーパーの交換方法を示します。

手順

- 1** モードスイッチを「登録」の位置にします。



- 2** プリンタカバーの後方部を持ち上げてカバーを取り外します。



- 3** ジャーナル送り キーを押して 20 cm 位、ロールペーパーを空送りします。



- 4** 印字部分にかからない位置でペーパーを切り離します。



- 5** ジャーナル巻き取りホルダをホルダ受けから上へ、取り外します。



- 6** 印字済み用紙をホルダから横方向にずらして外します。



- 7** 紙押さえ (プラテンアーム) に写真で示すように指をかけ、アームを上げます。



- 8** 本体内のロールペーパー入れに残っているペーパーの芯を取り除きます。



上記の手順の終了後、新しいロールペーパーをセットします。
セットの手順については、112 ページの「手順 4」以降を参照してください。



ロールペーパーを交換する（レシート）

ロールペーパーが少なくなると（約 1 m）、赤い線が出てきます。この場合は、早めに新しいロールペーパーと交換してください。

ここでは、レシートのロールペーパーの交換方法を示します。

手順

- 1** モードスイッチを「登録」の位置にします。



- 2** プリンタカバーの後方部を持ち上げてカバーを取り外します。



- 3** 紙押さえ（プラテンアーム）に写真で示すように指をかけ、アームを上げます。



- 4** 本体内のロールペーパー入れに残っているペーパーの芯を取り除きます。



上記の手順の終了後、新しいロールペーパーをセットします。

セットの手順については、113 ページの「手順 4」以降を参照してください。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは



電子店名スタンプの取り付け方

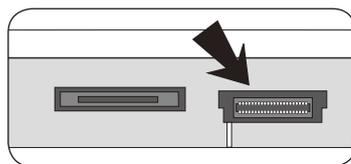
電子店名スタンプができ上がってきたら、下記の手順で取り付けてください。

手順

- 1** モードスイッチを「OFF」の位置にし、レジスタの向かって左前面のカセットカバーを開けます。



- 2** 電子店名スタンプのラベル面を上にして、右図の矢印のコネクタに電子店名スタンプを奥までしっかりとめ込みます。



カセットカバー内部

- 3** カセットカバーを閉めます。



電子店名スタンプ



RAC-10

参照 電子店名スタンプの端子部には手や金属で触れないでください。

参照 お買い上げの状態では、電子店名スタンプを挿すとお申し込みいただいたロゴやサーマルポップを印字します。もし、印字しない場合は電子店名スタンプがきちんと差し込まれているかご確認下さい。また、ロゴやサーマルポップを印字する設定（93, 95 ページ参照）になっているかご確認下さい。

参照 電子店名スタンプの取り付け前にロゴ/コマーシャルメッセージを設定され使用されていた場合でも、電子店名スタンプを取り付けるとそのメッセージは印字されなくなります。

部門キーなどに商品名を記入するには

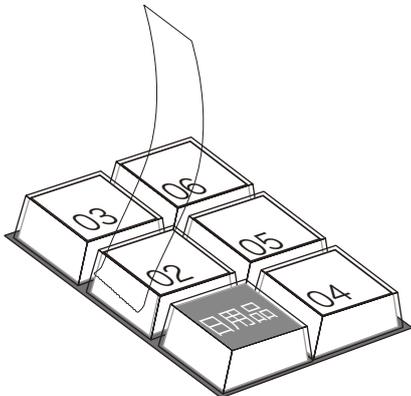
モードスイッチの位置



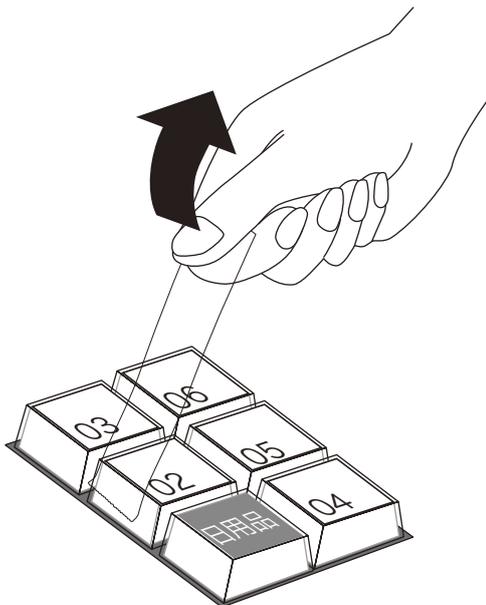
キーキャップの中に商品名などを書いた紙を入れます

◎ 10mm 程度の幅のセロハンテープをご用意下さい。

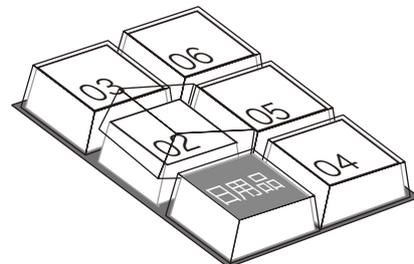
- 1** セロハンテープを 5cm 位の長さに切り、キーキャップを外すキーの肩の部分にその一端を貼り付けます。



- 2** 貼り付けたセロハンテープの另一端を親指と人差し指で押さえ、上に手首を回すようにして引き上げます。



- 3** キーキャップの片側が外れますので、キー本体からキーキャップを外し、中のキープレートを取り出します。



- 4** 新しいキープレートキーキャップの中に入れ、紙の方向に注意しながらキー本体にかぶせ、押し込みます。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

仕様

型式	TE-5000 (25 部門) ストロークキー方式 2キーロールオーバー
	TK-5000 (4 部門、72 タッチキー) ストロークキー/タッチキー方式 2キーロールオーバー
表示部	本体表示：キャラクタ部 16 文字×2 行、数値部 10 桁 液晶表示 (バックライト付き) 客用表示：数値部 8 桁 LED 表示 (収納式回転機構付き)
印字部	2 シートサーマルプリンタ方式 印字速度 約 14 行/秒 印字桁数 レシート・ジャーナル各 24 桁 (半角文字の場合) 記録紙 幅 57 ~ 58 mm、外径 80mm 以下の感熱記録紙 (消耗品欄参照) 店名ロゴ印字 縦 21mm×横 48mm の範囲でデザイン可 (レシートに自動印字) 用紙カット レシートは手動カット ジャーナルは自動巻き取り 領収書発行 必要に応じて領収書の発行が可能
最大演算桁数	置数・預かり金 (10 桁: 0 ~ 9,999,999,999) 登録 (7 桁: -999,999 ~ 9,999,999) 合計 (10 桁: -999,999,999 ~ 9,999,999,999) リpeat (6 桁: -999,999 ~ 999,999) ノアド (16 桁: 0 ~ 9999999999999999) %レート (整数 2 桁+小数 2 桁: 0.01 ~ 99.99%) 税率 (整数 2 桁+小数 4 桁: 0.0001 ~ 99.9999%) 乗算数量 (整数 4 桁+小数 3 桁: 0.001 ~ 9999.999)
電卓機能	加減乗除計算 最大計算桁数は置数 10 桁 答え 10 桁 (負数のときは 9 桁)
ドドア	紙幣 4 種・硬貨 6 種 ドドアロック錠付き、コイントレーは取り外し可
時計・日付機能	月差± 30 秒 (通電状態 25°Cにおいて) 2099 年までフルオートカレンダー
メモリ保護	バナジウムリチウム充電式電池使用 記憶保持 約 90 日 電池寿命 約 5 年
電源・消費電力	AC 100V ± 10V 50/60Hz 12W
周囲温度・湿度	0°C ~ 40°C 10% ~ 95%
外形寸法	TE-5000: 幅 400mm 奥行 450mm 高さ 277mm (ドドア含む) 客用表示を出した高さ 331mm TK-5000: 幅 365mm 奥行 416mm 高さ 270mm (ドドア含む) 客用表示を出した高さ 324mm
重量	TE-5000: 約 12Kg (ドドア含む)、TK-5000: 約 11Kg (ドドア含む)
オプション	電子店名スタンプ: RAC-10 (店名ロゴ・領収書ロゴ・サーマルポップ用) 防水カバー (TE-5000): WT-82 防水カバー (TK-5000): WT-85、タッチキーカバー: WT-86 ハンドスキャナ: HHS-17 固定スキャナ: GFS-2000S
消耗品	記録紙 TRP-5880-TW (紙幅 58mm、外径 80mm の普通タイプ感熱記録紙) TRP-5880H-TW (紙幅 58mm、外径 80mm の高保存タイプ感熱記録紙)

●ウエルドラインについて

外観にスジのようにみえる箇所がありますが、これは樹脂成形上の“ウエルドライン”と呼ばれるもので、ヒビやキズではありません。強度等も問題なく、ご使用にはまったく支障ありません。

【ご注意】この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用すると、電波障害を引き起こすことがあります。この場合には、使用者が適切な処置を講ずるよう要求されることがあります。

本マニュアルの著作権、およびマニュアル中に記載されているソフトウェアに関するすべての権利は、カシオ計算機株式会社が所有しております。カシオ計算機株式会社の書面による同意なしには本マニュアルおよびソフトウェアの一部または全部を問わず、複製し頒布することを禁じます。

本マニュアルおよびソフトウェアは、将来予告なしに変更することがあります。

用語集

本書で使用している用語について、五十音順に記載しています。
必要に応じて参照してください。

●後レシート発行

通常、レシートの発行をしていないお店で、お客様からレシートを要求された場合、後レシートを発行してお渡しします。

 10, 12, 39

●ありだか在高

ドリアの中にある現金や貸し売り伝票などの合計金額のことです。

 30, 31, 56

●一部現金売り

取引の支払いを現金やクレジット1種類ではなく、一部を現金、一部を商品券などで支払う形式のことをいいます。

 47

●一連番号

レシートの番号です。レシートを発行するごとに1ずつ足されます。

 19, 85

●一括取消

入力ミスなどでレシートを最初からやり直したいときに一括取消をします。

 27

●内税方式（内税方式レジスタ）

内掛けの消費税を計算して、お客様からの消費税の預かり額を累計する方式にした、レジスタのことです。

 非課税方式レジスタ

 18, 30, 71

●オプション

ご使用方法によっては使っていただくと便利なものを別売で用意させていただいております。それをオプションと呼んでいます。

 118

●期間集計

長い期間（例えば、一週間、旬日、一月など）の売上の合計を知ることができるレポートです。

 53, 56, 57, 59, 61

●客用表示

お客様に商品の登録金額や合計金額などを示すための表示器です。背面表示としても、持ち上げてお客様の見やすい方向に回して使うこともできます。

 2, 8, 14, 15

●キャラクタ

部門キーやPLU、取引キーやメッセージなどに設定される文字をいいます。

 14, 19, 76 ~ 83

●券売り

商品券売りに使用します。商品券の額面金額を設定しておくことも可能です。

 46

●さかのぼり訂正

商品登録中に、同一レシート中での登録の間違えを訂正することです。

 44

●シートホルダ

タッチキーの上に被せる、面状のシートです。面切替キーを用いて、片方を昼、他方を夜メニューなどとして使うことができます。お買い上げの状態では、下面に文字設定用のシートが入れてあります。（TK-5000のみ）

 8, 12

●ジャーナル

印字で残される営業記録のことです。印字後のジャーナルはレジスタ本体内に自動的に巻き取られます。

 レシート

 8, 19, 112, 114

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

用語集

●ジャーナルスキップ

ジャーナル（前出）用紙の消費を少なくするため部門など商品明細の印字をせず、一連番号（前出）や取引合計金額などを印字することです。

 19, 92

●出金

商品の売上に直接関係のないお金をドロアから出すことです。ドロア内の現金を回収するときなどにお使いください。

 41

●乗算

同じ商品を一度にたくさんお買い上げの場合、買い上げ個数と単価を入力して（掛け算で）合計金額を算出することです。数量×単価または単価×数量の2種類の入力方法を選べます。

 21, 33, 37, 98

●シンボル

表示の状態を示すインジケータやレシート上に印字する略号です。「合計」や「お釣」を表示している状態を示したり、内税の「内」、非課税の「非」などのことを示します。

 14, 19

●信用売り

クレジットカードなど、お釣りが発生しないで支払われる場合の売上げにお使いください。

 46

●スキャニング PLU

JAN コードなどが付いた商品のバーコードを別売のスキャナで取り込んで、商品登録します。

 36, 37, 54, 59, 60

●精算

業務の終わりに売上金額などをレポートとして発行することです。レジスタの中の売上金額などは（翌日の営業のために）ゼロになります。

 点検

 30, 31, 52 ~ 61

●設定

レジスタの機能を選択したり、パーセント率や単価をレジスタに覚えさせたりすることです。

 単価設定

 66 ~ 110

●タッチキー

TK-5000 のキーボードの向かって右にある、面状になったキーシートです。お買い上げの状態では、タッチキーにはフラット PLU キーが設定されています。

 シートホルダ

 12, 13

●単価設定

商品単価をレジスタに覚えさせることです。同じ単価が多く使われる場合、単価設定すると便利です。

 32, 35, 67, 68

●担当者

レジスタを操作している取扱者のことです。レシート上に担当者の番号あるいは名前を印字したり、担当者別の売上額を集計することができます。

 8, 15, 19, 20, 31, 60, 80

●置数

数字打ちです。商品の単価や数量、お客様からの預かり金など数値を入力することです。

 11, 13, 20 ~ 29, 32, 33, 35, 37 ~ 39, 41 ~ 110

●通貨変換

米ドルなどの外貨での支払いを受け入れる場合、日本円での取引合計金額を米ドルに変換したり、預かった米ドル金額を日本円に変換して釣銭計算をします。

 48, 68

●訂正

レジスタに入力した事柄（数字や機能指定）が間違っていた場合、それを取り消すことです。取消ができるときとできないときがあります。

 26, 27, 44

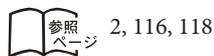
●点検

業務の途中に売上金額などをレポートとして発行することです。レジスタの中の売上金額はそのまま保存されます。



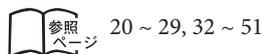
●電子店名スタンプ

別売のオプションです。レシートに印字する、オリジナルの店名ロゴスタンプや領収書に印字する、社名ロゴ・会社所在地などを焼き付けた小さなカートリッジです。別添の申込書でお申し込みください。



●登録

レジスタにお買い上げ商品の単価や数量、預かり金などを入力して、レシートを発行するまでの一連の操作のことです。



●日計明細

売上金額などのレポートの一種です。その日の合計（日計）を商品分類や取引形態などに分けて（明細）発行します。



●入金

商品の売上に直接関係のないお金をドロア内に入れることです。釣銭準備などをするときにお使いください。



●値引き

赤札などがあった場合に使用します。赤札上の「～円引」の金額が合計金額から引かれます。



●背景印字

レシートや領収書に、薄い文字や模様を背景として印字することができます。他店との差別化のため、または特売サービス引換券などのためにお使いください。



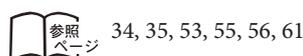
●パーセント計算

割り引き・割増しなど、百分率を使って値引き・値増しする金額を計算する方法をいいます。



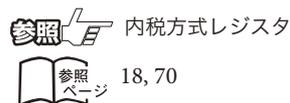
●PLU（ピーエルユー）：Price Look Up の略

プライスルックアップ（単価呼出し）のことです。主にコード指定後のPLUキーによる単価呼出し、またはその登録のことです。PLUに設定されるのは、主に（商品の分類ではなく）個々の商品（単品）です。



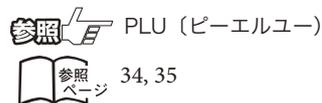
●非課税方式（非課税方式レジスタ）

消費税を計算しないレジスタです。お客様から消費税をお預かりしない場合にお使いください。



●品番 PLU

品番で指定される商品を登録するときに用います。



●不加算印字

商品コード、お客様番号やクレジットカード番号など、合計金額には関係しない数値を「おぼえ」のために印字することです。



用語集

●部門

お店の商品の分類です。例えば、食料品 / 雑貨品 / 日用品、鮮魚 / 精肉 / 青果、お食事 / お飲み物などの分類があります。

 10 ~ 13, 20 ~ 22, 30, 31, 32, 33

●フラット PLU

個々の商品を PLU のようにコード指定するのではなく、一つ一つのキーに割り振ったものです。入力方法は異なりますが、フラット PLU での売上は PLU と同じ扱いになります。(TK-5000 のみ)

 PLU (ピーエルユー)

 12, 13, 21

●プラテンアーム (紙押さえ)

プリンタ部分にある、印字用紙を挟み込むローラとそれを支えている腕のことです。用紙交換後には、これがカチッと閉められているかを確認してください。

 8, 112 ~ 115

●返品

お客様がお買い上げの商品をお返しになったとき、返品処理をしてください。

 28, 29

●奉仕料

奉仕料の必要なお店では、奉仕料を自動計算することができます。

 49

●丸め (5 円丸め / 10 円丸め)

合計金額の端数 (5 円未満または 10 円未満) が出ないように、それを値引くことです。値引いた金額はお店側の負担になります。

 45, 68

●万円キー (万券キー)

一万円札の預かり時に使用すると、日計明細レポート上に一万円札の枚数が印字されます。

 39

●呼び出し機能

割り勘のためにレシートの合計を電卓モードで使用したり、電卓モードでの計算結果を登録に使ったりする場合に、その数値を持ってくることです。

 65

●リピート

同じ商品を一度にたくさんお買い上げの場合、その都度商品単価を入力しないで、部門キーを買い上げ個数分押したりして、手軽に登録することです。

 14, 22

●両替

本来の両替 (大きなお金を細かくする) ばかりでなく、商品取引以外にドロアを開ける必要ができたときに両替をします。

 22

●領収書

レシートとは別の書式の領収書が発行できます。

 19, 23 ~ 25

●レシート

お客様にお渡しする領収書代わりに紙券です。

 ジャーナル

 19

●割り勘

取引の合計金額を人数割りした割り勘を計算できません。

 50, 51

●割引き

全品一律 10% 引きなどのときに使用します。全品一律でなくても、商品一つだけに対しても使用することができます。

 43

ドローアを分離して設置するには



ドローアをレジスタから分離して設置する

お店のレイアウトに合わせて、ドローアとレジスタ本体を分離して設置することができます。付属しているドローア延長ケーブルとレジスタ固定ゴム足をご用意ください。

(作業用工具としてプラスドライバーが必要になりますので、併せてご用意のほど、お願いいたします)

手順

- 1** ドローアの紙幣入れ／硬貨入れを写真で示すように取り外します。



- 2** ドローアの引き出し部分を写真で示すように取り外します。



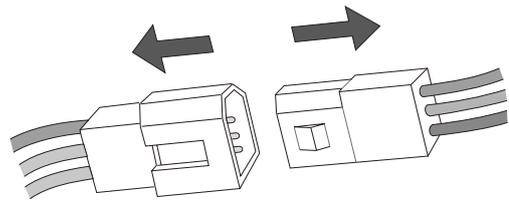
- 3** ドローアの内側上面にある蝶ねじを左に回して取り外します。



- 4** 本体を矢印の方向にずらし、持ち上げます。



- 5** レジスタ本体とドローアをつなぐケーブルをコネクタ部分で抜いて、分離します。



- 6** レジスタの底面のドローア位置決めねじ4本を外し、代わりに矢印の部分に固定ゴム足をはめ込み、レジスタ本体とドローアを所定の位置に置きます。



- 7** ドローア延長ケーブルを本体側とドローア側のコネクタに接続します。

- 8** ドローア延長ケーブルから出ている緑のアース線を矢印の部分にレジスタ本体とドローアにしっかりとネジ止めします。



- 9** 外したドローアの引き出し、紙幣入れ／硬貨入れを元に戻します。



注意 ドローア内部に余った延長ケーブルを入れてはいけません。分離作業によって外した、蝶ねじ、ドローア位置決めねじとワッシャは再びレジスタとドローアをつなげる場合に必要になりますので、保管をお願いします。

ご使用前に

使い方

便利な使い方

設定の仕方

こんなときは

保証およびアフターサービス

保証とアフターサービス

保証書はよくお読みください

保証期間は、お買い上げ日から1年間です。

保証書（別に添付しています）は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめの上、販売店からお受け取りください。

内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

修理を依頼されるときは

まず111ページの「故障かなと思ったら」に従って調べていただき、直らないときは次の処置をしてください。

●保証期間中は……

保証書の規定のとおり、お買い上げの販売店、またはカシオサービスセンターが修理をさせていただきます。保証書をご用意の上、お客様相談センターへご連絡ください。

●保証期間を過ぎているときは……

お買い上げの販売店、またはお客様相談センターへご依頼ください。

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

アフターサービスなどについて疑問なことは

お買い上げの販売店、またはお客様相談センターにお問い合わせください。

カシオ製品のアフターサービス業務は、カシオテクノ株式会社が担当いたします。

消耗品のお申し込み

お買い上げの販売店へ機種名を告げてお申し込みください。

TE-5000
TK-5000 の消耗品

ロールペーパー：
紙幅 58 mm × 外径 80 mm (感熱記録紙)
普通タイプ TRP-5880-TW 高保存タイプ TRP-5880H-TW

お客様相談窓口

- 製品の機能、操作などに関するご質問に、お電話でお答えいたします。
- 修理の受付、お電話による問診をいたします。また、必要に応じて修理の手配をいたします。

カシオレジスターお客様相談センター



0570-001166

市内通話料金のみでご使用いただけます。

受付時間：月曜日～土曜日
AM9:00～12:00 PM1:00～5:30
(日曜・祝日・年末年始などを除く)

携帯電話・PHSなどをご利用の場合は、03-5294-7315（東京）をご利用ください。

カシオサービスセンター

- | | | | | | | |
|------|-----|----|----|-----|-----|-----|
| ●北海道 | 札幌 | 仙台 | 仙台 | ●北陸 | 金沢 | 石川 |
| ●東北 | 盛岡 | 仙台 | 仙台 | ●東海 | 静岡 | 名古屋 |
| ●関東 | 宇都宮 | 水戸 | 高崎 | ●近畿 | 京都 | 大阪 |
| | 高崎 | 高崎 | 高崎 | | 神戸 | 神戸 |
| | 高崎 | 高崎 | 高崎 | ●中国 | 岡山 | 広島 |
| | 高崎 | 高崎 | 高崎 | ●四国 | 高松 | 高松 |
| | 高崎 | 高崎 | 高崎 | ●九州 | 福岡 | 福岡 |
| | 高崎 | 高崎 | 高崎 | | 熊本 | 熊本 |
| ●信越 | 新潟 | 新潟 | 新潟 | | 鹿児島 | 鹿児島 |

*その他、26カ所の出張所があります。

店名・住所

販売店（問い合わせ先）を明記しておきましょう



()

担当者